

2020 年度 授業評価アンケート等

1. 授業評価アンケート(学部)

1-1. アンケート概要とアンケート実施率

2020年度に実施した授業評価アンケートに基づき、授業評価の結果とその分析をまとめたものである。アンケートは第1クォーター(6月19日～7月31日)、前学期および第2クォーター(7月6日～7月31日)、後学期および第3・4クォーター(11月30日～12月11日)に、学部の開講授業を対象に実施された。

【実施率】

以下は学部・教員別の授業評価アンケートの実施率である

〈学部・教員別〉

所属学部※1	実施 件数	依頼 件数	実施率 ※2	構成比 ／全学	専任／ 非専任別	実施 件数	依頼 件数	実施率※ 2	構成比 ／全学
経済学部	314	462	68.0%	19.6%	専任	183	303	60.4%	12.8%
					非専任	131	159	82.4%	6.7%
人文学部	1,106	1,545	71.6%	65.5%	専任	397	591	67.2%	25.0%
					非専任	709	954	74.3%	40.4%
社会学部	214	353	60.6%	15.0%	専任	118	215	54.9%	9.1%
					非専任	96	138	69.6%	5.8%
合計 (全学)	1,634	2,360	69.2%	100.0%	専任	698	1,109	62.9%	47.0%
					非専任	936	1,251	74.8%	53.0%

※1 科目分類は、授業の種別により分類した。

※2 実施率は、実施件数／依頼件数とした。

〈科目分類・教員別〉

科目分類 ※1	実施 件数	依頼 件数	実施率 ※2	構成比 ／全学	専任／ 非専任別	実施 件数	依頼 件数	実施率 ※2	構成比 ／全学
演習	449	803	55.9%	34.0%	専任	328	626	52.4%	26.5%
					非専任	121	177	68.4%	7.5%
講義	565	700	80.7%	29.7%	専任	238	301	79.1%	12.8%
					非専任	327	399	82.0%	16.9%
実習・実技・ 実験	133	190	70.0%	8.1%	専任	32	47	68.1%	2.0%
					非専任	101	143	70.6%	6.1%
外国語	487	667	73.0%	28.3%	専任	100	135	74.1%	5.7%
					非専任	387	532	72.7%	22.5%
合計 (全学)	1,634	2,360	69.2%	100.0%	専任	698	1,109	62.9%	47.0%
					非専任	936	1,251	74.8%	53.0%

※1 科目分類は、授業の種別により分類した。

※2 実施率は、実施件数／依頼件数とした。

1-2. アンケート回答率

【回答率】

以下は授業評価アンケートの学部・教員別回答率および科目分類・教員別の回答率である。

〈学部・教員別〉

所属学部 ※1	依頼 件数	履修 者数	回答 者数	回答率 ※2	専任/ 非専任別	依頼 件数	履修 者数	回答 者数	回答率 ※2
経済学部	462	27,411	4,300	15.7%	専任	303	14,297	2,268	15.9%
					非専任	159	13,114	2,032	15.5%
人文学部	1,545	37,323	7,647	20.5%	専任	591	14,483	3,029	20.9%
					非専任	954	22,840	4,618	20.2%
社会学部	353	16,607	2,768	16.7%	専任	215	8,602	1,535	17.8%
					非専任	138	8,005	1,233	15.4%
合計 (全学)	2,360	81,341	14,715	18.1%	専任	1,109	37,382	6,832	18.3%
					非専任	1,251	43,959	7,883	17.9%

※1 所属学部は、担当教員の所属学科組織コードにより分類した。

※2 回答率は、回答者数／履修者数とした。

〈科目分類・教員別〉

科目分類 ※1	依頼 件数	履修 者数	回答 者数	回答率 ※2	専任/ 非専任別	依頼 件数	履修 者数	回答 者数	回答率 ※2
演習	803	10,617	1,841	17.3%	専任	626	7,924	1,258	15.9%
					非専任	177	2,693	583	21.6%
講義	700	57,665	10,020	17.4%	専任	301	26,721	4,938	18.5%
					非専任	399	30,944	5,082	16.4%
実習・実 技・実験	190	2,812	479	17.0%	専任	47	621	124	20.0%
					非専任	143	2,191	355	16.2%
外国語	667	10,247	2,375	23.2%	専任	135	2,116	512	24.2%
					非専任	532	8,131	1,863	22.9%
合計 (全学)	2,360	81,341	14,715	18.1%	専任	1,109	37,382	6,832	18.3%
					非専任	1,251	43,959	7,883	17.9%

※1 科目分類は、授業の種別により分類した。

※2 回答率は、回答者数／履修者数とした。

2020年度の回答率を学部別に見ると、人文学部が最も高く20.5%であり、社会学部(16.7%)、経済学部(15.7%)と続く。また、学部・教員別に見ても、専任教員・非専任教員共に人文学部が最も高い。

科目分類別では、外国語が23.2%と最も高い。科目分類・教員別で見ても、専任教員・非専任教員共に外国語が最も高い。また、演習のみ、非専任教員の方が専任教員よりも回答率が高い。

【授業ごとの回答率の分布】

以下は授業評価アンケートについて授業ごとに回答率(回答者数/履修者数)を算出し、学部・教員別の分布、科目分類・教員別の分布である。

〈学部・教員別〉

所属学部 ※1	20% 未満	20%~ 40%未 満	40%~ 60%未 満	60%~ 80%未 満	80% 以上	専任/ 非専任別	20% 未満	20%~ 40% 未満	40%~ 60% 未満	60%~ 80% 未満	80% 以上
経済学部	72.1%	15.6%	8.7%	2.8%	0.9%	専任	71.6%	16.2%	7.6%	3.6%	1.0%
						非専任	73.0%	14.5%	10.7%	1.3%	0.6%
人文学部	59.7%	23.0%	11.9%	4.7%	0.8%	専任	61.3%	21.7%	11.8%	3.9%	1.4%
						非専任	58.7%	23.8%	11.9%	5.1%	0.4%
社会学部	72.2%	15.0%	5.9%	4.0%	2.8%	専任	74.9%	12.6%	3.7%	4.7%	4.2%
						非専任	68.1%	18.8%	9.4%	2.9%	0.7%
合計 (全学)	64.0%	20.3%	10.4%	4.2%	1.1%	専任	66.7%	18.4%	9.1%	4.0%	1.8%
						非専任	61.6%	22.1%	11.5%	4.4%	0.5%

※1 所属学部は、担当教員の所属学科組織コードにより分類した。

〈科目分類・教員別〉

科目分類 ※1	20% 未満	20%~ 40%未 満	40%~ 60%未 満	60%~ 80%未 満	80% 以上	専任/ 非専任別	20% 未満	20%~ 40%未 満	40%~ 60% 未満	60%~ 80% 未満	80% 以上
演習	70.2%	15.1%	9.3%	3.5%	1.9%	専任	72.2%	14.5%	7.2%	3.8%	2.2%
						非専任	63.3%	16.9%	16.9%	2.3%	0.6%
講義	65.7%	23.9%	8.4%	1.4%	0.6%	専任	62.5%	26.2%	8.6%	2.0%	0.7%
						非専任	68.2%	22.1%	8.3%	1.0%	0.5%
実習・実 技・実験	58.9%	27.4%	10.5%	2.1%	1.1%	専任	57.4%	25.5%	12.8%	2.1%	2.1%
						非専任	59.4%	28.0%	9.8%	2.1%	0.7%
外国語	56.1%	21.0%	13.6%	8.5%	0.7%	専任	54.1%	16.3%	17.8%	9.6%	2.2%
						非専任	56.6%	22.2%	12.6%	8.3%	0.4%
合計 (全学)	64.0%	20.3%	10.4%	4.2%	1.1%	専任	66.7%	18.4%	9.1%	4.0%	1.8%
						非専任	61.6%	22.1%	11.5%	4.4%	0.5%

※1 科目分類は、授業の種別により分類した。

2020年度の授業ごとの回答率の分布を学部別に見ると、全ての学部において20%未満が最も多く、科目分類別に見ても同様の傾向が見られる

1-3. アンケート結果の考察

【Ⅰ. 授業評価】

総合的にみた授業の満足度は全体的に高く、「強くそう思う」「そう思う」の回答が、総合科目・外国語科目・専門科目(全体)で8割前後となった。科目・授業形態別で比較すると、外国語科目と総合科目・専門科目の講義形式において「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が僅かに高いが、最も数値の高い経済学部講義形式でも14.5%に留まる。

授業内容に関する設問は、いずれの設問でも学部・科目に関わらず全体的に評価が高いため、引き続き学生の理解促進・興味喚起に繋がる授業が望まれる。

課題に関する設問では、「課題の量」に対して多いと感じている人が20～30%存在しているものの、「課題に対する指示」「課題の内容の分かりやすさ」に関しては高い評価が得られている。

一方で、「課題に対するフィードバック」は他の課題に関する設問と比べ「該当しない」の回答率が高い。該当者の回答を見ると、他設問と同様に一定以上の評価が得られている。

教員に関連する設問では、課題に関する設問と同様に、「問い合わせへの対応」「フィードバックを取り入れた」など、教員と学生間のコミュニケーションの設問において、「該当しない」の回答率がやや高いが、該当者の回答に限定すると、評価は高い。また、「教員の声の聞き取りやすさ」「話す速度」についても「該当しない」の回答率がやや高いものの、該当者からの評価は高い。

※

■ 授業内容に関する設問

- I-2. 教員から周知された授業内容や方法に沿って行われたか
- I-3. 授業内容を理解できた
- I-4. 授業内容に興味を持てた

■ 課題に関する設問

- I-5. 課題の量は適切だったか
- I-6. 課題に対する指示は分かりやすかったか
- I-7. 課題の内容は分かりやすかったか
- I-8. 課題に対するフィードバックは分かりやすかったか

■ 教員に関連する設問

- I-9. 教員は質問や問い合わせに対して適切に対応していたか
- I-10. 教員は学生からの質問やチャット等のフィードバックを取り入れながら授業を行っていたか
- I-11. 教員の話す声は聞き取りやすかったか
- I-12. 教員の話す速度は適切だったか

【Ⅱ. 身についた知識・能力・態度】

科目・授業形態問わず、「主体的な学習態度」「学修の成果や学習態度を実社会で生涯をつうじて活用できる実践力」において、全体的に「強くそう思う」「まあそう思う」が高く、「授業内容が該当しない」回答率が低い。また、専門科目では「自身の専攻分野に関する十分な知識」が身についたと回答している人が多く、評価が高い。

一方で、「批判的なものの見方」は「主体的な学習態度」と比べ、「授業内容が該当しない」回答率が高く、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」もやや高い。2設問共に、講義形式において他形式よりも高くなっており、改善可能性があると思われる。

また、「異文化理解」「グローバル視点」「外国語運用」という面では、「授業内容が該当しない」が半数以上となる。該当者の回答を見ると、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が10%前後だが、「外国語運用」における外国語科目は25%以上と他科目と比べやや高くなっている。

1-4. 集計結果

授業評価アンケートの集計結果を設問ごとに示す。分類は以下の通り。

- ・【総合科目】講義／演習／実習・実技・実験
- ・【外国語科目】実習
- ・【専門科目(全体)】講義／演習／実習
- ・【専門科目(経済学部)】講義／演習／実習
- ・【専門科目(人文学部)】講義／演習／実習
- ・【専門科目(社会学部)】講義／演習／実習

【I. 授業評価】

I-1. この授業を履修した理由は何ですか？

全体として「授業内容にひかれた」「必修だから」「時間割上都合がよかった」の回答が高い結果となった。学部・科目別でみると「必修だから」は外国語科目で特に高く90%以上となる。学部別での違いはそれほど大きくはないが、講義形式では「授業内容にひかれた」「時間割上都合が良かった」、演習形式では「必修だから」が比較的高い傾向が見られる。

I-2. 教員から周知された授業内容や方法に沿って行われたか

全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。学部・科目別での違いはそれほど大きくはないが、演習形式において他形式と比べ「強くそう思う」が比較的高く50%前後となる。なお、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」はいずれにおいても5%以下に留まる。

I-3. 授業内容を理解できた

全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。学部・科目別での違いはそれほど大きくはないが、演習形式において他形式と比べ「強くそう思う」が比較的高い傾向が見られる。一方で、講義形式では他形式と比べ「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が僅かに高く10%前後となる。

I-4. 授業内容に興味を持てた

全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。学部・科目別での違いはそれほど大きくはないが、演習形式において他形式と比べ「強くそう思う」が比較的高い傾向が見られる。一方で、外国語科目、講義形式では他形式と比べ「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が僅かに高く10%前後となる。

I-5. 課題の量は適切だったか

全体として「適切である」の回答が最も高く、「やや多い」「とても多い」が続く結果となった。学部・科目別での違いはそれほど大きくはないが、外国語科目、実習形式では他形式と比べ「適切である」が僅かに高く70%を超える。

I-6. 課題に対する指示は分かりやすかったか

全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。学部・科目別での違いはそれほど大きくはないが、総合科目・経済学部の演習形式において「強くそう思う」が比較的高く40%を超える。一方で、経済学部の講義形式では他形式と比べ「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が僅かに高く10%以上である。

I-7. 課題の内容は分かりやすかったか

全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。学部・科目別での違いはそれほど大きくないが、総合科目の演習形式、実習・実技・実験形式において「強くそう思う」が比較的高く40%を超える。一方で、総合科目、経済学部、社会学部では講義形式において「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が他形式と比べ僅かに高い。

I-8. 課題に対するフィードバックは分かりやすかったか

全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。総合科目の実習・実技・実験形式では、「該当しない」が30%程度と他科目と比べやや高い。また、いずれの科目においても、演習形式では「強くそう思う」「まあそう思う」が他形式と比べ僅かに高い。

I-9. 教員は質問や問い合わせに対して適切に対応していたか

全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。総合科目の実習・実技・実験形式では、「該当しない」が30%程度と他科目と比べやや高い。また、総合科目、専門科目において、演習形式では「強くそう思う」が他形式と比べ50%以上と高い。

I-10. 教員は学生からの質問やチャット等のフィードバックを取り入れながら授業を行っていたか

全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。総合科目の実習・実技・実験形式では、「該当しない」が45%程度と他科目と比べやや高い。また、総合科目、専門科目において、演習形式では「強くそう思う」が他形式と比べ40%以上と高い。一方で、経済学部の講義形式では、「全くそう思わない」が7%と他と比べ高い。

I-11. 教員の話す声は聞き取りやすかったか

全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。総合科目、経済学部、人文学部の講義形式では、「該当しない」が20%以上とやや高い。また、総合科目、専門科目において、演習形式では「強くそう思う」が講義形式と比べ高い。

I-12. 教員の話す速度は適切だったか

全体として「適切である」の回答が最も高い結果となった。総合科目、専門科目いずれも、講義形式における「該当しない」回答率が演習科目と比べ高く、特に経済学部、人文学部で30%を超える。また、いずれにおいても「やや遅い」「とても遅い」より、「とても速い」「やや速い」が僅かに高い。

I-13. 総合的にみて、この授業は満足できたか

全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。学部・科目別での違いはそれほど大きくないが、総合科目・専門科目の演習形式において「強くそう思う」が比較的高く40%を超える。また、総合科目、専門科目の講義形式においては、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が僅かに高い。

【Ⅱ. 身についた知識・能力・態度】

Ⅱ-1. グローバル市民として生きていくのに有益な幅広い教養が身についた

全体として「強く思う」「まあ思う」の回答と、「授業内容が該当しない」という回答に分かれる結果となった。外国語科目、専門科目の実習形式において「強く思う」「まあ思う」が比較的高く、総合科目の実習・実技・実験形式において「授業内容が該当しない」が特に高くなっている。また、総合科目、専門科目の講義形式、外国語科目において、他形式と比べ「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が僅かに高い。

Ⅱ-2. 自身の専攻分野に関する十分な知識が身についた

総合科目、外国語科目と専門科目間の「強く思う」「まあ思う」回答の差が大きい結果となった。総合科目においてはいずれの授業形態においても「授業内容が該当しない」が40%を超え、実習・実技・実験形式では70%以上と特に高い。専門科目では、「強く思う」「まあ思う」がほぼ全ての授業形態で65%を超える。

Ⅱ-3. 主体的な学習態度が身についた

全体として「強く思う」「まあ思う」の回答が高い結果となった。学部・科目別での違いはそれほど大きくないが、総合科目の演習形式、専門科目の演習・実習形式において「強く思う」が比較的高く30%前後となる。一方で、総合科目、専門科目の講義形式においては、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が20%前後と他形式と比べ高い。

Ⅱ-4. 批判的なものの見方が身についた

全体として「強く思う」「まあ思う」の回答と、「授業内容が該当しない」という回答に分かれる結果となった。総合科目の演習形式、人文学部・社会学部の講義・演習形式では、「強く思う」「まあ思う」が50%以上と高い。一方で、総合科目の実習・実技・実験形式、外国語科目、人文学部の実習形式において、「授業内容が該当しない」が50%以上となる。また、総合科目、専門科目の講義形式において、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が他形式と比べやや高い。

Ⅱ-5. 異文化を理解し多様な他者と協働して社会に貢献できる対話力が身についた

全体として「授業内容が該当しない」の回答が高い結果となった。総合科目の講義、実習・実技・実験形式、経済学部、社会学部の講義、演習形式では「授業内容が該当しない」が60%前後であり、特に総合科目の実習・実技・実験形式において90%と高くなっている。一方で、総合科目の演習形式、外国語科目、人文学部においては「強く思う」「まあ思う」が40%以上となり他形式よりも高い。

Ⅱ-6. 異文化を理解し多様な他者と協働して社会に貢献できる共感力が身についた

全体として「授業内容が該当しない」の回答が高い結果となった。総合科目、経済学部・社会学部の講義、演習形式では「授業内容が該当しない」が50%前後であり、特に総合科目の実習・実技・実験形式において90%と高くなっている。一方で、人文学部においては全ての授業形態で「強く思う」「まあ思う」が50%以上となり他形式よりも高い。

Ⅱ-7. グローバルな視点で物事を考える力が身についた

全体として「授業内容が該当しない」の回答が高い結果となった。総合科目、経済学部・社会学部の講義、演習形式では「授業内容が該当しない」が50%前後であり、特に総合科目の実習・実技・実験形式において約90%と高くなっている。一方で、外国語科目、人文学部においては「強く思う」「まあ思う」が50%以上となり他形式よりも高い。

Ⅱ-8. 十分な外国語運用能力が身についた

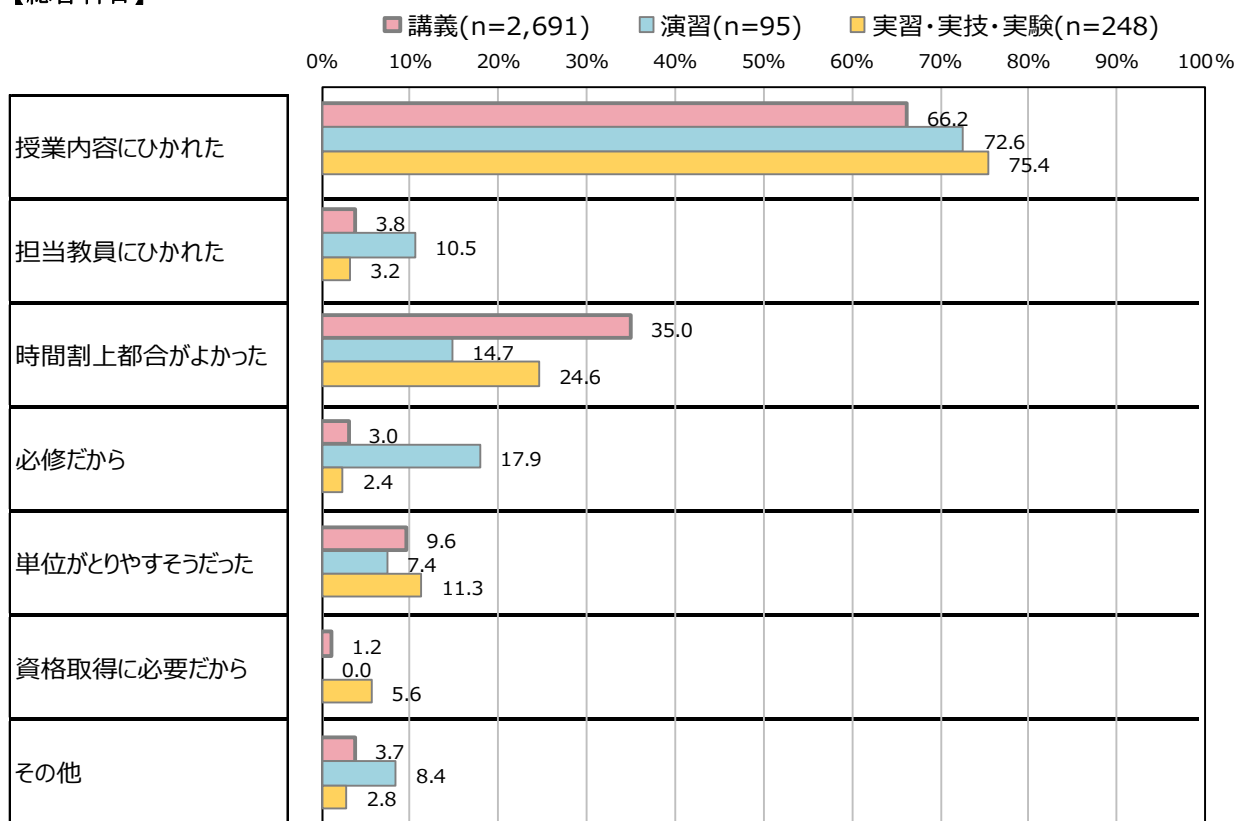
外国語科目、専門科目の実習形式と、総合科目、専門科目の講義・演習形式とで回答が分かれる結果となった。外国語科目と専門科目の実習形式では、「強くそう思う」「まあそう思う」が高く、70%を超える。一方で、総合科目、専門科目の講義・演習形式では「授業内容が該当しない」が60%を超える。また、外国語科目は「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が20%以上となり、他形式よりも高い。

II-9. 学修の成果や学習態度を実社会で生涯をつうじて活用できる実践力が身についた

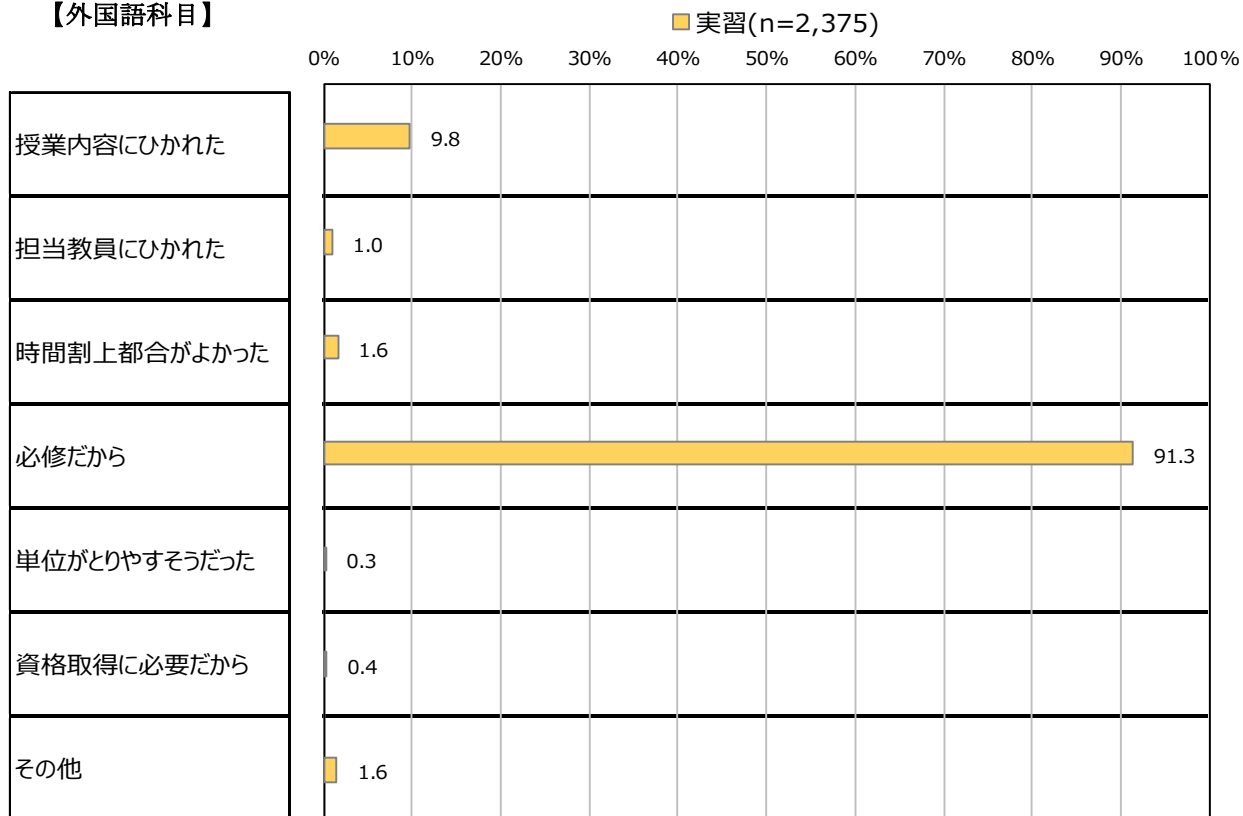
全体として「強くそう思う」「まあそう思う」の回答が高い結果となった。学部・科目別での違いはそれほど大きくないが、総合科目、経済学部の演習形式において「強くそう思う」が比較的高く30%以上となる。一方で、総合科目の講義形式、外国語科目、専門科目の講義形式において、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が他形式よりも僅かに高い。また、総合科目の実習・実技・実験形式では、「授業内容が該当しない」が約40%と他形式よりも高い。

I-1. この授業を履修した理由は何ですか？(複数回答可)

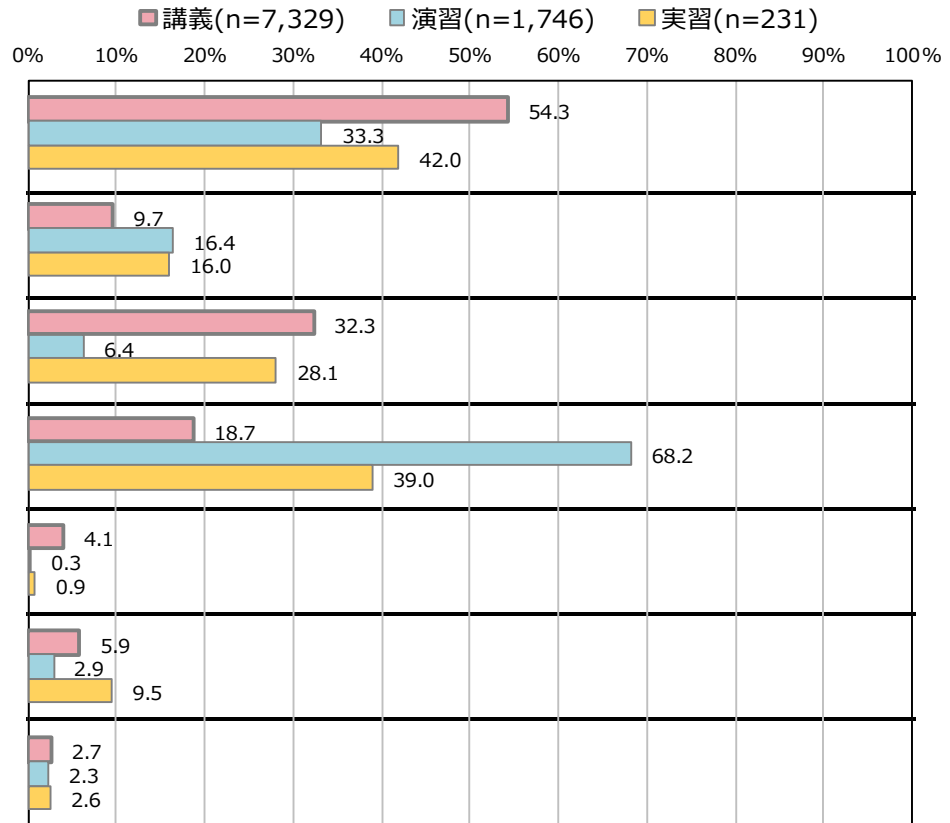
【総合科目】



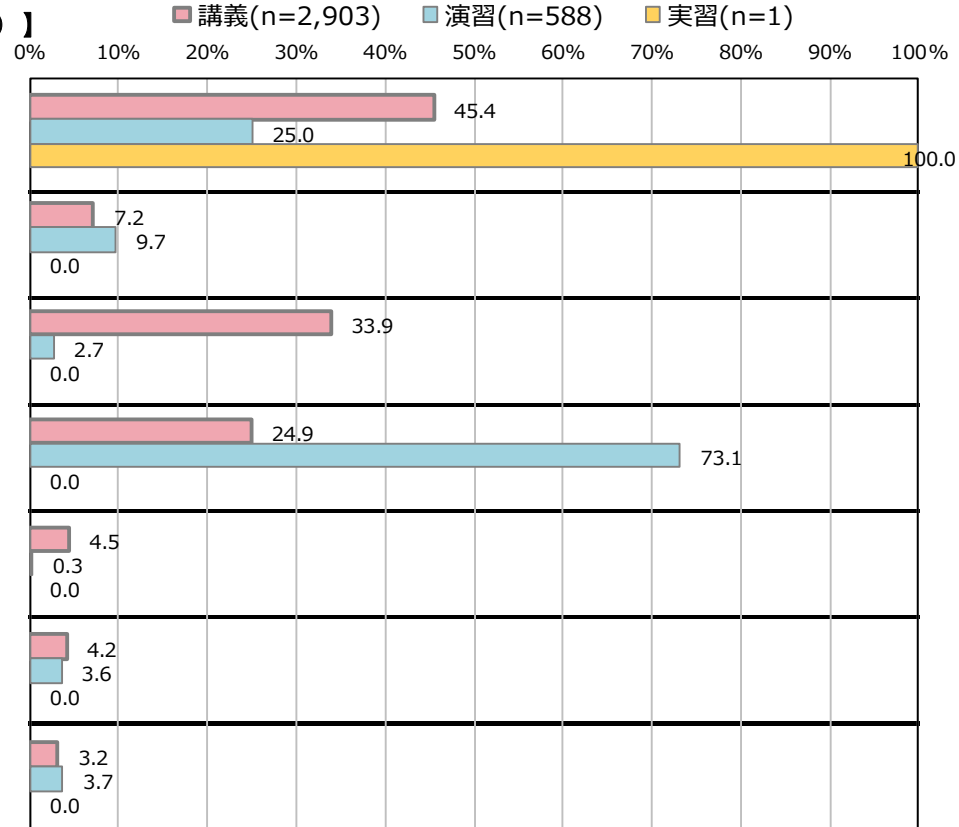
【外国語科目】



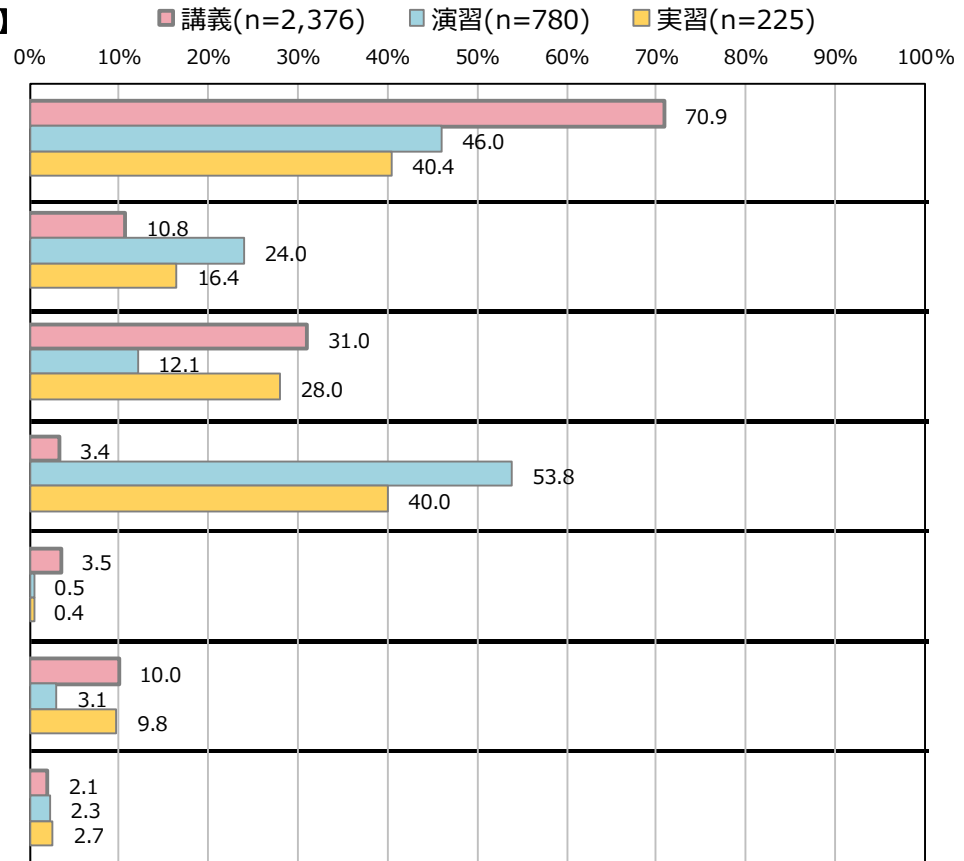
【専門科目（全体）】



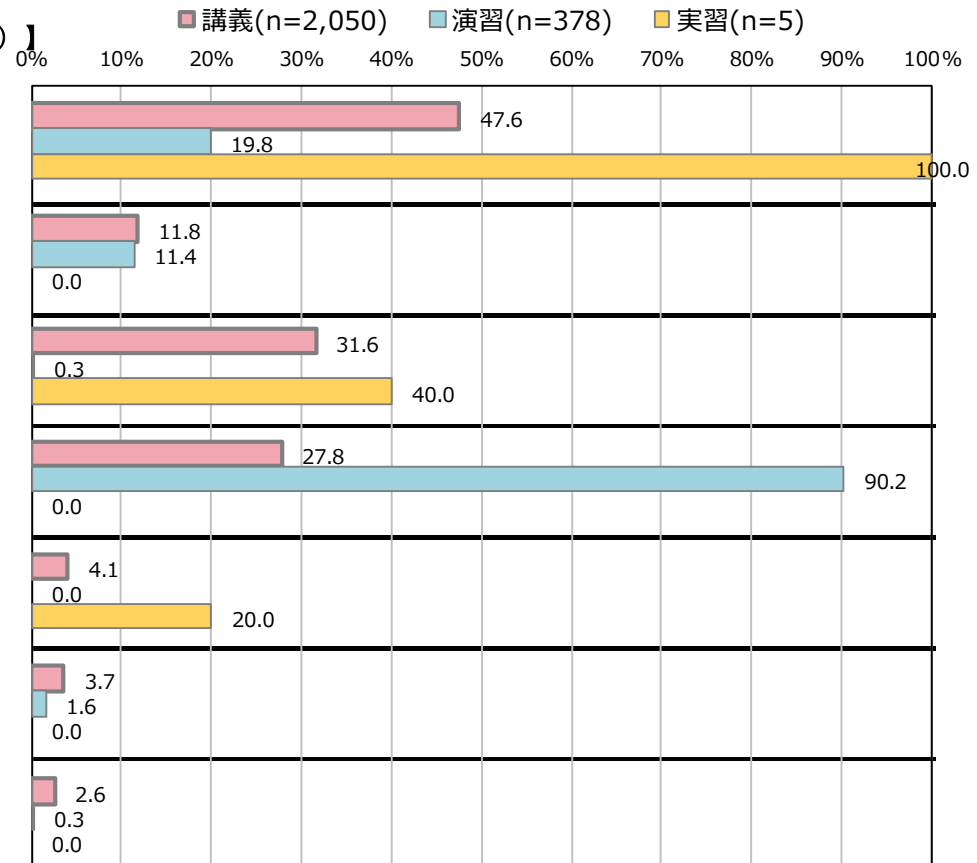
【専門科目（経済学部）】



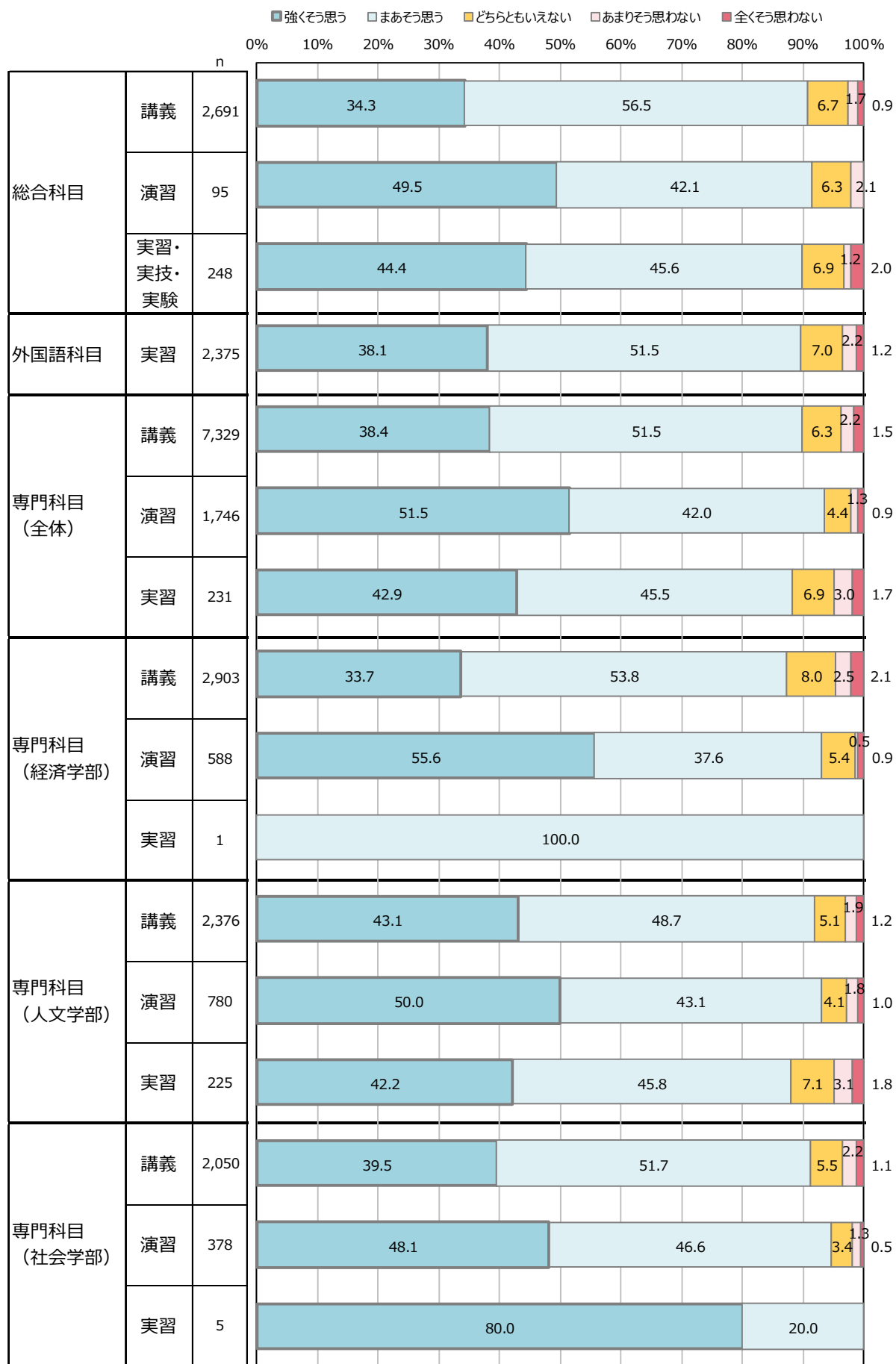
【専門科目（人文学部）】



【専門科目（社会学部）】

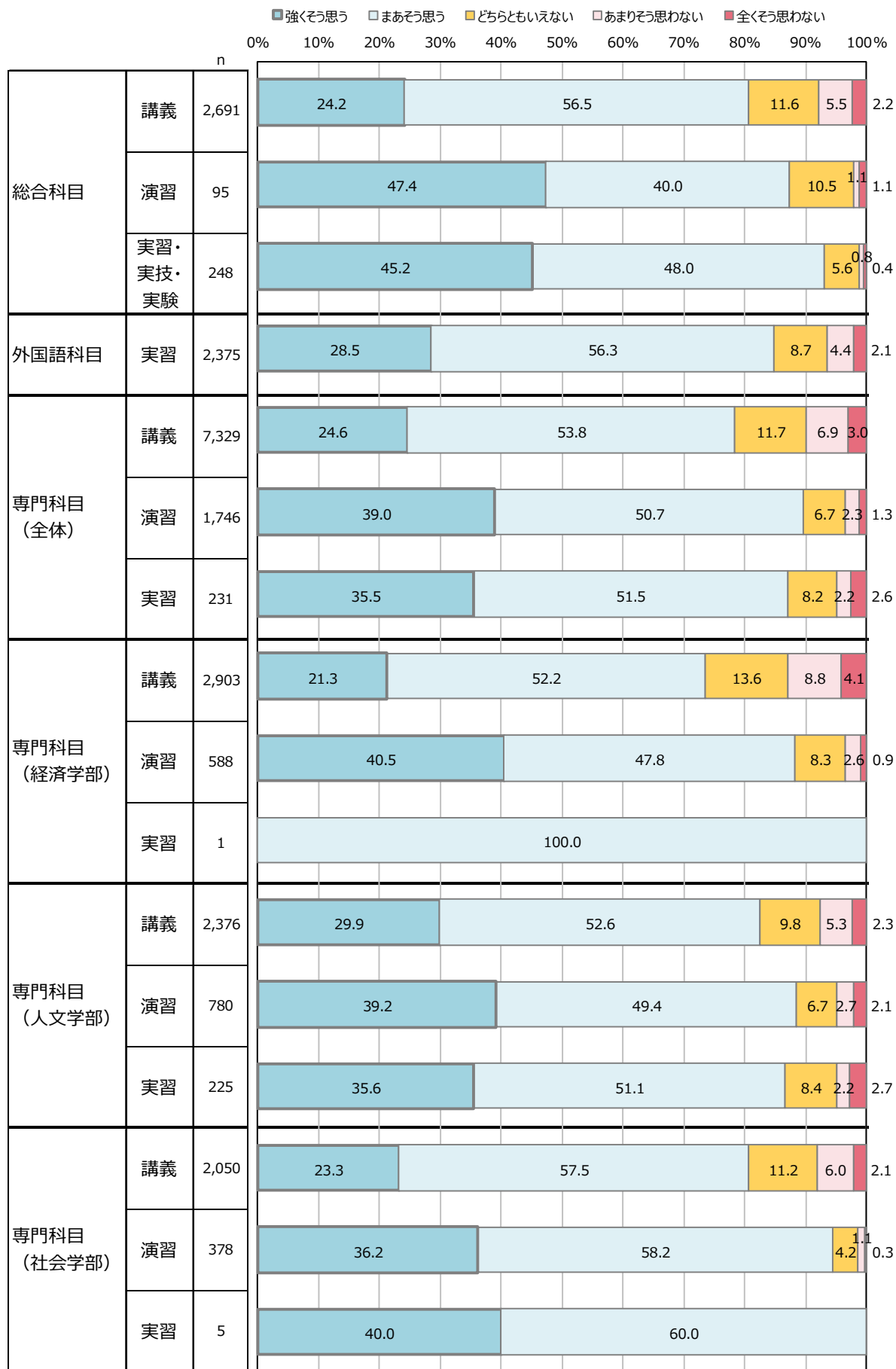


I-2. 教員から周知された授業内容や方法に沿って行われたか



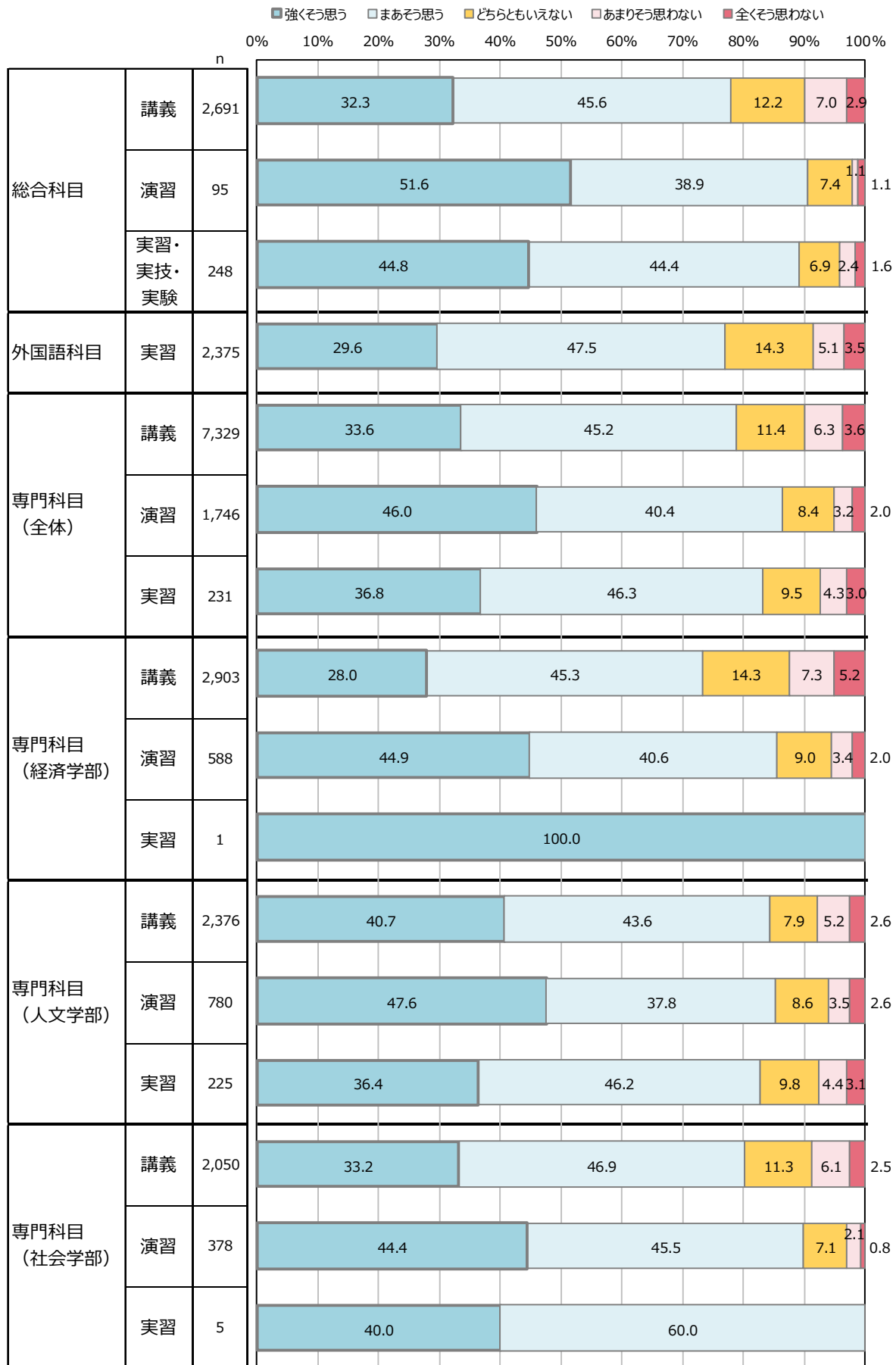
※0%は値ラベルの表示を省略

I-3. 授業内容を理解できた



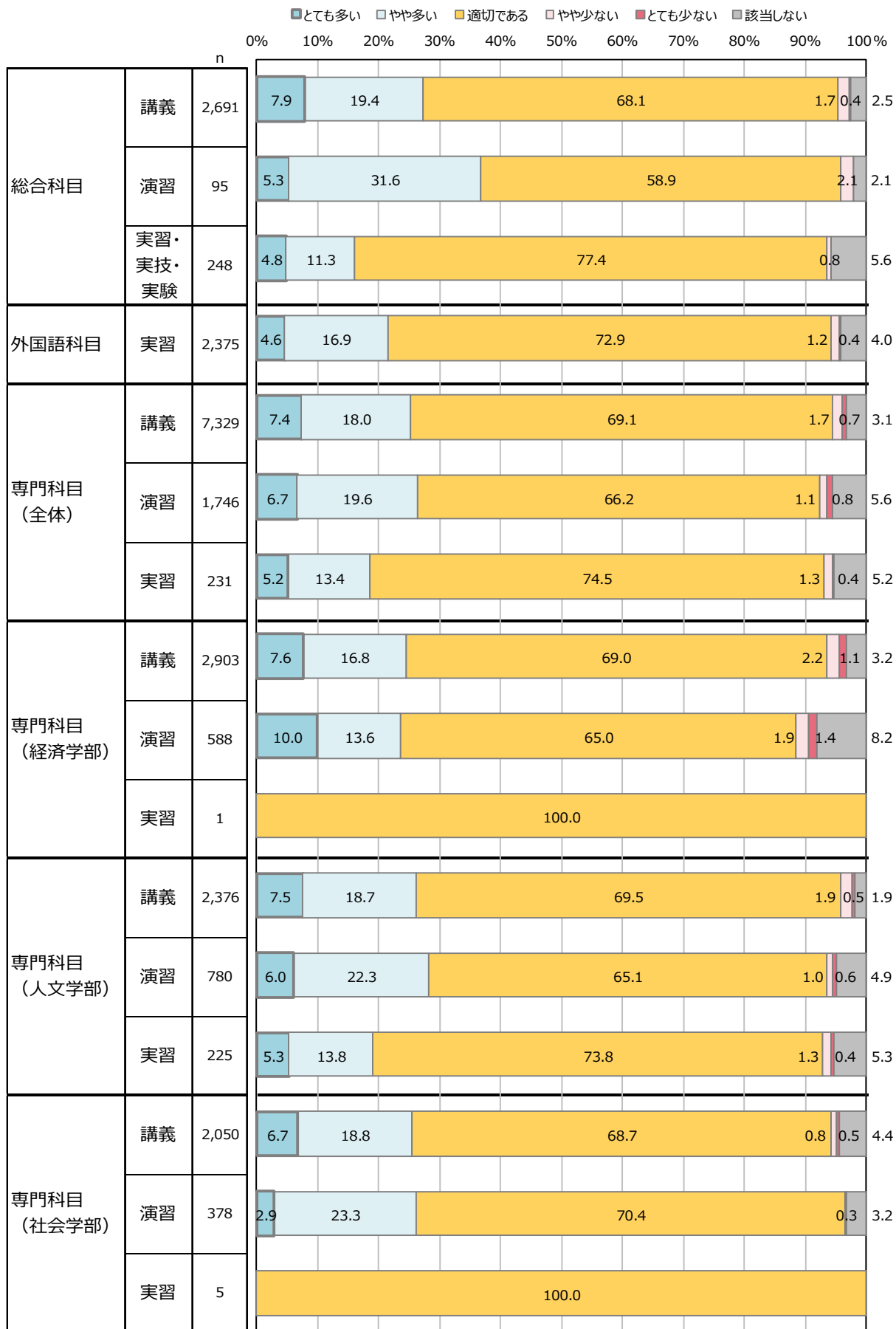
※0%は値ラベルの表示を省略

I-4. 授業内容に興味を持てた



※0%は値ラベルの表示を省略

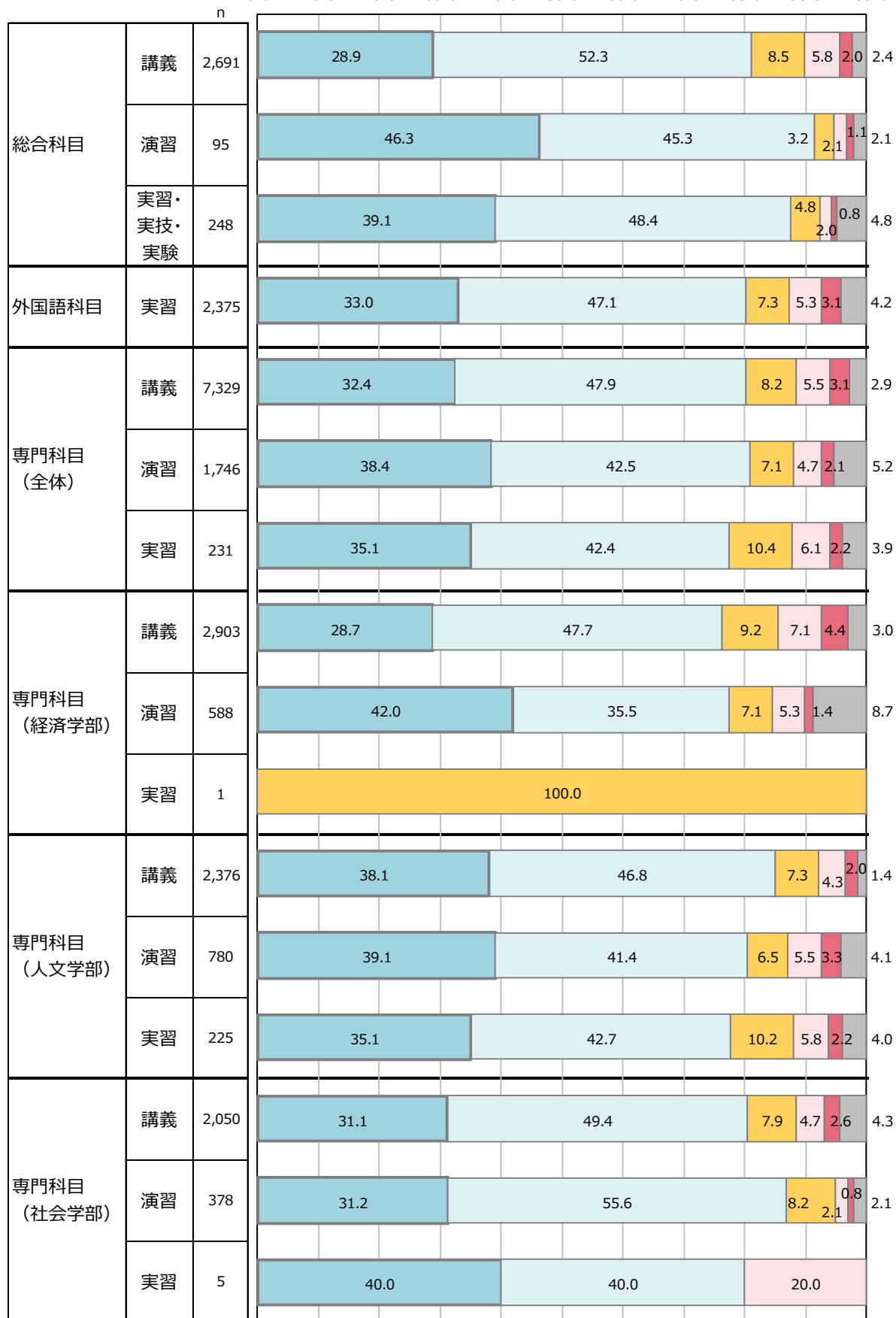
I-5. 課題の量は適切だったか



※0%は値ラベルの表示を省略

I-6. 課題に対する指示は分かりやすかったか

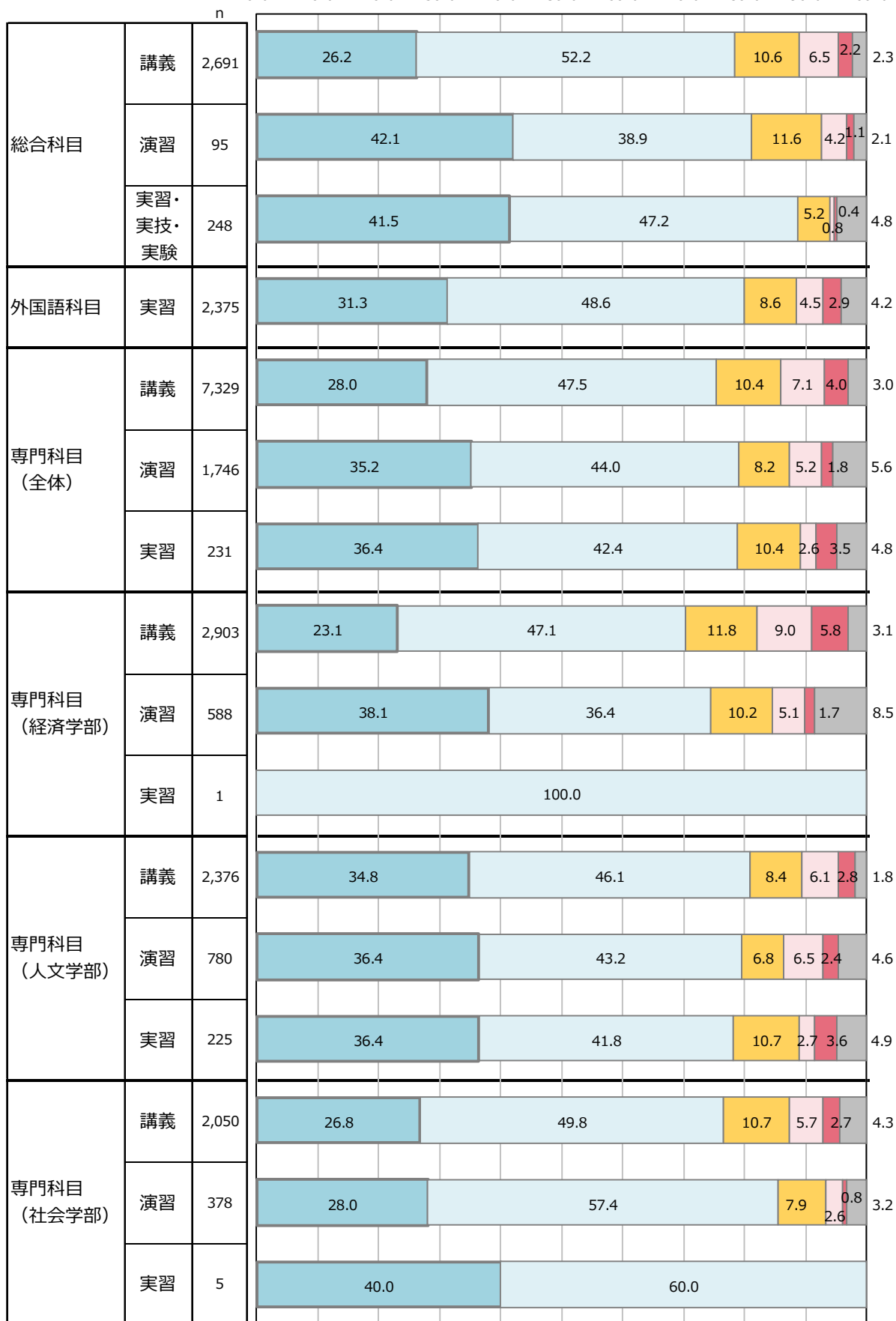
■ 強く思う ■ まあ思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない ■ 該当しない
 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



※0%は値ラベルの表示を省略

I-7. 課題の内容は分かりやすかったか

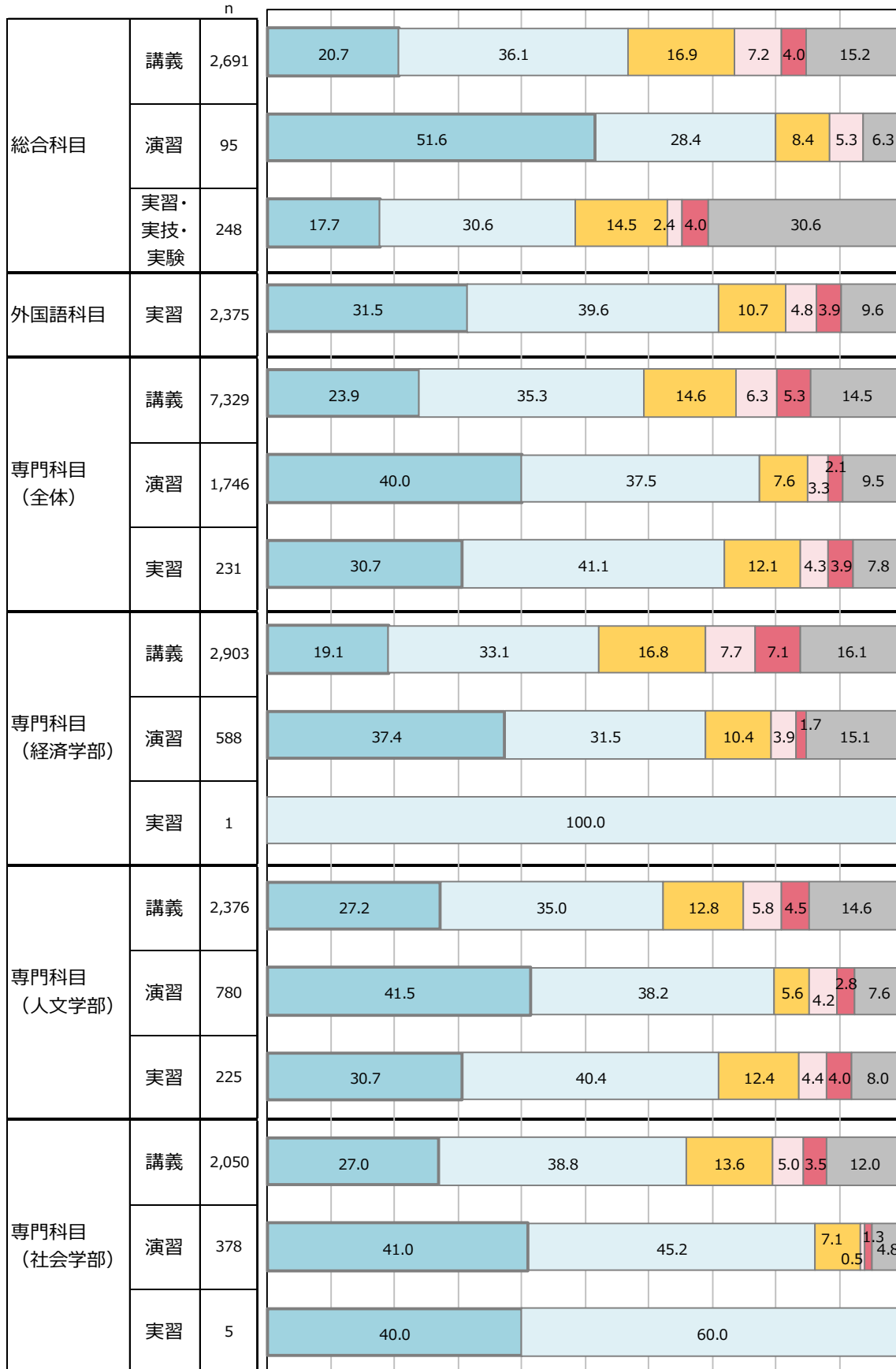
■ 強く思う ■ まあ思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない ■ 該当しない



※0%は値ラベルの表示を省略

I-8. 課題に対するフィードバックは分かりやすかったか

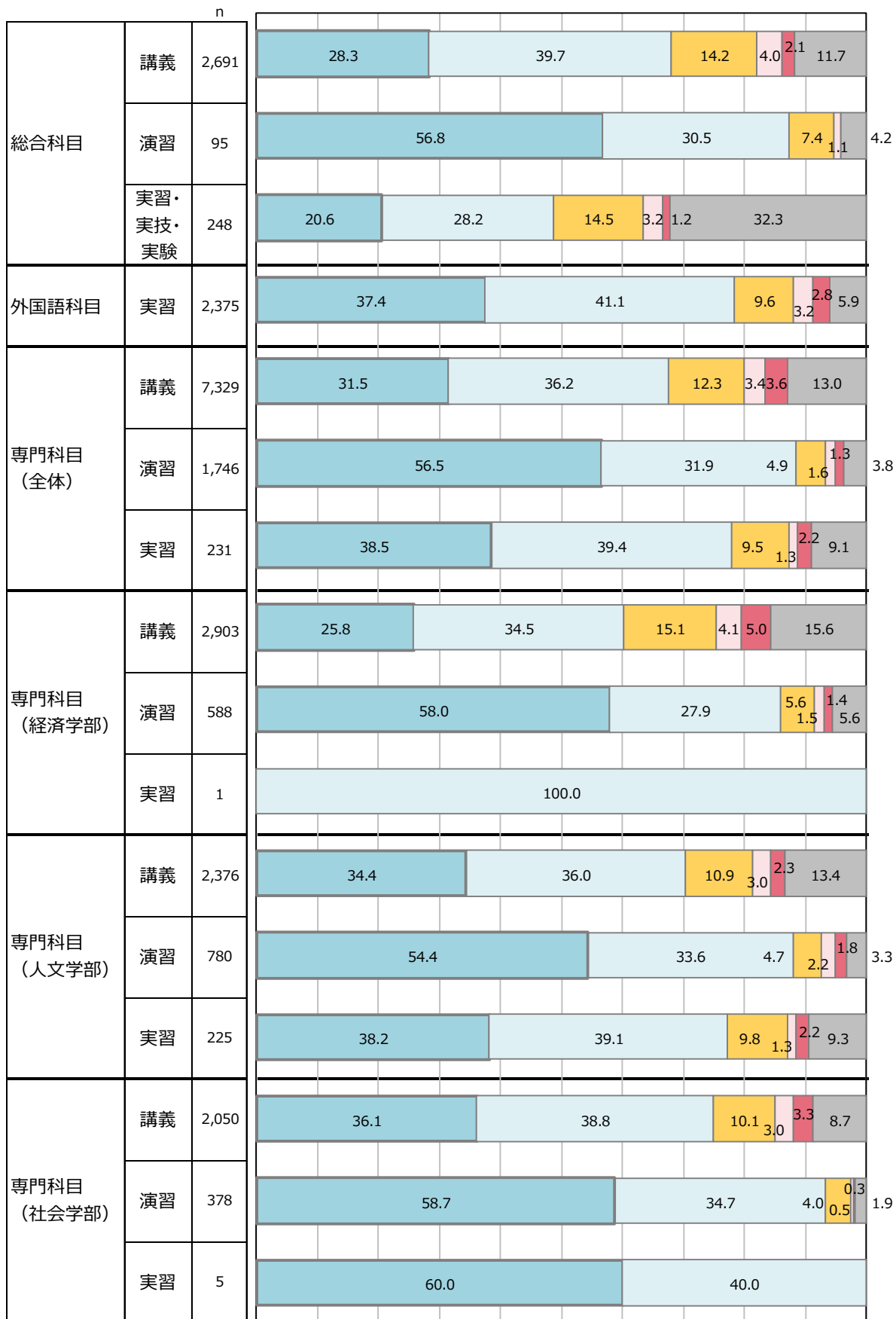
■ 強く思う ■ まあ思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない ■ 該当しない
 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



※0%は値ラベルの表示を省略

I-9. 教員は質問や問い合わせに対して適切に対応していたか

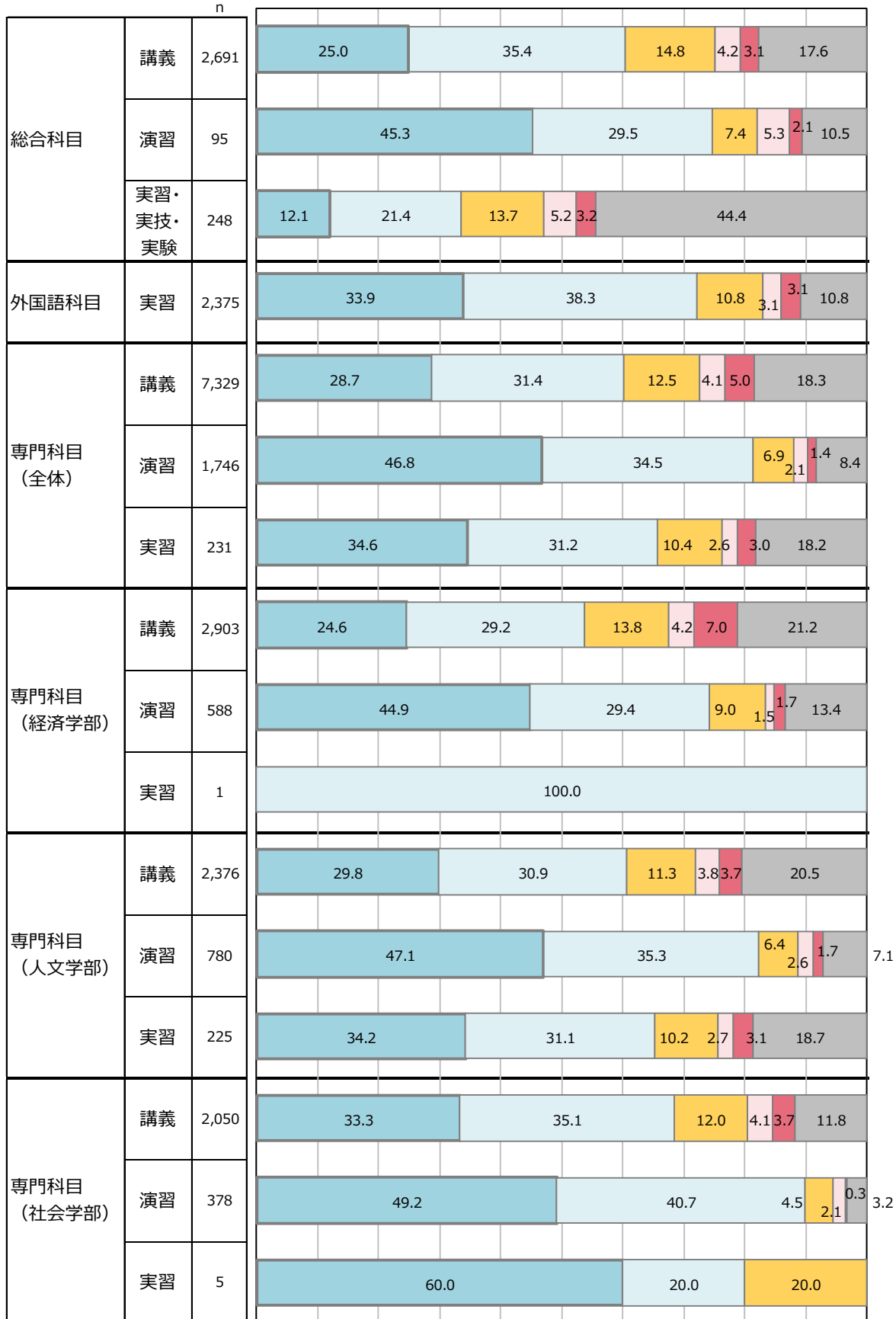
■ 強くそう思う
 ■ まあそう思う
 ■ どちらともいえない
 ■ あまりそう思わない
 ■ 全くそう思わない
 ■ 該当しない



※0%は値ラベルの表示を省略

I-10. 教員は学生からの質問やチャット等のフィードバックを取り入れながら授業を行っていたか

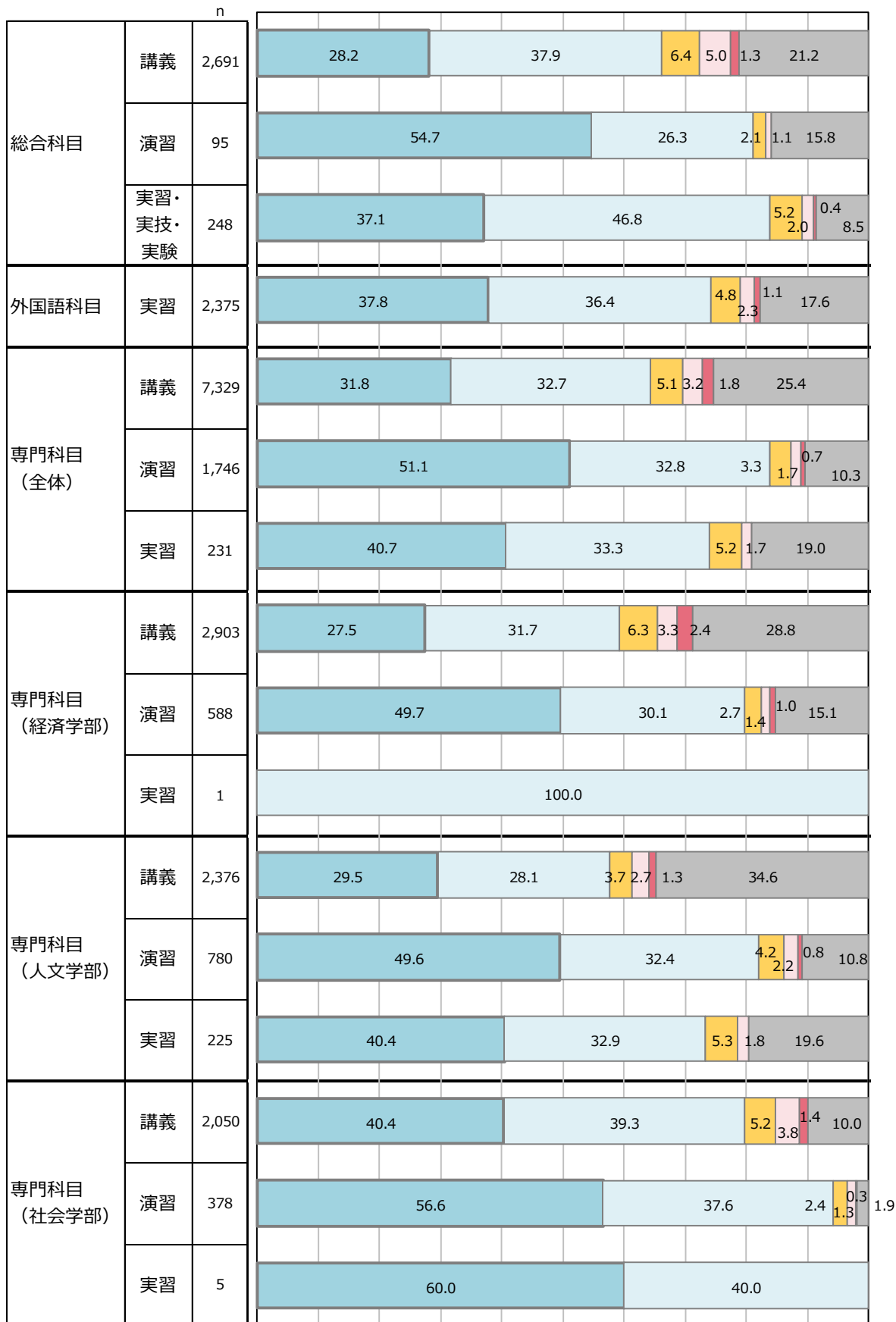
■ 強く思う ■ まあ思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない ■ 該当しない
 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



※0%は値ラベルの表示を省略

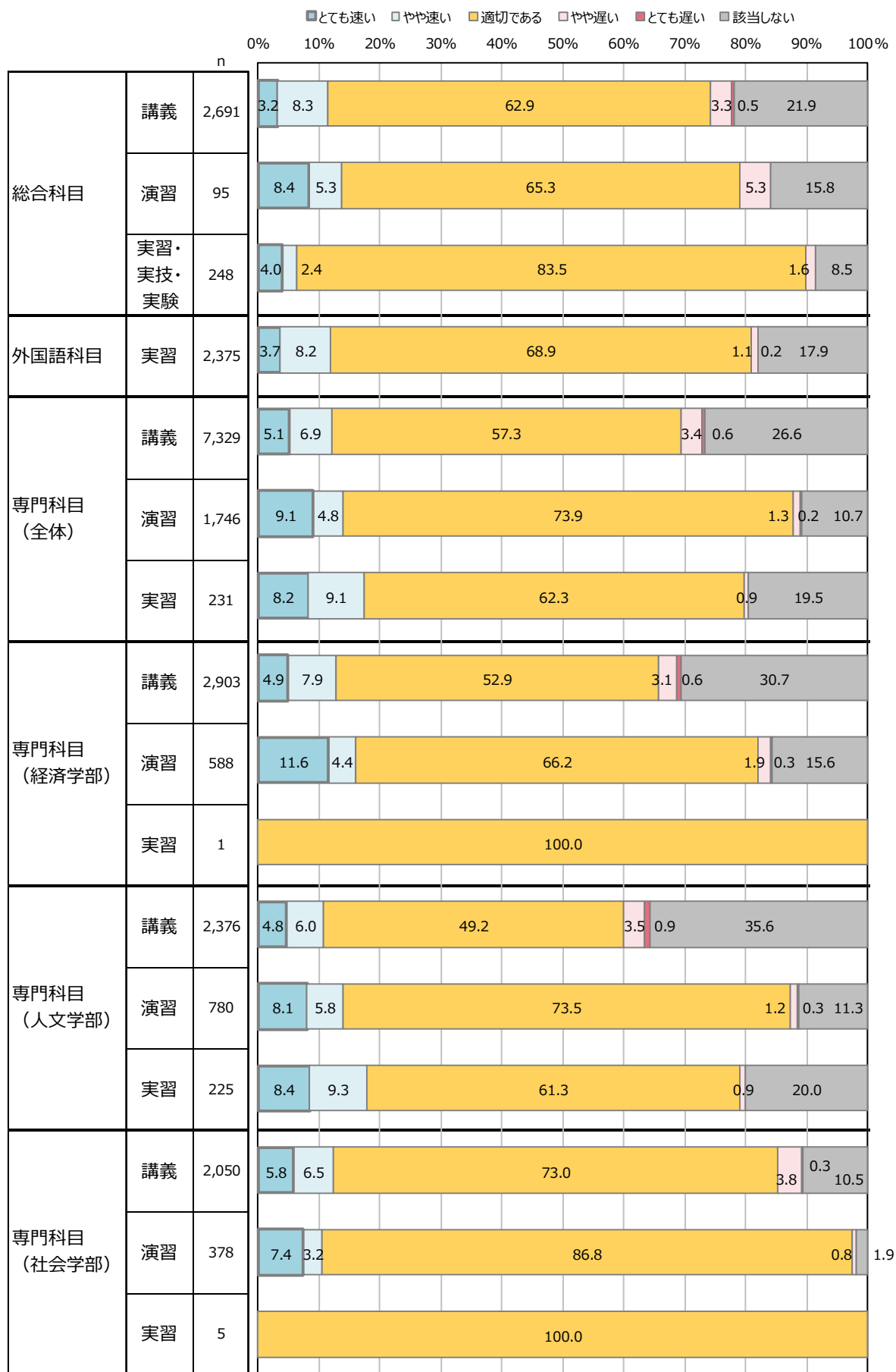
I-11. 教員の話す声は聞き取りやすかったか

■ 強く思う ■ まあ思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない ■ 該当しない
 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



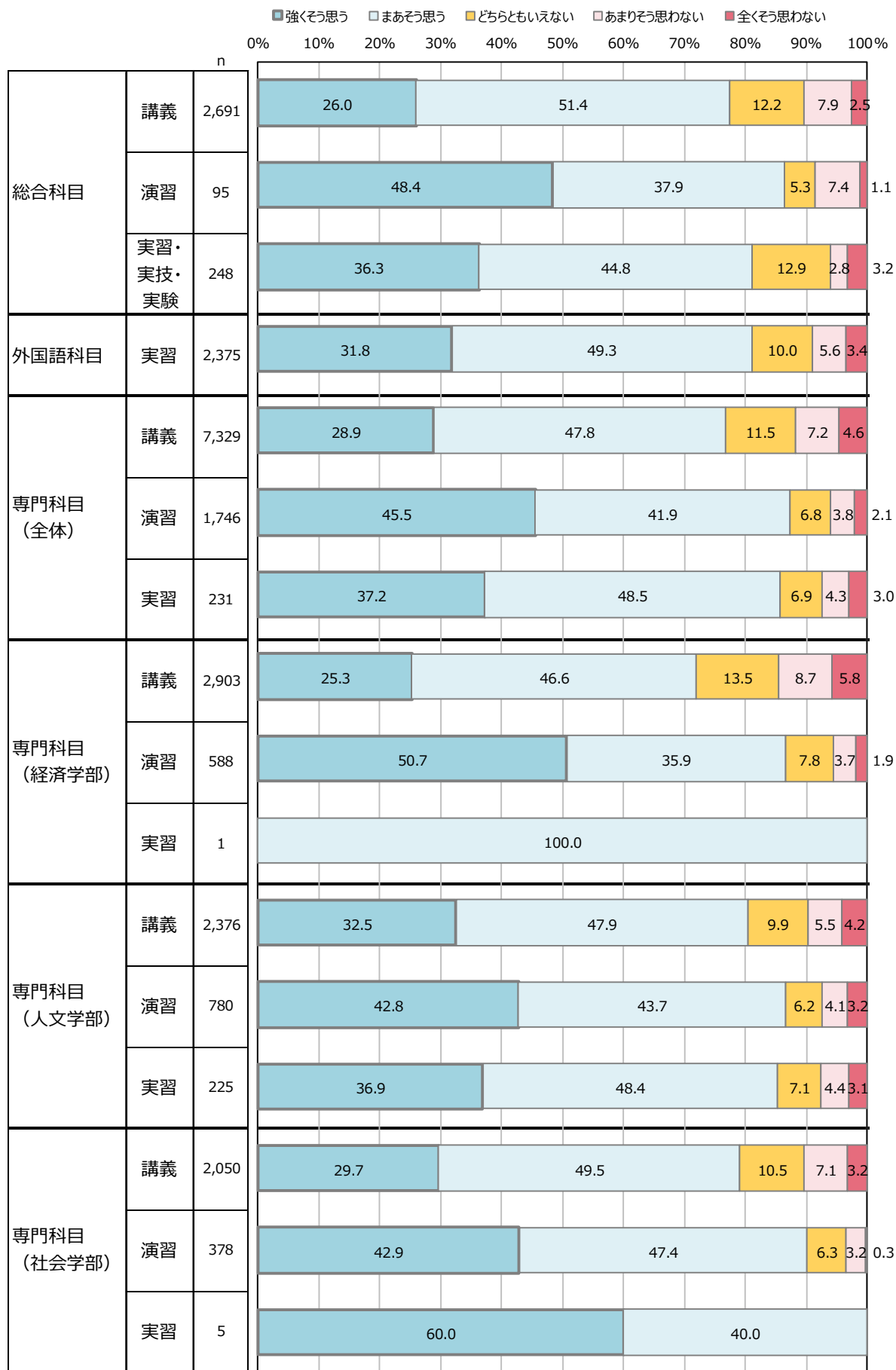
※0%は値ラベルの表示を省略

I-12. 教員の話す速度は適切だったか



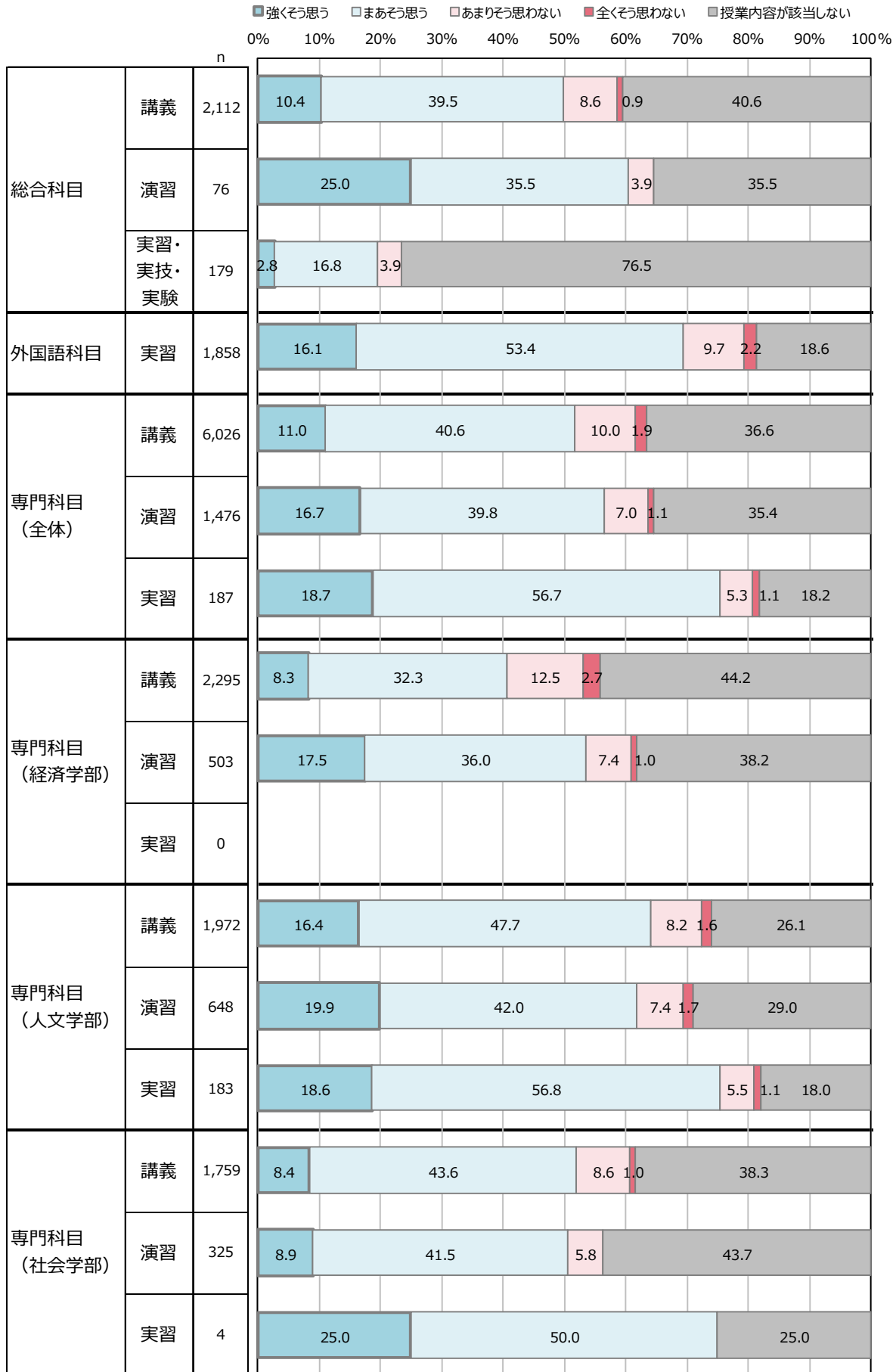
※0%は値ラベルの表示を省略

I-13. 総合的にみて、この授業は満足できたか



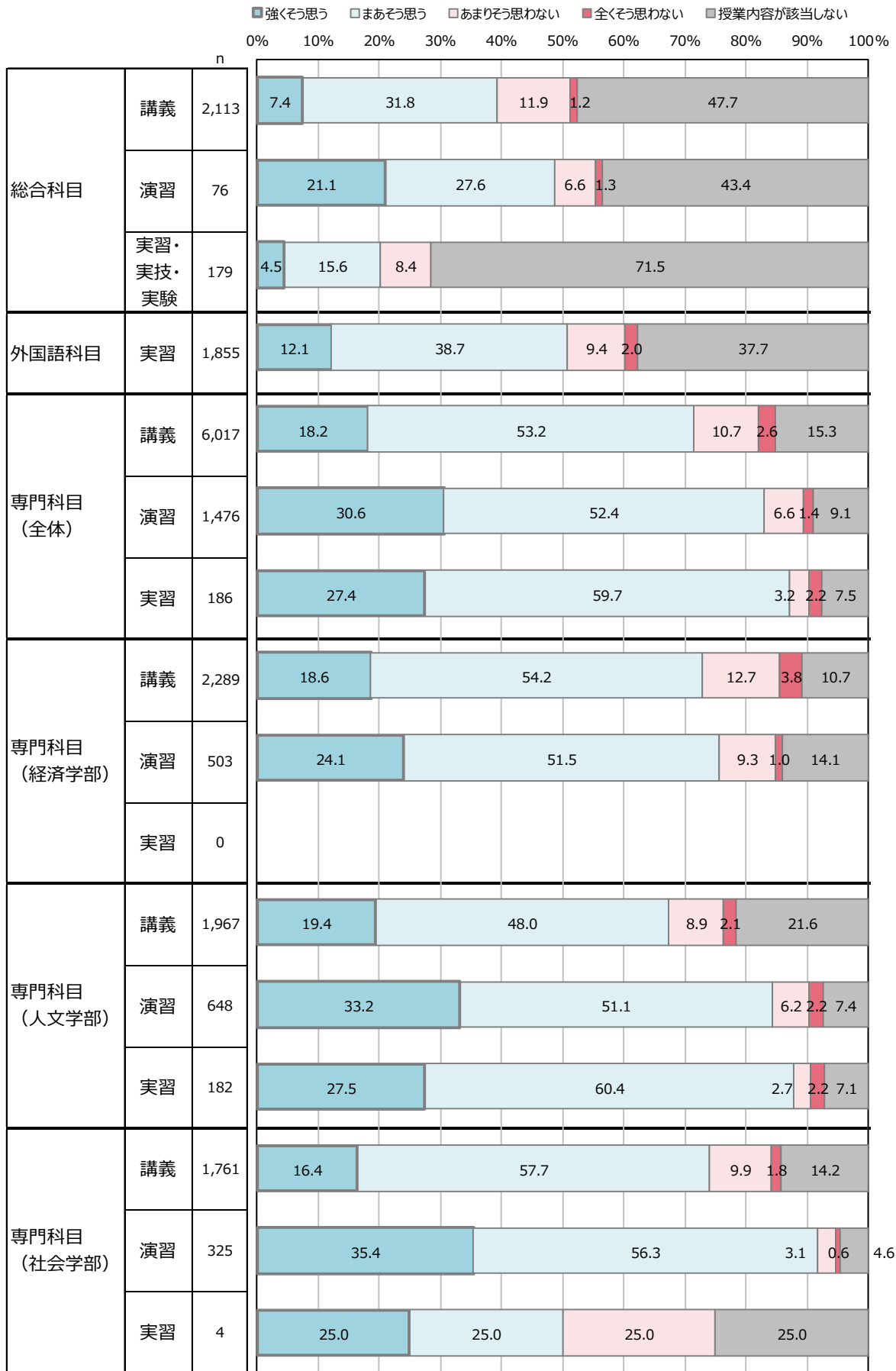
※0%は値ラベルの表示を省略

II-1. グローバル市民として生きていくのに有益な幅広い教養が身についた



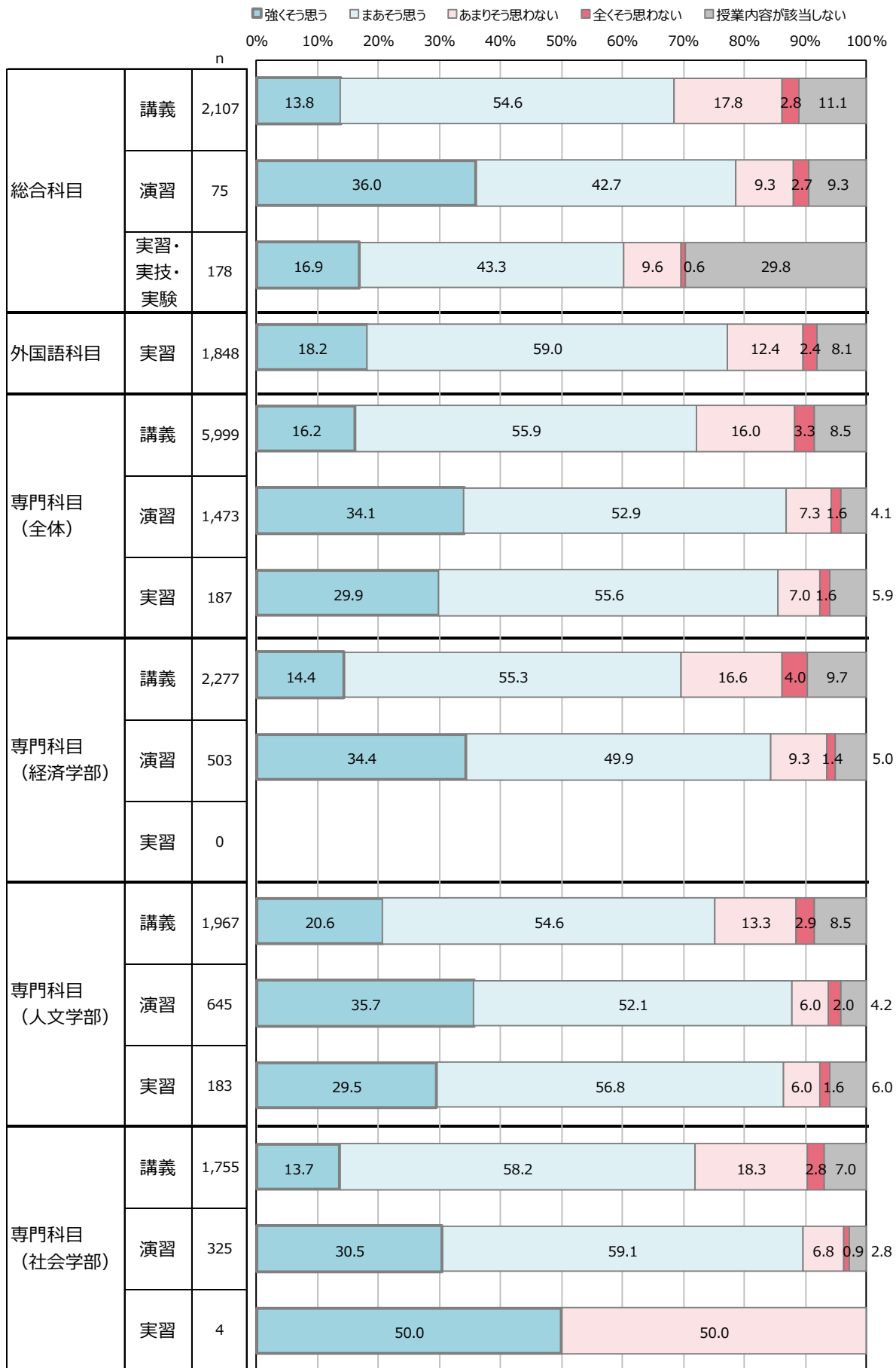
※0%は値ラベルの表示を省略

II-2. 自身の専攻分野に関する十分な知識が身についた



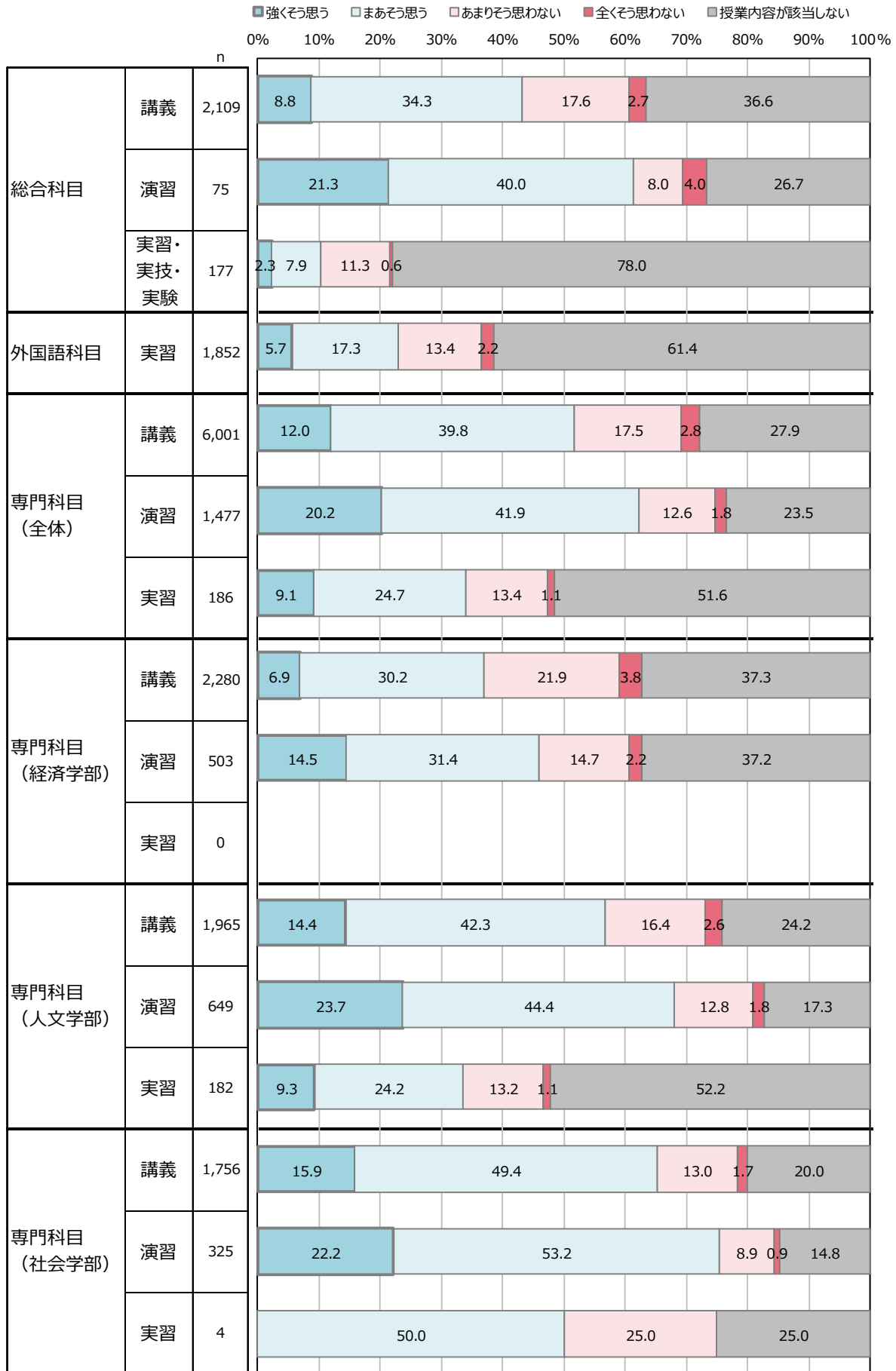
※0%は値ラベルの表示を省略

II-3. 主体的な学習態度が身についた



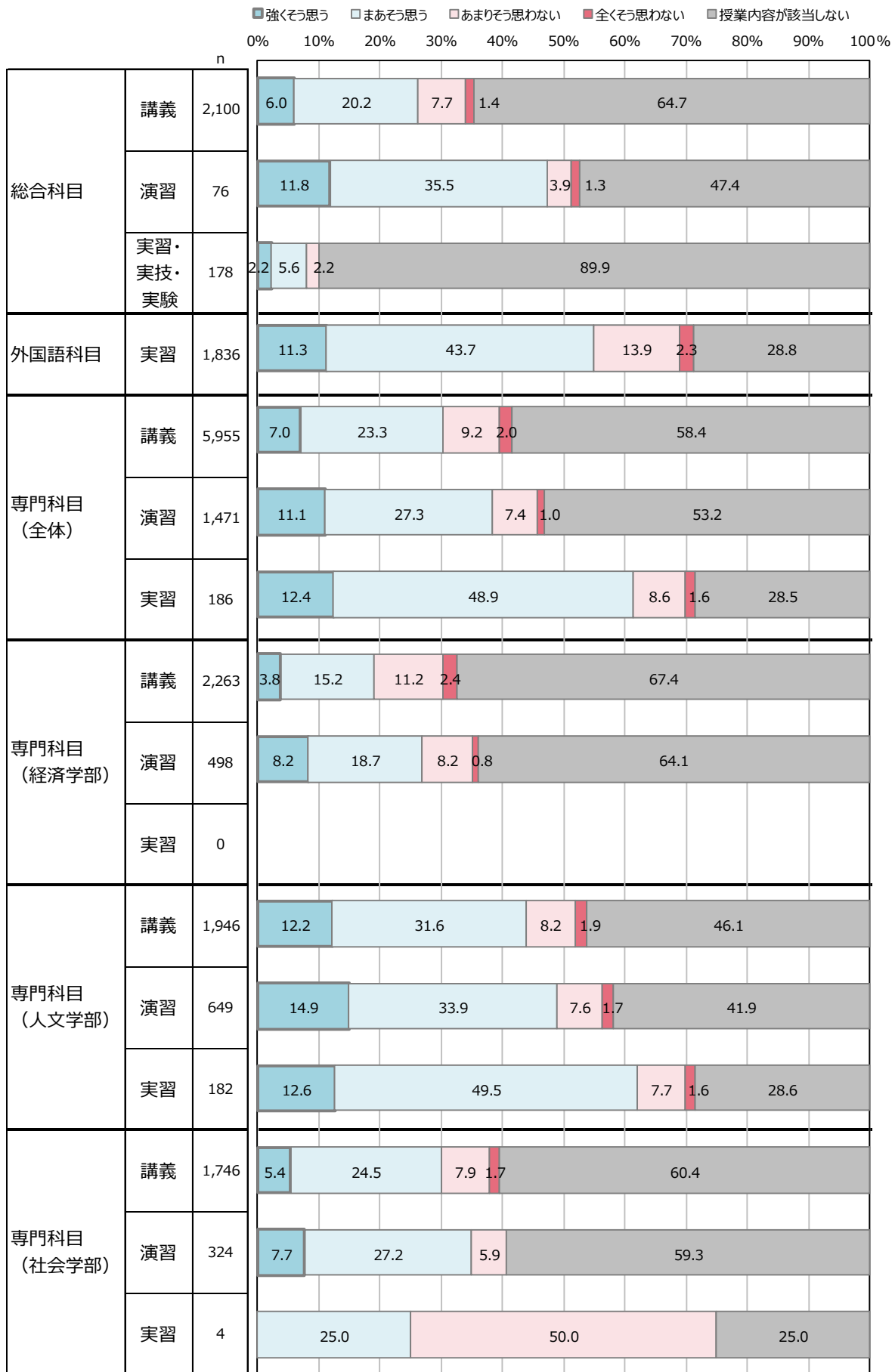
※0%は値ラベルの表示を省略

II-4. 批判的なものの見方が身についた



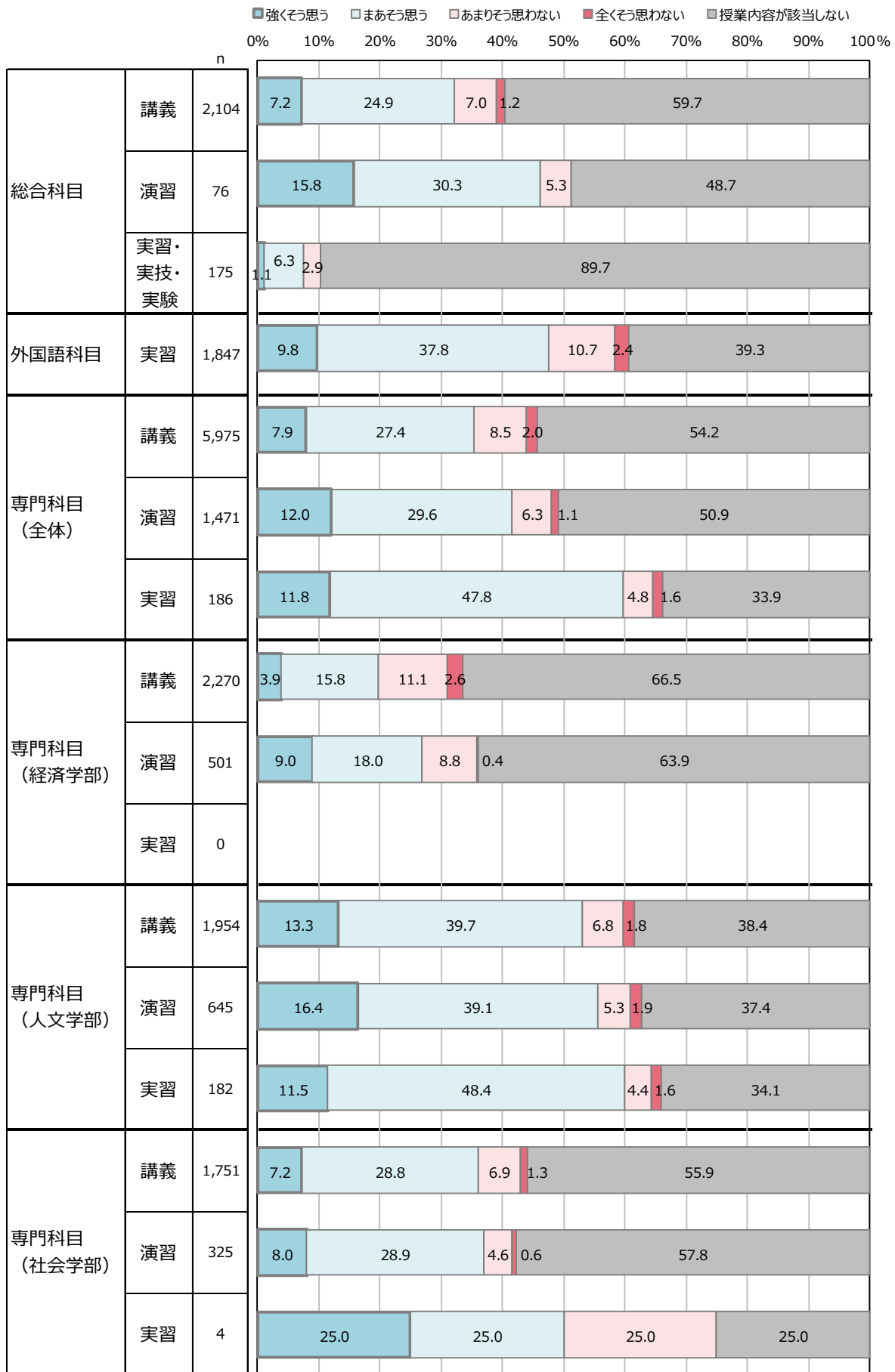
※0%は値ラベルの表示を省略

II-5. 異文化を理解し多様な他者と協働して社会に貢献できる対話力が身についた



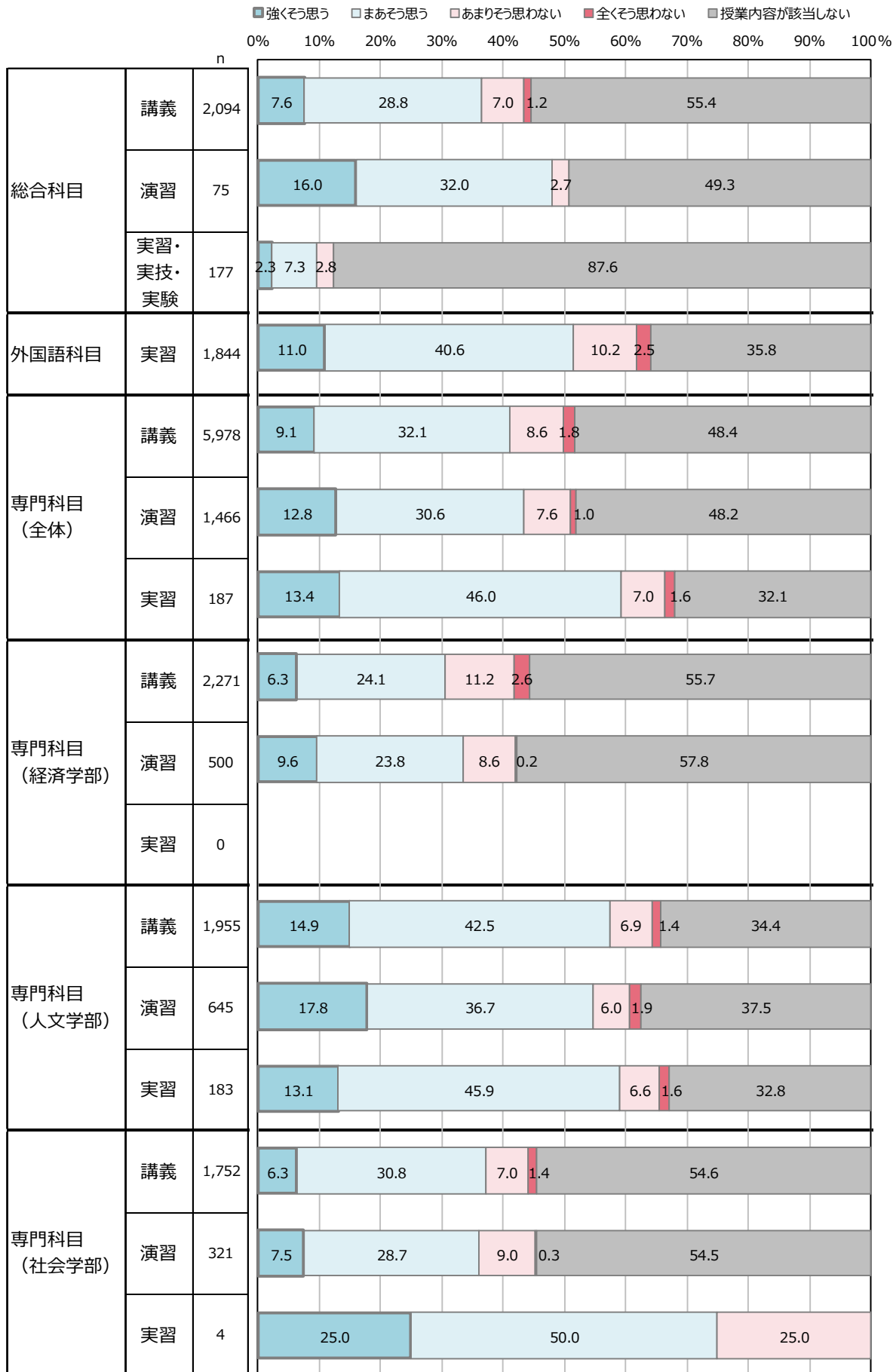
※0%は値ラベルの表示を省略

II-6. 異文化を理解し多様な他者と協働して社会に貢献できる共感が身についた



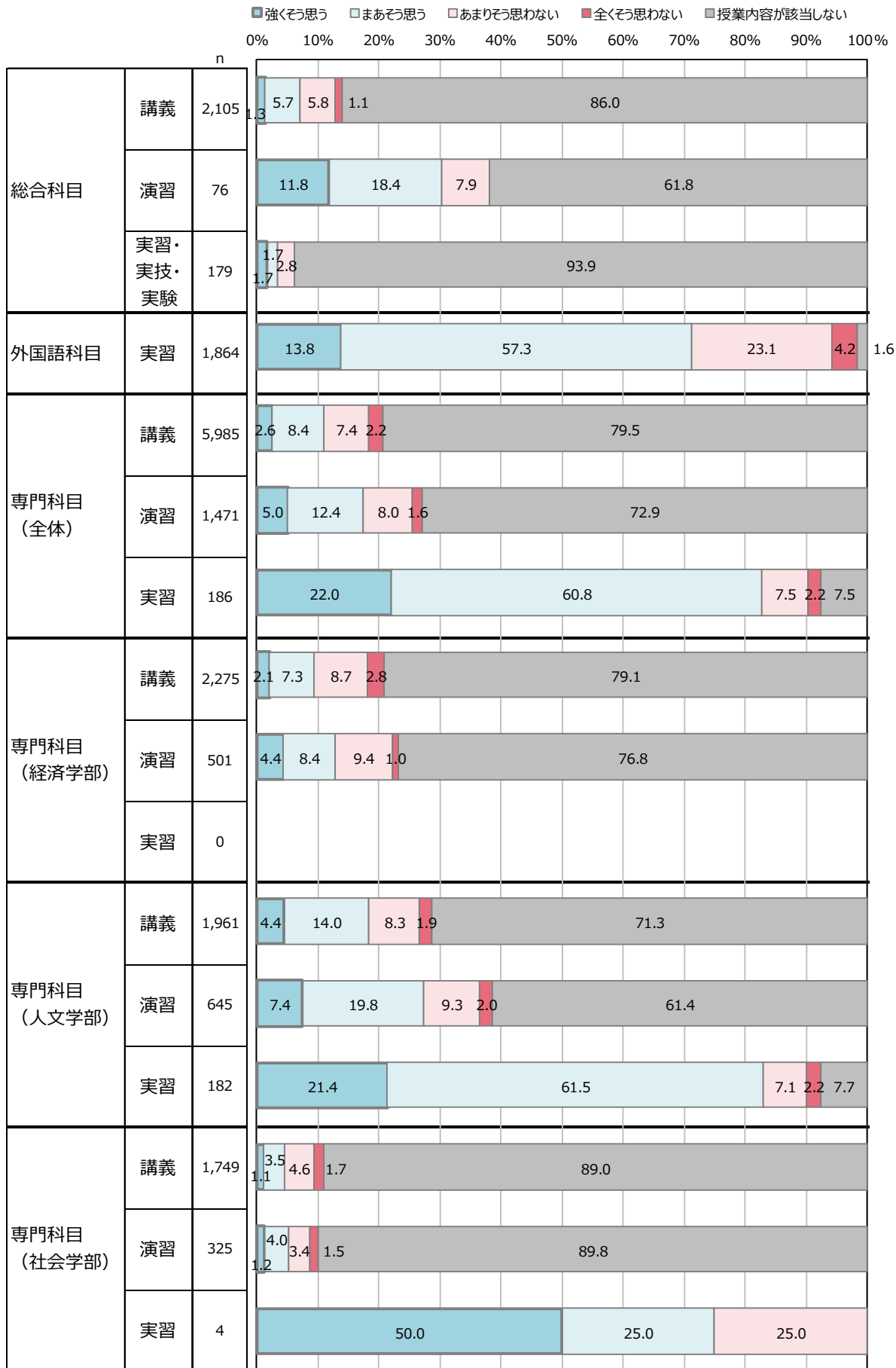
※0%は値ラベルの表示を省略

II-7. グローバルな視点で物事を考える力が身についた



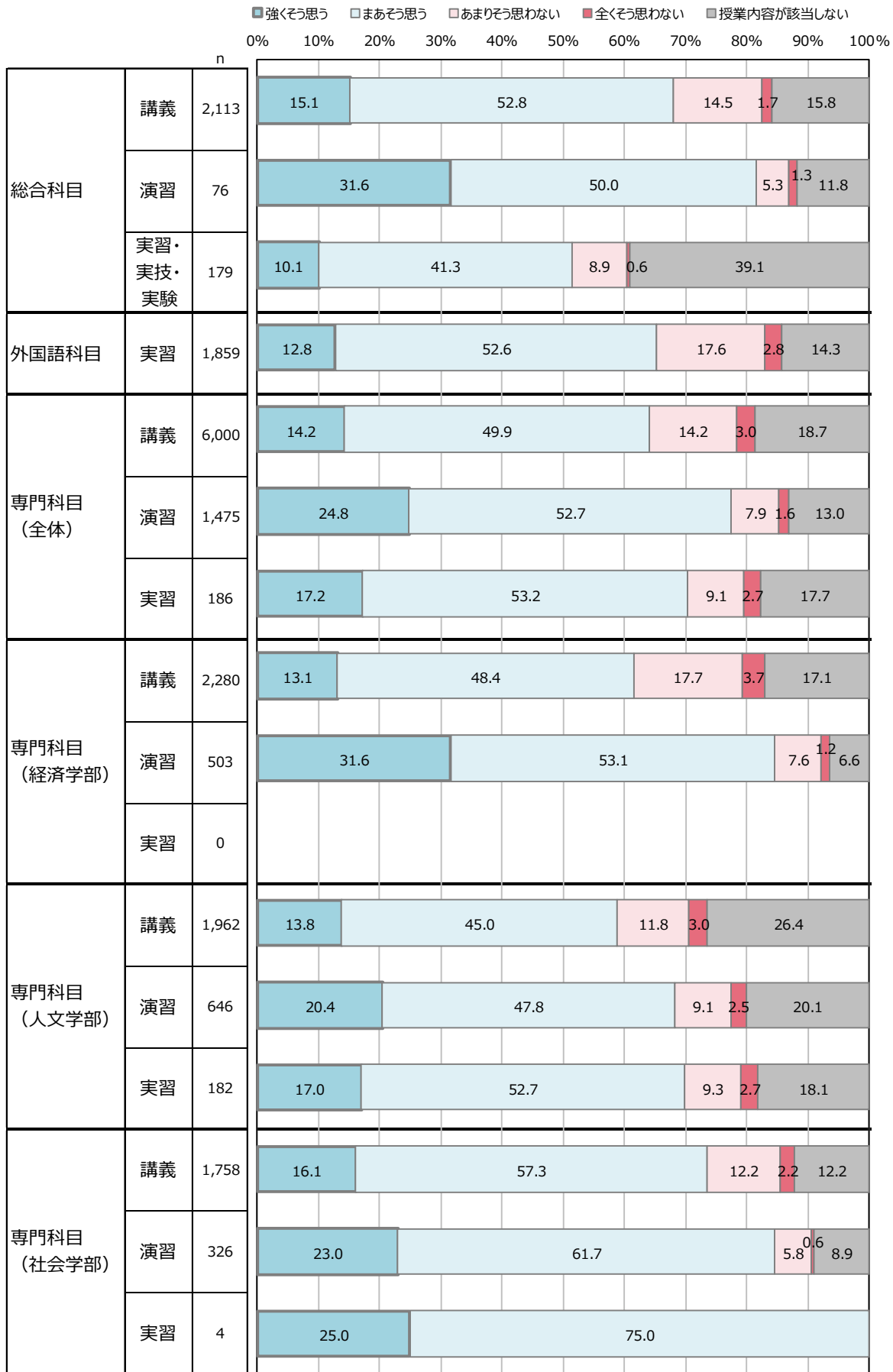
※0%は値ラベルの表示を省略

II-8. 十分な外国語運用能力が身についた



※0%は値ラベルの表示を省略

II-9. 学修の成果や学習態度を実社会で生涯をつうじて活用できる実践力が身についた



※0%は値ラベルの表示を省略

1-5. 学生が選ぶベストティーチャー賞

本年度、全学部で実施した「学生による授業評価アンケート」の結果をもとに、学生の授業満足度が高い教員を選出し顕彰を行った。

総合満足度

評価対象

1. 授業評価アンケートを実施した全授業
2. クラス規模別の回収率を算出し、平均値以上の回収率があった授業
3. 回答者数が10名以上の授業

顕彰方法

各授業の履修者数に応じて、下記の4クラスに分けて集計を行い、クラスごとに授業満足度が最上位であった教員を選出。

- ①小規模クラス1(10～29名)の部
- ②小規模クラス2(30～59名)の部
- ③中規模クラス(60名～119名)の部
- ④大規模クラス(120名以上)の部

2020年度の「学生が選ぶベストティーチャー賞」受賞者は12名が選出され、受賞者には学長より賞状と副賞が授与された。

2015年度までは、3部門・計12名のベストティーチャーを選出していたが、このベストティーチャー賞の受賞を励みにしたいという教員が多いことや、本学の「少人数教育」のメリットを生かした授業を少しでも多く顕彰したいという思いから、2016年度より部門を1つ追加した。2018年度には、「ゼミの武蔵」を代表するような授業を顕彰したいと演習科目を対象に自調自考賞を設けた。

しかしながら、2020年度については新型コロナの影響により例年と設問を大幅に変更したことや、全科目をアンケート実施対象としたこと等を踏まえ、「自調自考賞」は設けずに実施した。今後も様々な基準を設けてそれぞれの分野で活躍されている教員を表彰したいと考えている。一方で、教員には不可抗力な学習環境(履修者数と教室等)の悪影響を考慮しにくいことや試験内容や出席が甘いことがアンケートの高評価になることが課題として挙げられる。加えて、ベストティーチャー賞として選ばれた授業をFD研修会等において全学的に教職員間で情報共有するための実施方法を今後の検討課題としたい。

2020年度「学生が選ぶベストティーチャー賞」受賞者

【総合満足度】

《小規模授業の部1(10～29名)》

※敬称略、五十音順

担当者	科目名
新井 景子	英語 I [3]
玉置 佑介	メディア社会学初年次基礎ゼミ/メディア社会学基礎ゼミ
山本 零	専門ゼミナール第3部

《小規模授業の部2(30～59名)》

担当者	科目名
内田 宏美	中国語入門1
玉置 佑介	社会学概説
吉田 崇将	情報処理入門/情報処理入門I

《中規模授業の部(60～119名)》

担当者	科目名
関根 裕子	ヨーロッパの音楽文化
段 躍中	現代世界の人と生活
中村 公一	組織間関係論

《大規模授業の部(120名以上)》

担当者	科目名
小川 絵美子	多文化共生の現在
小森 真樹	アメリカ文化論1
斎藤 幸江	キャリアデザイン論B

- このアンケートは、授業を改善し、さらに充実させることや教育改善を目的に実施するものです。
 - 回答内容が成績評価に影響を与えることは決してありません。
 - 担当教員は、集計された結果のみを見ますので、学生一人ひとりの回答を見ることはありません。
 - 授業をより良いものにするという意識のもとに、素直かつ責任をもって回答してください。
- ※必須設問をすべて回答しないと送信できません。回答中の一時保存もできません。
また、回答済みの授業評価でも、実施期間中であれば何度でも修正することができます。

【I】この授業はどのような形態で行われましたか？（複数回答可）

- 資料配信・課題研究(授業資料が3S等にて配信され、教員の指示のもと課題を行う)
- 授業の動画・音声配信(録画・録音された授業をオンデマンドで受講する)
- 授業のライブ配信(定められた曜日・時限に、授業映像・音声ライブ配信され、リアルタイムで受講する)
- その他

【II】この授業について、以下の項目のどれに当てはまりますか？※(複数回答可)がない場合は、単一選択

1. この授業を履修した理由は何ですか(複数回答可) (必須)

- 授業内容にひかれた
- 担当教員にひかれた
- 時間割上都合がよかった
- 必修だから
- 単位がとりやすそうだった
- 資格取得に必要なだから
- その他

2. 教員から周知された授業内容や方法に沿って行われたか (必須)

- 強くそう思う
- まあそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

3. 授業内容を理解できたか (必須)

- 強くそう思う
- まあそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

4. 授業内容に興味を持てたか (必須)

- 強くそう思う
- まあそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

5. 課題の量は適切だったか (必須)

- とても多い
- やや多い
- 適切である
- やや少ない
- とても少ない
- 該当しない

6. 課題に対する指示は分かりやすかったか (必須)

- 強くそう思う
- まあそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない
- 該当しない

7. 課題の内容は分かりやすかったか (必須)

- 強くそう思う
- まあそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない
- 該当しない

8. 課題に対するフィードバックは分かりやすかったか (必須)

- 強くそう思う
- まあそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

9. 教員は質問や問い合わせに対して適切に対応していたか (必須)

- 強くそう思う
- まあそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

10. 教員は学生からの質問やチャット等のフィードバックを取り入れながら授業を行っていたか (必須)

強くそう思う まあそう思う どちらともいえない あまりそう思わない 全くそう思わない 該当しない

11. 教員の話す声は聞き取りやすかったか (必須)

強くそう思う まあそう思う どちらともいえない あまりそう思わない 全くそう思わない 該当しない

12. 教員の話す速度は適切だったか (必須)

とても速い やや速い 適切である やや遅い とても遅い 該当しない

13. 総合的にみて、この授業は満足できた (必須)

強くそう思う まあそう思う どちらともいえない あまりそう思わない 全くそう思わない

【Ⅲ】この授業に対する取り組みについて、以下の項目のどれに当てはまりますか？

1. この授業をどの機器で受講したか(複数回答可)(必須)

パソコン タブレット スマートフォン 携帯電話 その他

2. 受講環境で困ったことは何ですか？(複数回答可)(必須)

自宅で集中できない 一人の空間がなく声を出せない プライバシー侵害を感じる
授業への集中力が続かない 特になし

3. 通信環境等で困ったことは何ですか？(複数回答可)(必須)

ネット環境が不十分 PC、ソフト等の不足・不具合 PC、ソフト等の性能
PC・ソフト等に関する知識不足 金銭的負担 特になし

4. 受講する上で、困ったことや不安に思ったことは何ですか？(複数回答可)(必須)

提出物が届いているかどうか不安 教員とコミュニケーションがとれない・とりにくい
授業ごとに授業形態が異なる 他の学生と一緒に学べず孤立感を感じた
図書館の資料が利用できない 授業外の学習機会(映画や書籍、博物館等)が減った 特になし

5. 受講する上で、良かったことは何ですか？(複数回答可)(必須)

学習効果が高い 復習が何度もできる 質問がしやすい 資料がわかりやすい
資料が電子化されている 教科書などを使わない授業が多く安価または便利
オンライン授業の方が面白い 自分のペースで学習できる 自宅で学習できる(通学時間の削減)
リラックスして授業が受けられる 人と会わなくて良い 服装を気にしなくて良い
家事、アルバイト等と両立しやすい プライベートな時間が増えた 感染の不安がない 特になし

6. (2年次生以上の方に伺います)オンライン授業と対面授業ではどちらが良いですか

オンライン授業 どちらかというオンライン授業 対面授業 どちらかという対面授業
どちらともいえない わからない

【Ⅳ】オンライン授業について意見があれば自由にお書きください

※以下、全員対象

【Ⅴ】あなたはこの授業を受けることで、以下のうちどのような知識・能力・態度が身につきましたか？

1. グローバル市民として生きていくのに有益な幅広い教養が身についた (必須)

強くそう思う まあそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない 授業内容が該当しない

2. 自身の専攻分野に関する十分な知識が身についた (必須)

強くそう思う まあそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない 授業内容が該当しない

3. 主体的な学習態度が身についた (必須)

強くそう思う まあそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない 授業内容が該当しない

4. 批判的なものの見方が身についた (必須)

強くそう思う まあそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない 授業内容が該当しない

5. 異文化を理解し多様な他者と協働して社会に貢献できる対話力が身についた (必須)

強くそう思う まあそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない 授業内容が該当しない

6. 異文化を理解し多様な他者と協働して社会に貢献できる共感が身についた (必須)

強くそう思う まあそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない 授業内容が該当しない

7. グローバルな視点で物事を考える力が身についた (必須)

強くそう思う まあそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない 授業内容が該当しない

8. 十分な外国語運用能力が身についた (必須)

強くそう思う まあそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない 授業内容が該当しない

9. 学修の成果や学習態度を実社会で生涯をつうじて活用できる実践力が身についた (必須)

強くそう思う まあそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない 授業内容が該当しない

以上でアンケートは終わりです。
ご協力ありがとうございました。

回答

2. 授業評価アンケート(大学院)

アンケート概要と実施状況

大学院における授業改善に向けて 2018 年度から大学院生を対象とした個別の授業に対する授業評価アンケートを実施している。調査概要と実施状況は以下のとおりである。

【概要】

(1) 調査目的

「武蔵大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程(平成 21 年4月 16 日制定)」に基づき、大学院の教育活動の組織的改善に資する取組みとして、大学院授業評価アンケートを実施。

(2) 調査対象

武蔵大学大学院の博士前期課程および博士後期課程に在籍している大学院生(ただし、休学、留学中の学生を除く)。

(3) 調査方式

学内ポータルサイト(3S)より回答。

(4) アンケート項目

- 【Ⅰ】この授業の内容について、感想・意見・改善してほしい点などを自由に記入してください。
- 【Ⅱ】この授業の進め方について、感想・意見・改善してほしい点などを自由に記入してください。
- 【Ⅲ】オンライン授業についても、ご意見等がある場合はこちらにお書きください。

(5) 実施期間

前学期科目:2020 年 7 月 6 日(月) ～ 2020 年 7 月 31 日(金)
後学期科目:2020 年 11 月 30 日(月) ～ 2020 年 12 月 11 日(金)

【実施状況】

実施期間	対象科目数	対象人数	回答数	回答率
前学期	90	144	55	38.2%
後学期	88	134	3	2.2%
合計	177	278	58	20.8%

アンケート結果については、担当教員にフィードバックされた。授業改善の目的とともに、大学院生の声を吸収する機会が少ないとの理由から、個別授業に対する授業評価アンケートの実施に至ったものの、少人数での授業が多いことから、回答者が特定されやすいとの懸念があった。今後は実施方法等について、引き続き検討していく必要がある。

3. オンライン授業に関するアンケート

3-1. 前学期オンライン授業アンケート結果(学生)

I.実施概要

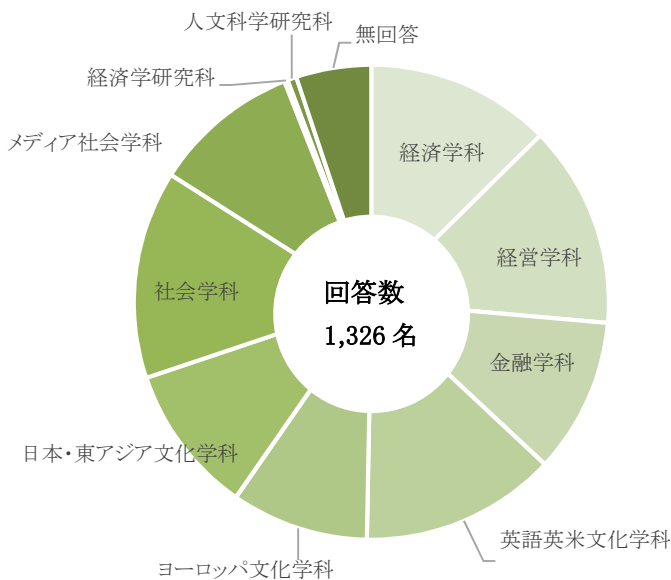
- 実施期間:2020年8月1日(土)～8月18日(火)
- 実施方法:Google Formsにて実施
- 調査対象:全学部生および大学院生
- 対象者数:4,517名(学部生4,476名、大学院生41名)
- 回収数:1,326名(回収率:29.3%)

II.アンケート調査項目

- どの機器で受講しましたか(複数回答可)
- 課題の量は適切でしたか(オンライン授業の形式ごとに回答)
 - a)資料配信・課題研究形式、b)授業の動画・音声配信形式、c)授業のライブ配信形式
- 受講環境で困ったことは何ですか(複数回答可、自由記述あり)
- 通信環境等で困ったことは何ですか(複数回答可、自由記述あり)
- 受講する上で、困ったことや不安に思ったことは何ですか(複数回答可、自由記述あり)
- 受講する上で、良かったことは何ですか(複数回答可、自由記述あり)
- オンライン授業と対面授業ではどちらが良いですか
- その他、何か意見があれば自由にお書きください

III.調査結果

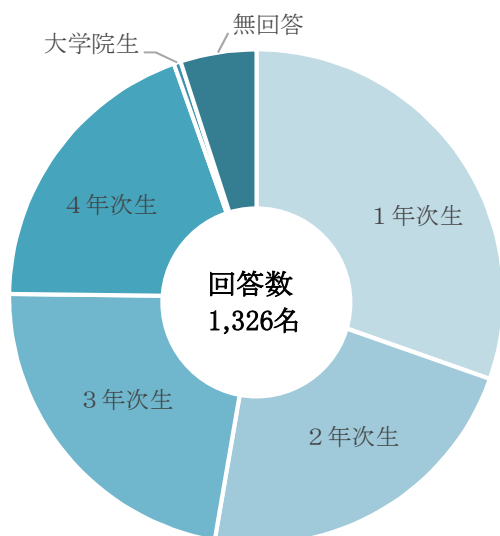
アンケート回答者の所属



経済学科	167名	12.6%
経営学科	183名	13.8%
金融学科	140名	10.6%
英語英米文化学科	177名	13.3%
ヨーロッパ文化学科	124名	9.4%
日本・東アジア文化学科	135名	10.2%
社会科学	188名	14.2%
メディア社会学科	133名	10.0%
経済学研究科	3名	0.2%
人文科学研究科	8名	0.6%
無回答	68名	5.1%
総計	1,326名	

回答者の約95%が学部生である。

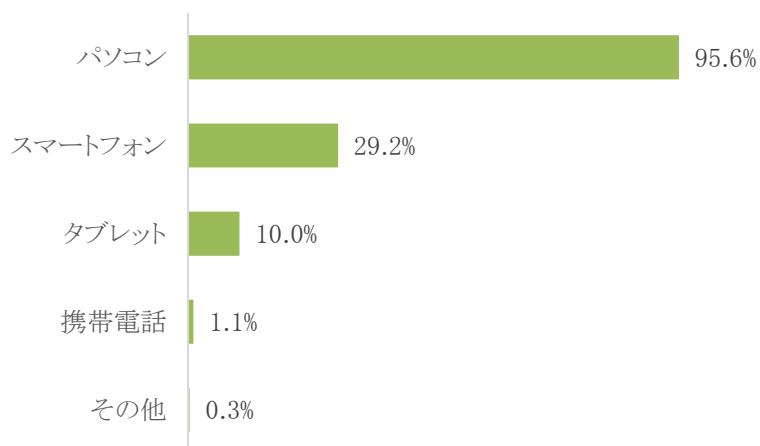
アンケート回答者の学年



1年次生	403名	30.4%
2年次生	296名	22.3%
3年次生	298名	22.5%
4年次生	257名	19.4%
大学院生	6名	0.5%
無回答	66名	5.0%
総計	1,326名	

学部生については、1年次生が約30%、2～4年次生については、それぞれ約20%強の回答である。

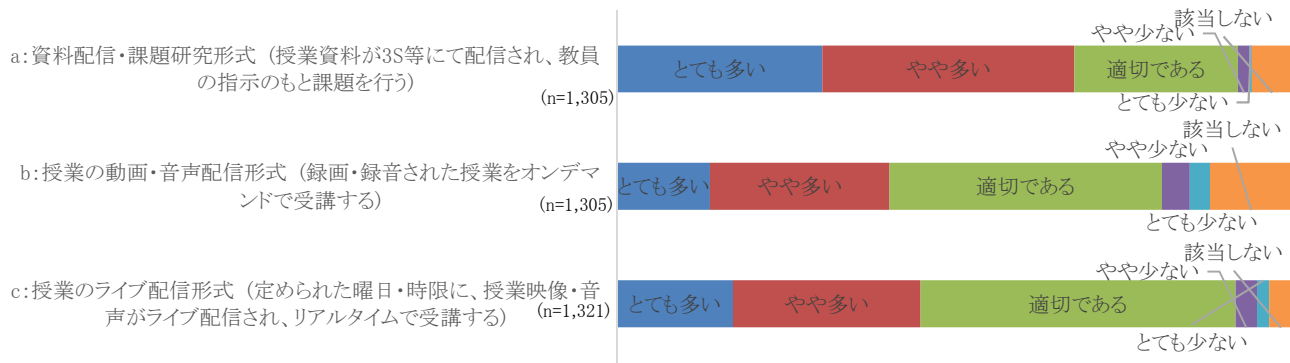
1. どの機器で受講しましたか(複数回答)



パソコン	1,267名	95.6%
スマートフォン	387名	29.2%
タブレット	133名	10.0%
携帯電話	14名	1.1%
その他	4名	0.3%
総計	1,805名	

ほぼ全員がパソコンから受講している。

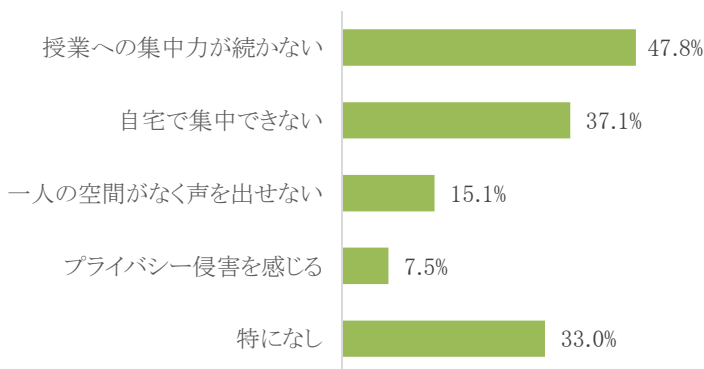
2. 課題の量は適切でしたか(オンライン授業の形式ごとに回答)



「資料配信・課題研究形式」については、「とても多い」、「やや多い」の割合が約7割に及んでいるが、「授業の動画・音声配信形式」、「授業のライブ形式」では、約半数弱の学生が「適切である」と答えている。

→「資料配信・課題研究形式」については、90分の授業時間も課題研究の時間にあてられることが要因として考えられる。

3. 受講環境で困ったことは何ですか(複数回答可)



授業への集中力が続かない	634名	47.8%
自宅で集中できない	492名	37.1%
一人の空間がなく声を出せない	200名	15.1%
プライバシー侵害を感じる	100名	7.5%
特になし	438名	33.0%
総計	1,326名	

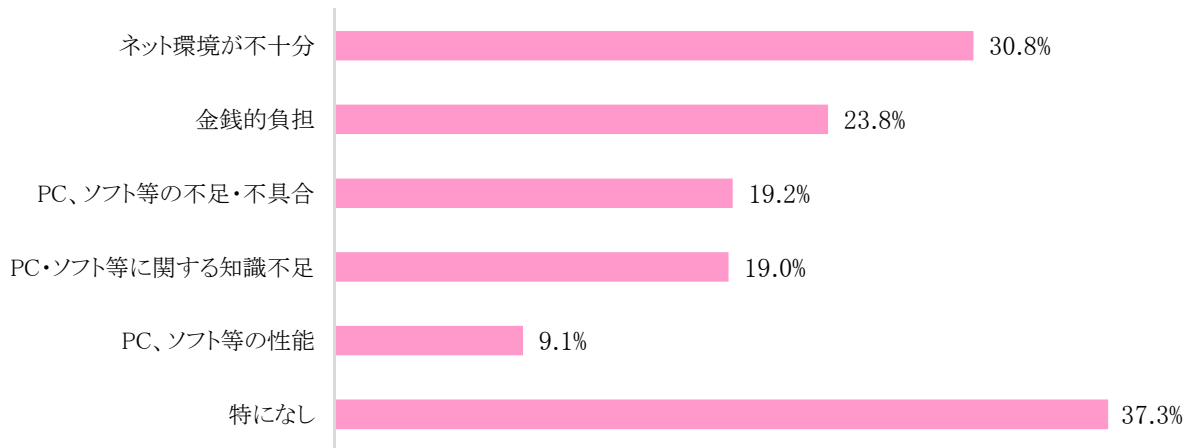
「授業への集中力が続かない」と回答した学生が約半数を占めている。

「自宅で集中できない」37.1%、「一人の空間がなく声が出せない」15.1%と受講環境も影響していると思われる。

(自由記述)

- 心身、生活リズムの不調(目が疲れる、視力低下、腰が痛い等)
- 教員への質問がしづらい、友達に聞くことができない、相談相手がいない
- 受講環境を準備することが難しい(家族との生活空間の共有、生活騒音等)
- 図書館が使えないため、資料を揃えることができない
- 授業の資料や課題をコピーする費用がかかる
- 教員の周りの騒音が気になる

4. 通信環境等で困ったことは何ですか(複数回答可)



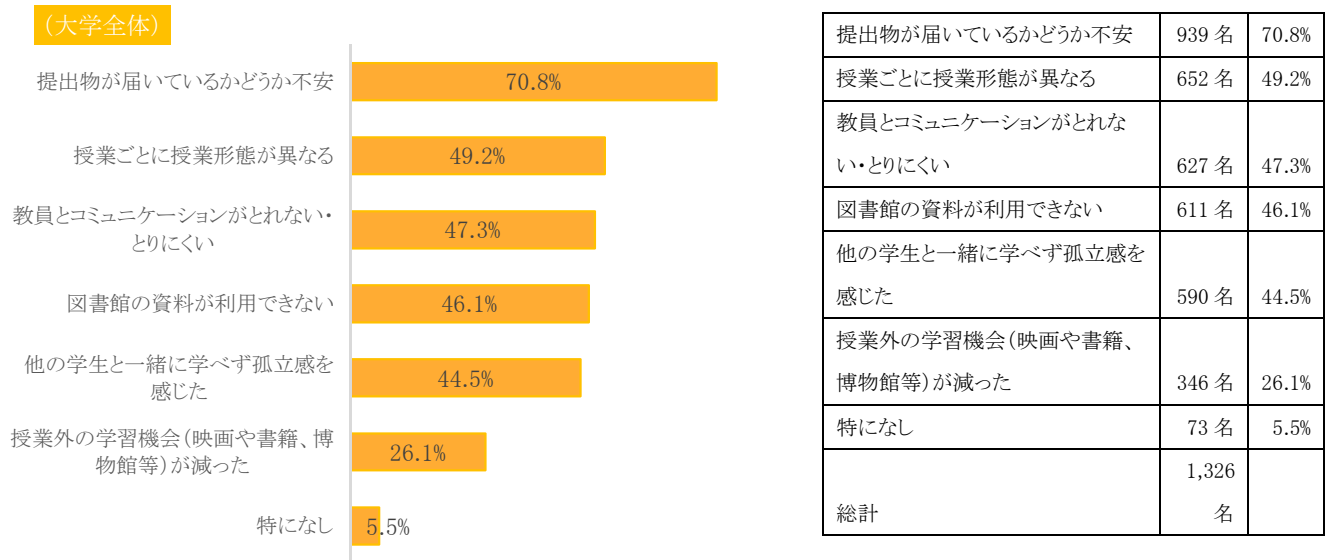
「ネット環境が不十分」30.8%、「PC、ソフト等の不足・不具合」19.2%と、通信環境が整っていない学生が一定数存在している。

一方で、特に問題がないと答えた学生は4割弱であった。

(自由記述)

- 通信量がかかる(大学から借用しているモバイルルーターでは足りない)
- Wi-fi が不安定で途中で途切れてしまう、Zoom が途中で途切れてしまう
- 教員のネット環境が悪く、重要な点が聞こえない(声が聞こえにくい)
- 3Sですぐにタイムアウトになってしまう
- 次の時限の教員が Zoom にログインすると授業が強制的に終了してしまう
- PC のバージョンが古く、課題をダウンロードできなかった

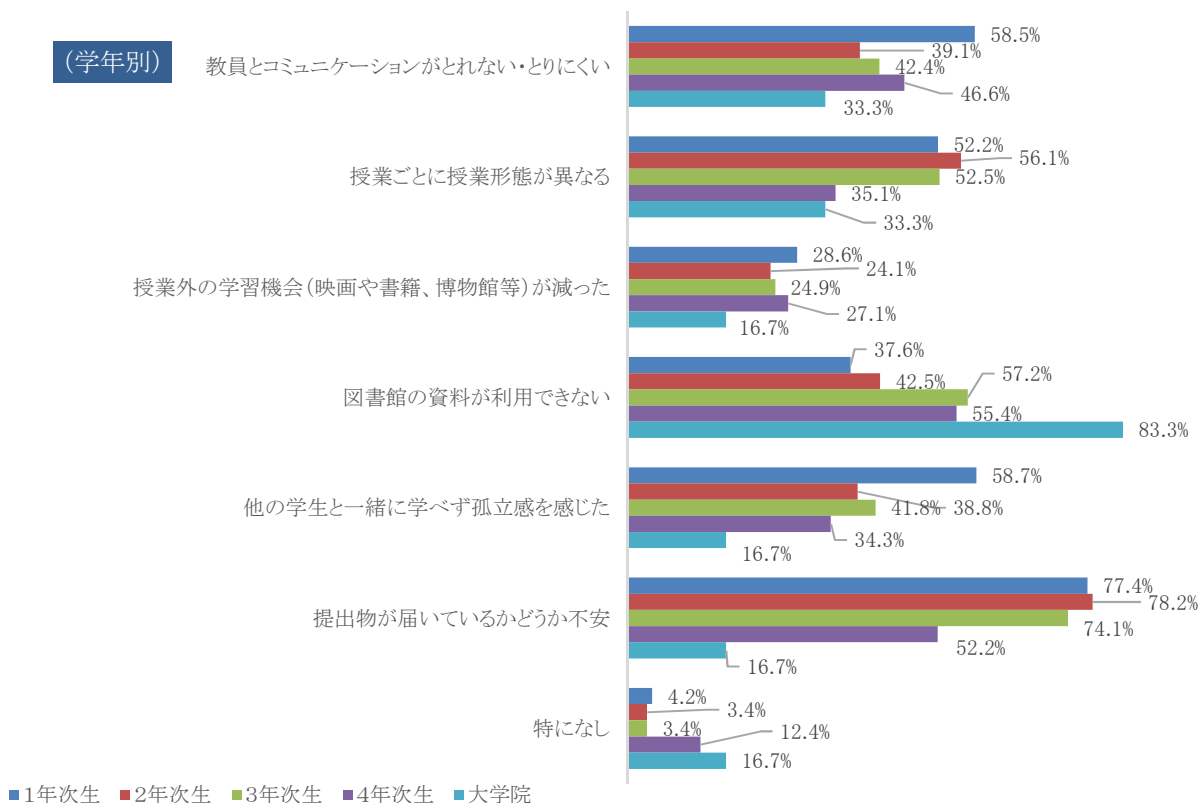
5. 受講する上で、困ったことや不安に思ったことは何ですか(大学全体:複数回答可)



「提出物が届いているかどうか不安」と回答した学生が7割であった。提出物に関しては、成績評価とも関連するため、学生の不安が大きくなっていると思われる。

その他、「授業ごとに授業形態が異なる」49.2%、「教員とのコミュニケーションがとれない・とりにくい」47.3%、「ほかの学生と一緒に学べずに孤立感を感じた」44.5%となっており、この点については、授業運営上の工夫が必要と思われる。

5. 受講する上で、困ったことや不安に思ったことは何ですか(学年別:複数回答可)



教員とコミュニケーションがとれない・とりにくい	1年生	235名	58.5%	他の学生と一緒に学べず孤立感を感じた	1年生	236名	58.7%
	2年生	115名	39.1%		2年生	114名	38.8%
	3年生	126名	42.4%		3年生	124名	41.8%
	4年生	117名	46.6%		4年生	86名	34.3%
	大学院	2名	33.3%		大学院	1名	16.7%
授業ごとに授業形態が異なる	1年生	210名	52.2%	提出物が届いているかどうか不安	1年生	311名	77.4%
	2年生	165名	56.1%		2年生	230名	78.2%
	3年生	156名	52.5%		3年生	220名	74.1%
	4年生	88名	35.1%		4年生	131名	52.2%
	大学院	2名	33.3%		大学院	1名	16.7%
授業外の学習機会(映画や書籍、博物館等)が減った	1年生	115名	28.6%	特になし	1年生	17名	4.2%
	2年生	71名	24.1%		2年生	10名	3.4%
	3年生	74名	24.9%		3年生	10名	3.4%
	4年生	68名	27.1%		4年生	31名	12.4%
	大学院	1名	16.7%		大学院	1名	16.7%
図書館の資料が利用できない	1年生	151名	37.6%				
	2年生	125名	42.5%				
	3年生	170名	57.2%				
	4年生	139名	55.4%				
	大学院	5名	83.3%				

特に1年次生については、「教員とのコミュニケーションがとれない・とりにくい」が 58.5%と他の学年より多くなっている。

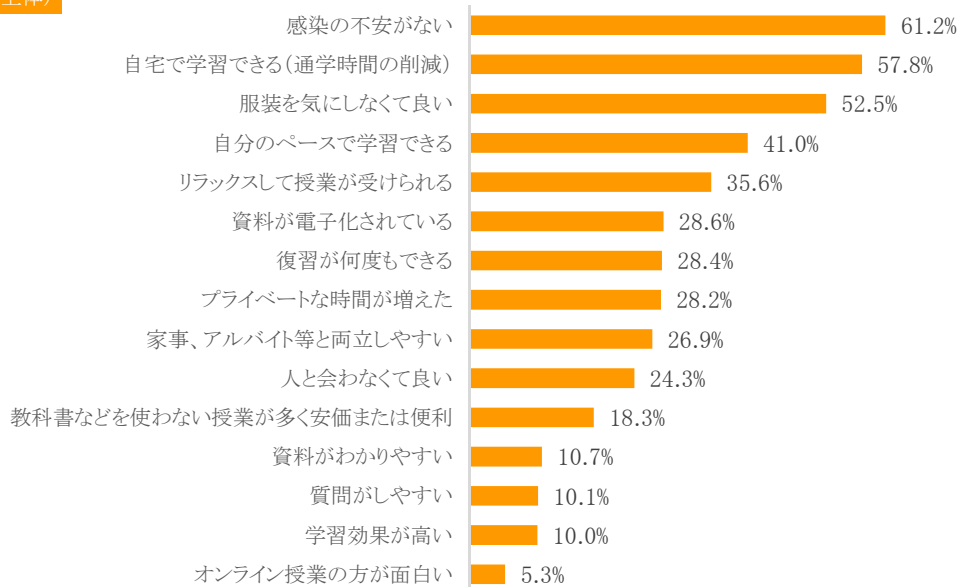
また、大学院生については、「図書館の資料が利用できない」83.3%が最も多かった。

(自由記述)

- 課題の量が多い、課題についての説明・解説が十分ではない
- 課題や質問に対するコメントがない
- 成績評価がどのようにされるのか(通信環境の影響で遅刻しても減点されるのか等)
- 教員によって授業の質が違う(特に資料配信・課題研究形式)
- 授業の直前に資料をアップしたり、Zoomでの実施を周知したりする
- 授業によって使用するシステム(3S、Zoom、Google等)が異なる
- 初対面の人とのブレイクアウトセッションで何も話さない人がいる
- 周りの様子がわからないので、自分の習熟度がわからない

6. 受講する上で、良かったことは何ですか(大学全体:複数回答可)

(大学全体)

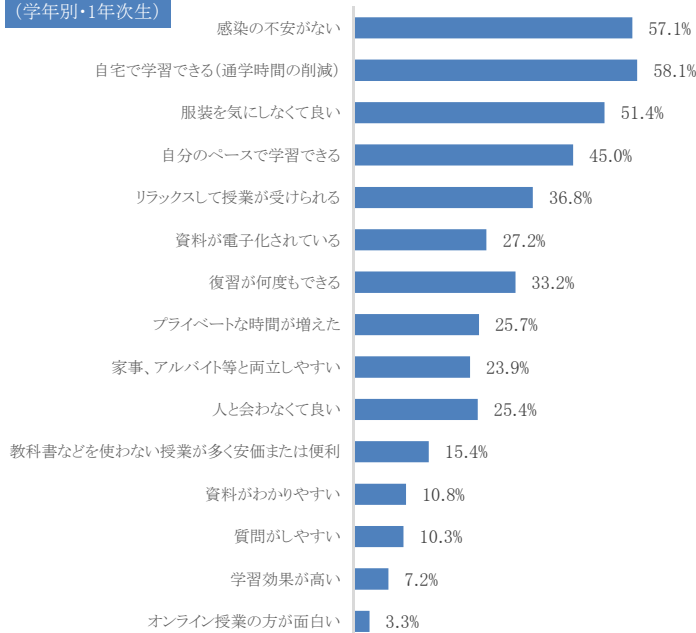


感染の不安がない	812	61.2%
自宅で学習できる(通学時間の削減)	766	57.8%
服装を気にしなくて良い	696	52.5%
自分のペースで学習できる	543	41.0%
リラックスして授業が受けられる	472	35.6%
資料が電子化されている	379	28.6%
復習が何度でもできる	376	28.4%
プライベートな時間が増えた	374	28.2%
家事、アルバイト等と両立しやすい	357	26.9%
人と会わなくて良い	322	24.3%
教科書などを使わない授業が多く安価または便利	243	18.3%
資料がわかりやすい	142	10.7%
質問がしやすい	134	10.1%
学習効果が高い	133	10.0%
オンライン授業の方が面白い	70	5.3%
総計	1326	

「感染の不安がない」61.2%に続き、「自宅で学習できる(通学時間の削減)」57.8%、「服装を気にしなくて良い」52.5%と、自分のペースで学習できるというオンライン授業の利点も見受けられる。

6. 受講する上で、良かったことは何ですか(1年次生:複数回答可)

(学年別・1年次生)

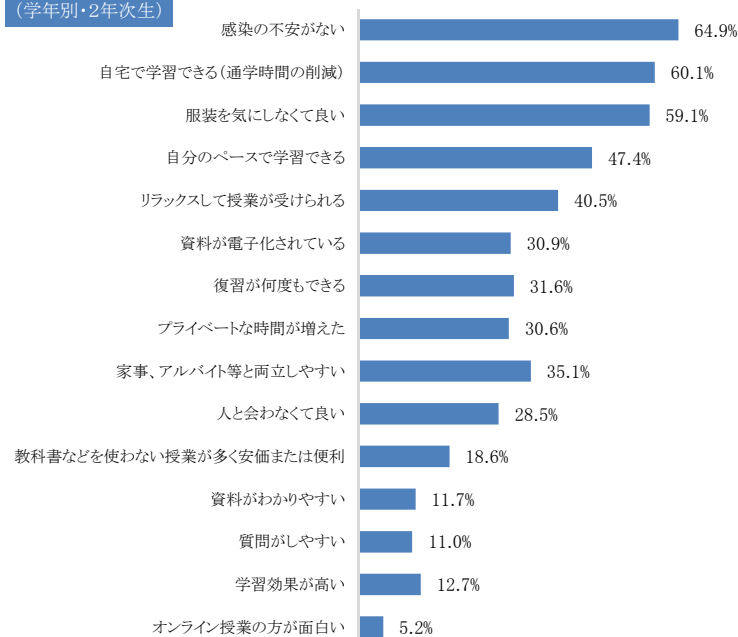


(n=389)

良かったこと	人数	割合
感染の不安がない	222名	57.1%
自宅で学習できる(通学時間の削減)	226名	58.1%
服装を気にしなくて良い	200名	51.4%
自分のペースで学習できる	175名	45.0%
リラックスして授業が受けられる	143名	36.8%
資料が電子化されている	106名	27.2%
復習が何度もできる	129名	33.2%
プライベートな時間が増えた	100名	25.7%
家事、アルバイト等と両立しやすい	93名	23.9%
人と会わなくて良い	99名	25.4%
教科書などを使わない授業が多く安価または便利	60名	15.4%
資料がわかりやすい	42名	10.8%
質問がしやすい	40名	10.3%
学習効果が高い	28名	7.2%
オンライン授業の方が面白い	13名	3.3%

6. 受講する上で、良かったことは何ですか(2年次生:複数回答可)

(学年別・2年次生)

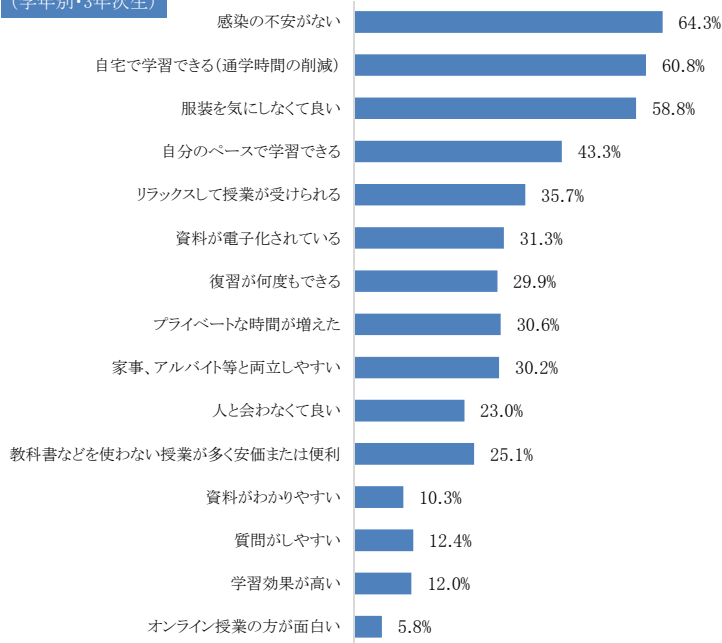


(n=291)

良かったこと	人数	割合
感染の不安がない	189名	64.9%
自宅で学習できる(通学時間の削減)	175名	60.1%
服装を気にしなくて良い	172名	59.1%
自分のペースで学習できる	138名	47.4%
リラックスして授業が受けられる	118名	40.5%
資料が電子化されている	90名	30.9%
復習が何度もできる	92名	31.6%
プライベートな時間が増えた	89名	30.6%
家事、アルバイト等と両立しやすい	102名	35.1%
人と会わなくて良い	83名	28.5%
教科書などを使わない授業が多く安価または便利	54名	18.6%
資料がわかりやすい	34名	11.7%
質問がしやすい	32名	11.0%
学習効果が高い	37名	12.7%
オンライン授業の方が面白い	15名	5.2%

6. 受講する上で、良かったことは何ですか(3年次生:複数回答可)

(学年別・3年次生)

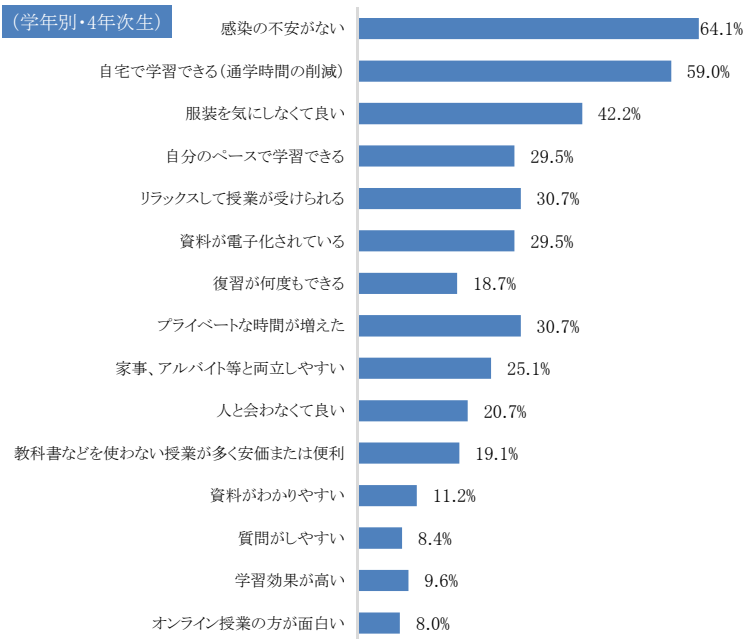


(n=291)

良かったこと	人数	割合
感染の不安がない	187名	64.3%
自宅で学習できる(通学時間の削減)	177名	60.8%
服装を気にしなくて良い	171名	58.8%
自分のペースで学習できる	126名	43.3%
リラックスして授業が受けられる	104名	35.7%
資料が電子化されている	91名	31.3%
復習が何度もできる	87名	29.9%
プライベートな時間が増えた	89名	30.6%
家事、アルバイト等と両立しやすい	88名	30.2%
人と会わなくて良い	67名	23.0%
教科書などを使わない授業が多く安価または便利	73名	25.1%
資料がわかりやすい	30名	10.3%
質問がしやすい	36名	12.4%
学習効果が高い	35名	12.0%
オンライン授業の方が面白い	17名	5.8%

6. 受講する上で、良かったことは何ですか(4年次生:複数回答可)

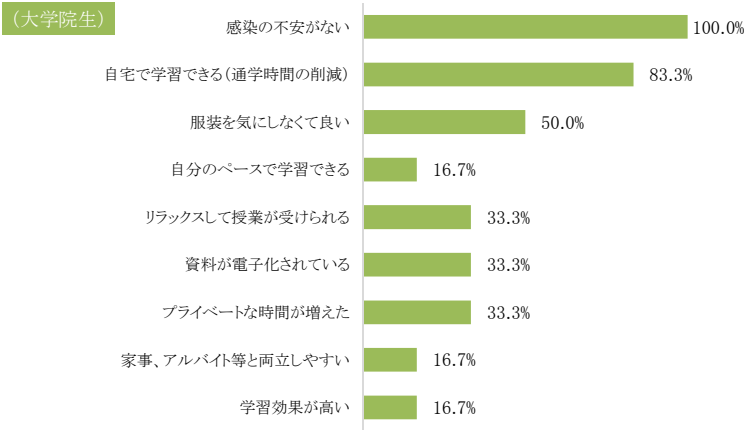
(学年別・4年次生)



(n=251)

良かったこと	人数	割合
感染の不安がない	161名	64.1%
自宅で学習できる(通学時間の削減)	148名	59.0%
服装を気にしなくて良い	106名	42.2%
自分のペースで学習できる	74名	29.5%
リラックスして授業が受けられる	77名	30.7%
資料が電子化されている	74名	29.5%
復習が何度もできる	47名	18.7%
プライベートな時間が増えた	77名	30.7%
家事、アルバイト等と両立しやすい	63名	25.1%
人と会わなくて良い	52名	20.7%
教科書などを使わない授業が多く安価または便利	48名	19.1%
資料がわかりやすい	28名	11.2%
質問がしやすい	21名	8.4%
学習効果が高い	24名	9.6%
オンライン授業の方が面白い	20名	8.0%

6. 受講する上で、良かったことは何ですか(大学院生:複数回答可)



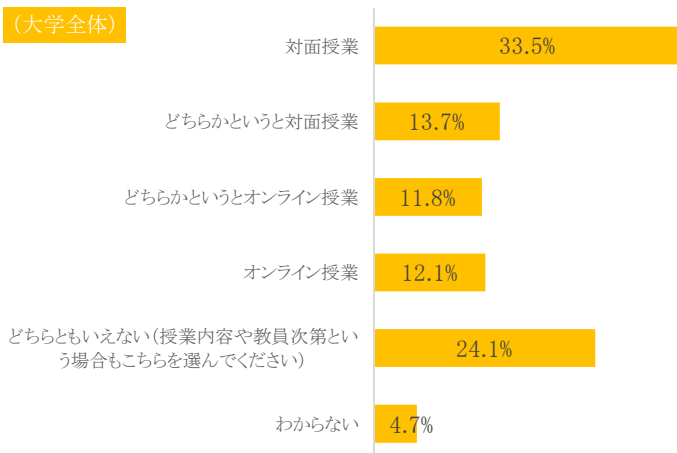
(n=6)

良かったこと	人数	割合
感染の不安がない	6名	100.0%
自宅で学習できる(通学時間の削減)	5名	83.3%
服装を気にしなくて良い	3名	50.0%
自分のペースで学習できる	1名	16.7%
リラックスして授業が受けられる	2名	33.3%
資料が電子化されている	2名	33.3%
プライベートな時間が増えた	2名	33.3%
家事、アルバイト等と両立しやすい	1名	16.7%
学習効果が高い	1名	16.7%

(自由記述)

- 資料を何回も見ることができる
- 周りの学生の声を気にしなくて良いので集中できる
- 自分の意見を述べるときに抵抗を感じない

7. オンライン授業と対面授業ではどちらが良いですか(大学全体)



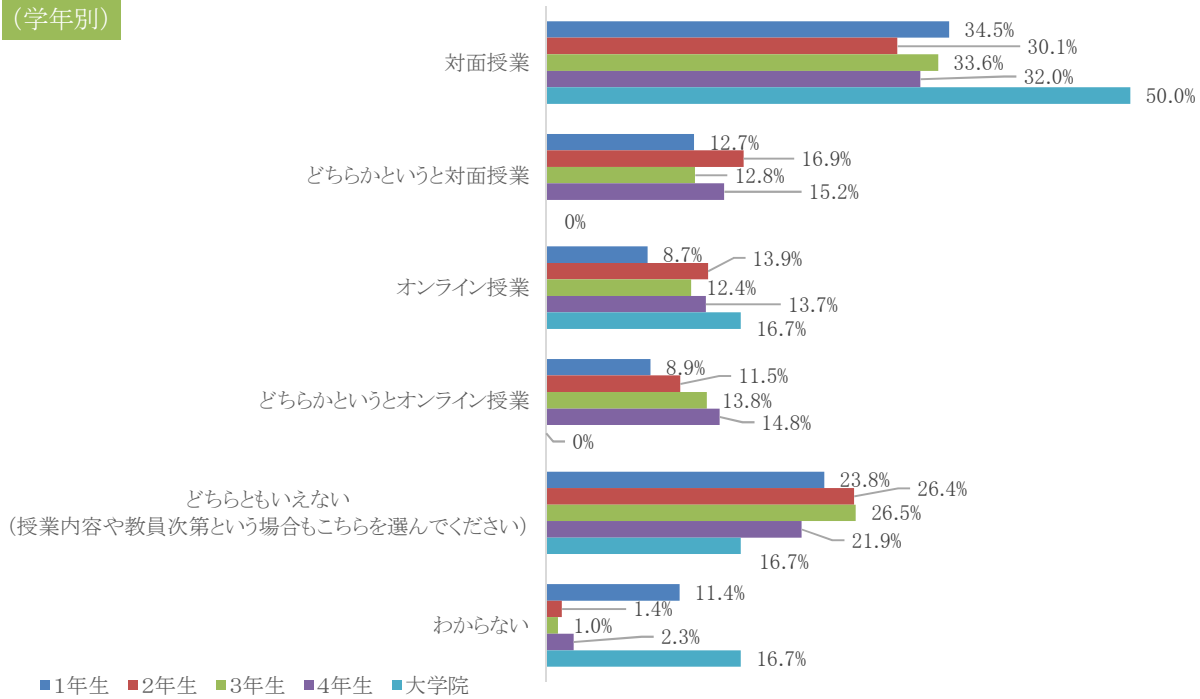
(n=1,326)

回答	人数	割合
対面授業	444名	33.5%
どちらかというに対面授業	182名	13.7%
どちらかというオンライン授業	156名	11.8%
オンライン授業	161名	12.1%
どちらともいえない(授業内容や教員次第という場合もこちらを選んでください)	320名	24.1%
わからない	62名	4.7%

対面授業が良いと答えた学生は33.5%であった。次に「授業内容や教員によっては、対面授業とオンライン授業どちらともいえない」の割合が24.1%を占めている。ゼミのような対面が望ましい授業形態がある一方、内容等によってはオンライン授業のほうが良いと回答している学生も一定数いる。

7. オンライン授業と対面授業ではどちらが良いですか(学年別)

(学年別)



対面授業	1年生	34.5%	どちらかというにオンライン授業	1年生	8.9%
	2年生	30.1%		2年生	11.5%
	3年生	33.6%		3年生	13.8%
	4年生	32.0%		4年生	14.8%
	大学院	50.0%		大学院	0%
どちらかというに対面授業	1年生	12.7%	どちらともいえない (授業内容や教員次第という場合もこちらを選んでください)	1年生	23.8%
	2年生	16.9%		2年生	26.4%
	3年生	12.8%		3年生	26.5%
	4年生	15.2%		4年生	21.9%
	大学院	0%		大学院	16.7%
オンライン授業	1年生	8.7%	わからない	1年生	11.4%
	2年生	13.9%		2年生	1.4%
	3年生	12.4%		3年生	1.0%
	4年生	13.7%		4年生	2.3%
	大学院	16.7%		大学院	16.7%

学部生については、対面授業が良いと答えた割合は3割強である。一方、大学院生については50.0%の学生が対面授業を良いと回答している。

7. 対面授業が良い理由(自由記述)

- 教員や友人とコミュニケーションが取れるから。表情をくみ取れるから
- 家では集中できない、環境が整えられない
- オンライン授業は課題が多いから
- オンライン授業は質が低下した授業が多いから
- 友人と切磋琢磨したほうが勉強へのやる気がでる
- 精神的に対面のほうが良いから(孤独感などが軽減される)
- 資料配信型の授業に魅力を感じないから

7. オンライン授業が良い理由(自由記述)

- 通学に時間がとられない、定期代がかからない
- 原則は対面が良いが、講義はオンライン授業でも十分
- 周りを気にせずに自分のペースでできる
- 集中できる
- 何度も繰り返し復習ができる

8. その他

[授業全般について](自由記述)

- ライブ配信形式の授業でも休憩時間を設けて欲しい
- ライブ配信形式の授業でも期間限定で良いので資料等をアーカイブに残して欲しい
- 資料配信・課題研究形式の授業でも、説明や解説等、フィードバックをして欲しい
- 対面授業を受けたことがないので良さがわからない
- 対面授業とオンラインを併用して欲しい
- 課題の量が多いので減らして欲しい

[授業以外について](自由記述)

- 大学の施設を使ったり、友人や教員とコミュニケーションをとることが大学だから。学問を学ぶだけが大学ではないから
- オンライン授業だけでは大学に在籍する意味がない
- 後学期もオンライン授業ならば学費(特に施設費)を軽減して欲しい、支援金を給付して欲しい
- 図書館やコンピュータ教室などの施設利用の制限を緩和して欲しい
- 教務課やキャリアセンターを利用させて欲しい
- 部活、サークル活動を認めて欲しい
- 他の学生との交流する場を設けて欲しい、一度は登校させて欲しい
- 卒業式は実施して欲しい

3-2. 前学期オンライン授業アンケート結果を受けての大学の取組み

学長 山寄 哲哉

9月10日に「後学期授業の開始に向けて(学長メッセージ)」として、学生の皆さんにお伝えしたところですが、新型コロナの感染状況は9月に後学期の授業が開始された後も、一進一退を繰り返しています。

現状を見る限り、後学期を原則オンライン授業としたことは、学生の皆さんと教職員の安全にとってやむを得ない判断であったと思っておりますが、今も自由にキャンパスに足を運んでいただけない状態に対しては、改めてお詫びを申し上げます。

さて、8月上旬に実施したオンライン授業に関するアンケート調査の結果については、9月25日に本学の3Sに掲示をしましたが、その後も、本学では今回のオンライン授業のアンケート結果を真摯に受け止め、大学として何ができるかを検討しました。大学として、すぐに対応可能なもの、対応するために資金や施設整備など時間が必要なものなどがあります。この度は、アンケート項目のうち、7つの点について、現在、武蔵大学がどのように取り組んでいるのかをまとめました。

今後も、今回のアンケート結果をもとに教職員の研修を重ね、ご指摘いただいた問題の改善に取り組んでいきますので引き続きよろしくお願い申し上げます。

1 課題の量について

2020年8月上旬に実施したオンライン授業に関するアンケート調査(以下、アンケート調査)では、授業形態ごとに課題の量が適切であったかどうかを尋ねました。その結果は、「資料配信・課題研究形式」で「とても多い」(30.4%)、「やや多い」(37.3%)で両者の合計が67.7%、「授業の動画・音声配信形式」(オンデマンド型)で「とても多い」(13.8%)、「やや多い」(26.6%)で両者の合計が40.4%、「授業のライブ配信形式」で「とても多い」(17.2%)、「やや多い」(27.8%)で両者の合計が45.0%でした。アンケート調査の自由意見からも「資料配信・課題研究形式」の課題の量の改善を求める声が多かったため、この点については次のように対応します。

- 1) 課題の量が多く感じる原因の一つとして、「何のために行うのか」「どのくらいの時間をかけて完成させるものなのか」が示されていないことが考えられるので、課題を出す時には、その目的や標準所要時間をできるだけ記載するようにします。
- 2) 課題の量とは直接関係ないかもしれませんが、フィードバックの質やタイミングも課題提出型授業の満足度に大きく影響すると考えられます。そのため、提出された課題については、どのようにフィードバックをするのかを、そのタイミングを含めて事前に伝えるようにします。

2 通信環境等で困ったこと

アンケート調査では、「ネット環境が不十分」(30.8%)、「金銭的負担」(23.8%)、「PC・ソフト等の不足・不具合」(19.2%)、「PC・ソフト等に関する知識不足」(19.0%)というご指摘をいただいた一方、最も回答割合が高かったのは「特になし」(37.3%)でした。これらの点については次のように対応します。

- 1) 2020 年度後期からは、大学の Wi-fi 環境を使えるように、一般教室やコンピュータ教室を利用して自習スペースを設けました。
- 2) PC やモバイルルーターの貸出は 2020 年度前学期から継続して実施しています。

3 提出物の受領確認について

アンケート調査結果において、「提出物が届いているかどうか不安」と回答した学生が全体の 70.8%を占めていたことを踏まえ、課題提出の確認については、次のように対応します。

- 1) Google Form
教員が受領確認の自動メール設定を行う。
- 2) Google Classroom
受領確認の自動メール設定はできないので、学生自身が画面上で提出状況を確認するように周知する。
- 3) Musashi Study Support System (3S)
受領確認の自動メール設定はできないので、学生自身が課題提出画面で提出状況を確認するように周知する。
- 4) その他の方法の場合
Onedrive にアップロードしたりメールに添付したり、その他の方法を採用する場合は、あらかじめ課題の受領確認をどのようにするかを学生に周知する。

4 授業形態の統一性について

アンケート結果において「授業ごとに授業形態が異なる」ことも 49.2%の学生から指摘を受けています。ライブ配信、録画配信、音声配信、資料配信などが混在していることに加えて、3S、Google Classroom、Zoom、そして Moodle などのさまざまなオンライン授業ツールが使われていることへの指摘ですが、この点については次のように考え、また対応するようにします。

- 1) 武蔵大学でも前学期、後学期それぞれ 1,300 近い授業が行われており、授業特性に合った方法を採用することにしています。そのため、授業ごとに授業形態やオンライン授業ツールが異なることはやむを得ないものと考えております。この点についてはご理解いただけますようお願いいたします。
- 2) 3S、Google Classroom、Zoom については、3Sのポータルサイトで「オンライン授業ツール関連資料」としてマニュアルを掲載しています。これらのマニュアルについては、より使いやすいものになるように随時改善します。
- 3) 授業特性に合った授業形態を採用することを、改めて教員全体に周知します。

5 教員とのコミュニケーションについて

アンケート結果において「教員とコミュニケーションがとれない・とりにくい」と回答した割合が 47.3%あったことについては、次のように対応します。

1) 3Sの Q&A の活用

学生、特に低学年の学生に対して、3Sの Q&A 機能の使い方を周知し、教員は3Sの Q&A を定期的を確認するようにします。

2) 専任教員のオフィスアワーの活用

専任教員にはオフィスアワーが設定されています。それぞれの教員の時間帯は3Sのポータルサイトで確認できますので、オフィスアワーを活用したコミュニケーションを積極的に活用してみてください。

3) 対面授業の部分的導入

2020 年度後学期は届出制による対面授業を実施できるようにしましたので、このことによって日常のコミュニケーション不足をある程度まで補えるようにしました。なお、対面授業の履修者の健康チェックや教室内での3密回避など、感染拡大防止策を十分とった上で実施しています。

6 図書館の資料が利用できないこと

大学の学習に欠かせない図書館の利用についても「図書館の資料が利用できない」という回答が学生全体の 46.1%を占めました。この件については次のように対応しています。

1) 2020 年 11 月 2 日(月)からは、4時間入替制になりますが、予約不要で、平日は9時～21 時、土曜日は9 時～18 時まで利用できるようにします(11 月は日曜日も9時～18 時まで開館)。なお、11 月 1 日(日)までは、予約の上、平日は9時～21 時、土曜日(日曜日は休館)9時～18 時までの利用になります。

2) 来館できない学生への対応として、貸出可能な図書を送料無料で自宅等に送るようにし、2020 年9月 28 日(月)から 2021 年3月 31 日(水)到着分までは一定の条件の下で返却にかかる送料も無料としました。

7 他の学生と一緒に学べないこと

アンケート調査では、「他の学生と一緒に学べず孤独感を感じた」との回答も全体の 44.5%とかなり高い割合でありましたが、この件については次のように対応しています。

1) 2020 年度の後学期からは、自習スペースの他に、経済学部、人文学部、そして社会学部の GS(グループ スタディ)ルームを予約制で利用できるようにしました。

2) 各学部の GS ルームの他、4 教室をグループで使えるように解放します。予約は教員を通して行いますので、必要な場合は、授業担当教員に相談してください。

3) 2020 年度の後学期からは、一部のゼミなどで対面授業を再開しています。

以上

3-3. 後学期 オンライン授業アンケート結果(学生)

I.実施概要

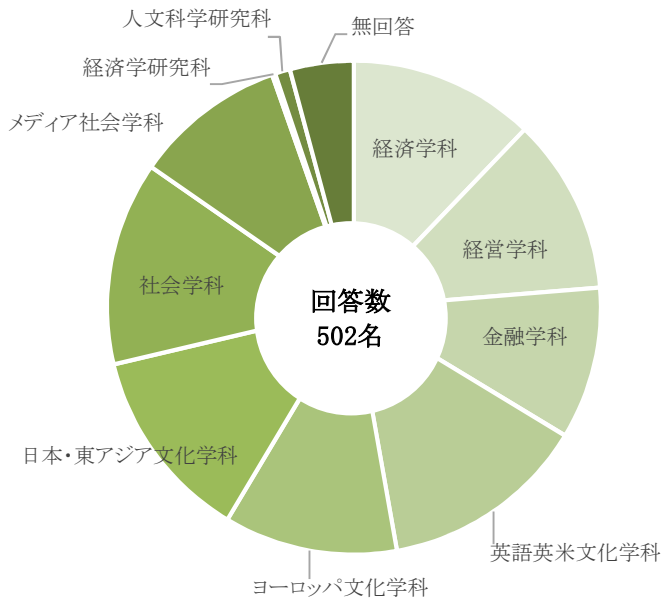
- 実施期間:2020年10月21日(水)～11月4日(水)
- 実施方法:Google Formsにて実施
- 調査対象:全学部生および大学院生
- 対象者数:4,453名(学部生4,413名、大学院生40名)
- 回収数:502名(回収率:11.3%)

II.アンケート調査項目

- 学科・学年
- どの機器で受講していますか？(複数回答可)
- どの回線を使用して受講していますか？(複数回答可)
- 課題の量は適切ですか？(オンライン授業の形式ごと、かつ授業形態ごとに回答)
- 一週間に一授業あたり平均して、課題にどのくらいの時間を費やしていますか？(オンライン授業の形式ごと、かつ授業形態ごと)
- 受講環境で困っていることは何ですか？(複数回答可)
- 通信環境等で困っていることは何ですか？(複数回答可)
- 一週間に大学の自習室をどのくらいの頻度で利用していますか？
- 一日に自習室をどのくらいの時間利用しているか教えてください。
- 受講する上で、困っていることや不安に思っていることは何ですか？(複数回答可)
- 受講する上で、良いと感じていることは何ですか？(複数回答可)
- 2020年9月10日に本学のホームページにて発表された「後学期授業の開始に向けて(学長メッセージ)」に記載されている、全ての授業を原則オンライン形式としたことに対する大学からの説明について、理解度を教えてください。
- どの授業形式が合っていると思いますか？(授業形態ごと)
- 前学期よりも授業内容が改善されたと思いますか？(オンライン授業の形式ごと、かつ授業形態ごとに回答)
- 前学期を振り返って、これまで受けてきた対面授業と比較して前学期オンライン授業の理解度について教えてください。(オンライン授業の形式ごと、かつ授業形態ごと)
- その他、何か意見があれば自由にお書きください

Ⅲ.調査結果

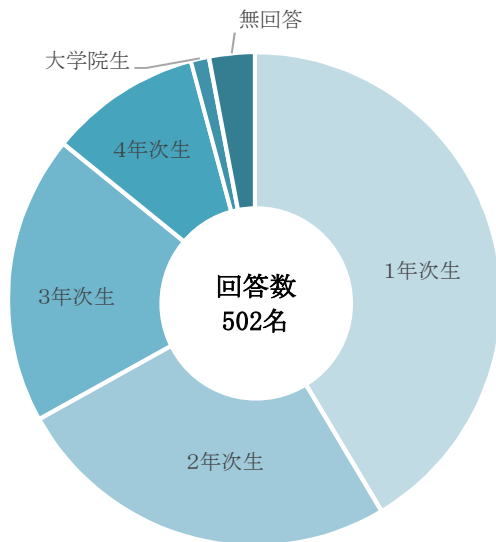
アンケート回答者の所属



経済学科	61名	12.2%
経営学科	58名	11.6%
金融学科	50名	10.0%
英語英米文化学科	68名	13.5%
ヨーロッパ文化学科	57名	11.4%
日本・東アジア文化学科	64名	12.7%
社会学科	67名	13.3%
メディア社会学科	50名	10.0%
経済学研究科	1名	0.2%
人文科学研究科	5名	1.0%
無回答	21名	4.2%
総計	502名	

回答者の94.7%が学部生である。

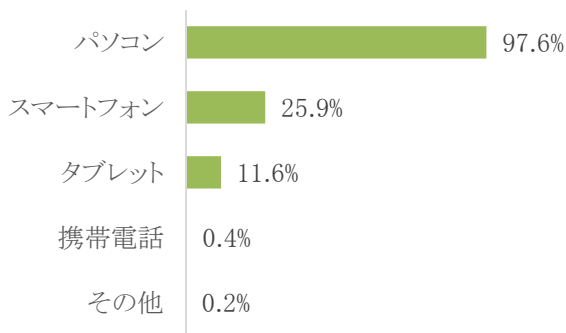
アンケート回答者の学年



1年次生	208名	41.4%
2年次生	128名	25.5%
3年次生	95名	18.9%
4年次生	50名	10.0%
大学院生	6名	1.2%
無回答	15名	3.0%
総計	502名	

学部生については、1年次生が41.4%と最も高く、学年が上がるにつれて回答率が下がっている。

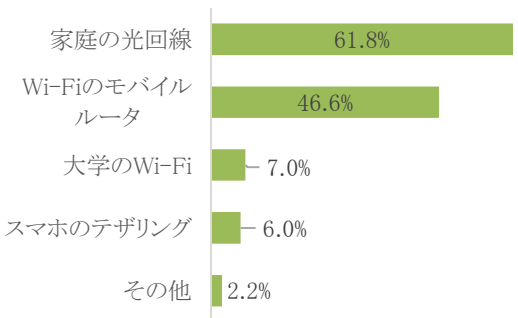
1. どの機器で受講していますか？(複数回答)



パソコン	490 名	97.6%
スマートフォン	130 名	25.9%
タブレット	58 名	11.6%
携帯電話	2 名	0.4%
その他	1 名	0.2%
総計	502 名	

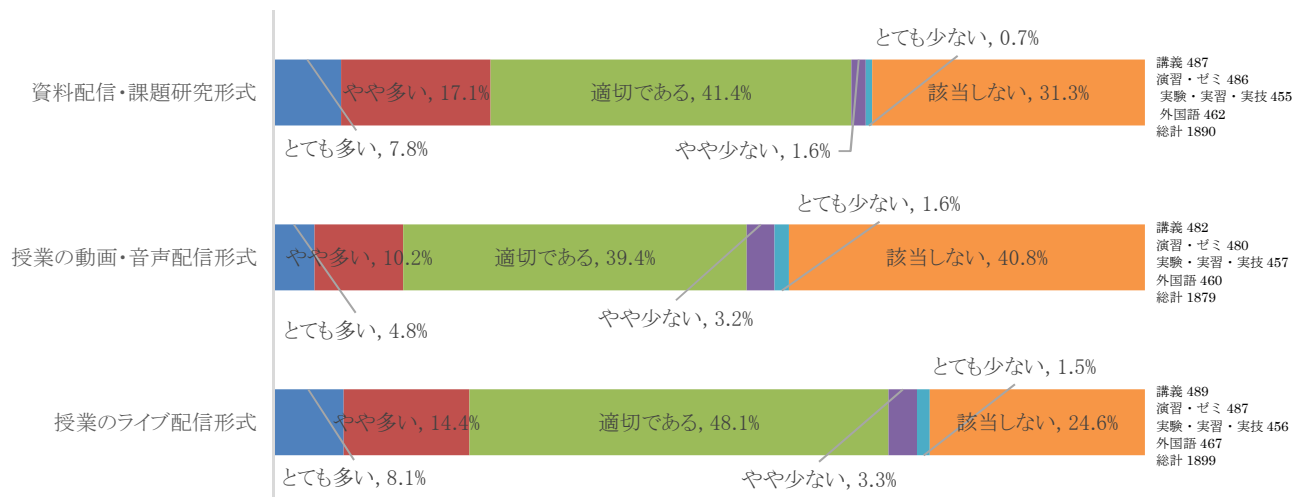
ほぼ全員がパソコンから受講している。

2. どの回線を使用して受講していますか？(複数回答)

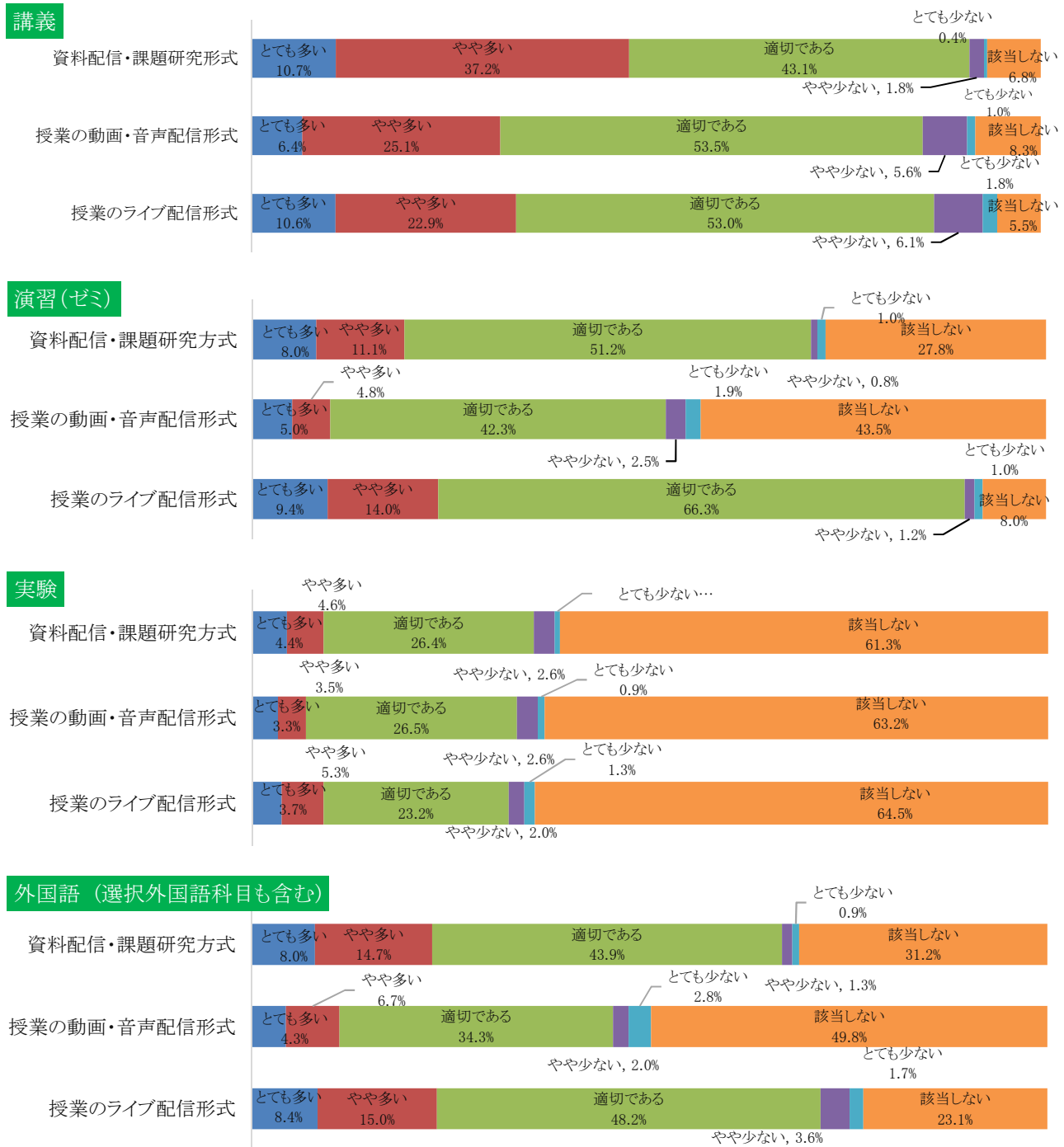


家庭の光回線	310 名	61.8%
Wi-Fiのモバイルルータ	234 名	46.6%
大学のWi-Fi	35 名	7.0%
スマホのテザリング	30 名	6.0%
その他	11 名	2.2%
総計	502 名	

3. 課題の量は適切ですか？(オンライン授業の形式ごとの比較)

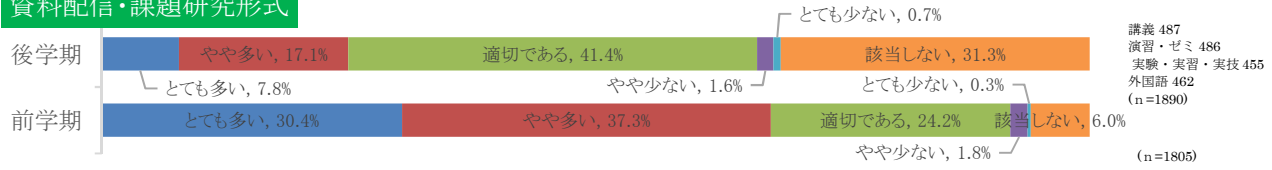


3. 課題の量は適切ですか？(授業形態ごと、かつオンライン授業の形式ごとの比較)

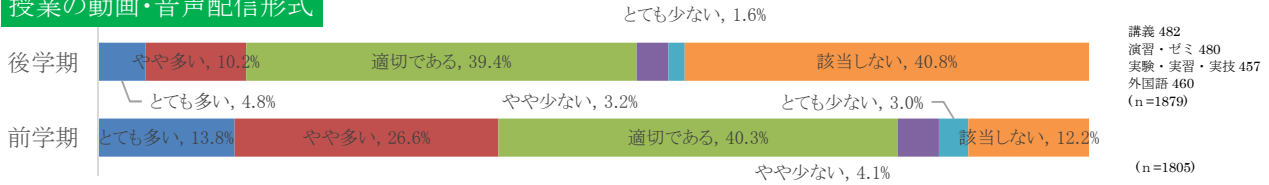


3. 課題の量は適切ですか？(学期ごとの比較)

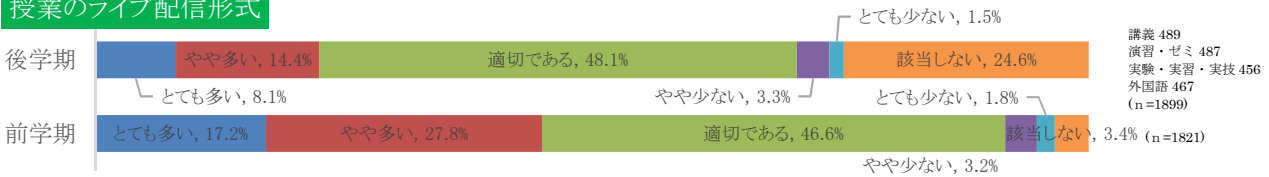
資料配信・課題研究形式



授業の動画・音声配信形式



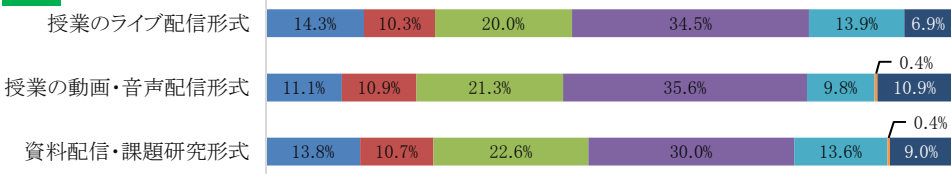
授業のライブ配信形式



全体として改善がみられるが、特に資料配信・課題研究形式の改善が顕著である

4. 一週間に一授業あたり平均して、課題にどのくらいの時間を費やしていますか？ (授業形態ごと、かつオンライン授業の形式ごとの比較)

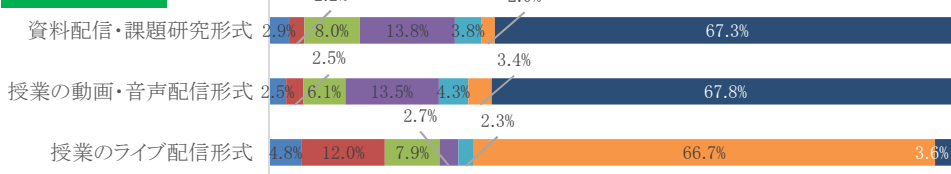
講義



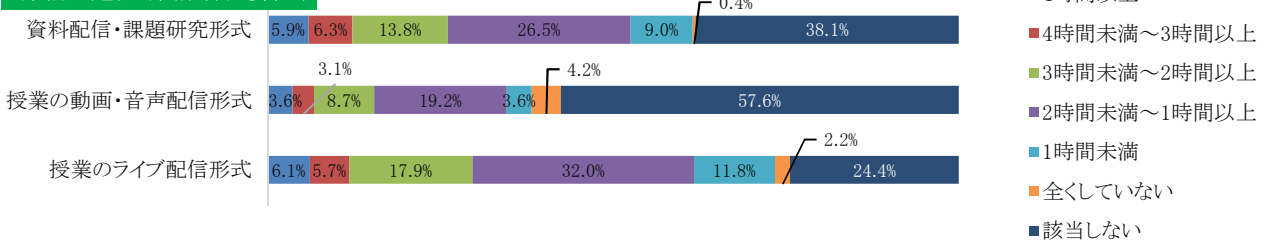
演習(ゼミ)



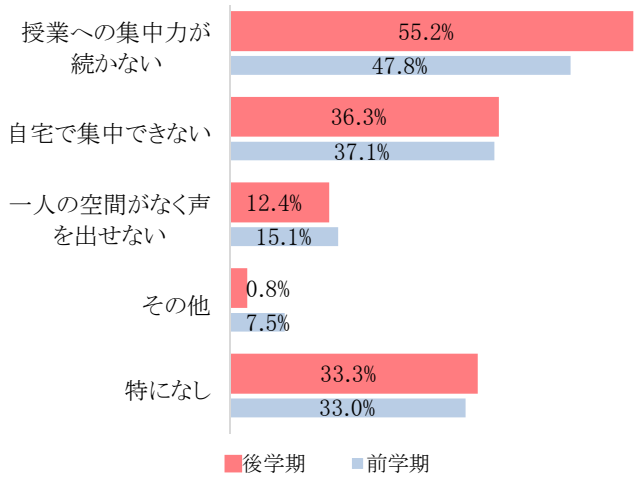
実験・実習・実技



外国語(選択外国語科目も含む)



5. 受講環境で困っていることは何ですか？(学期ごとの比較)



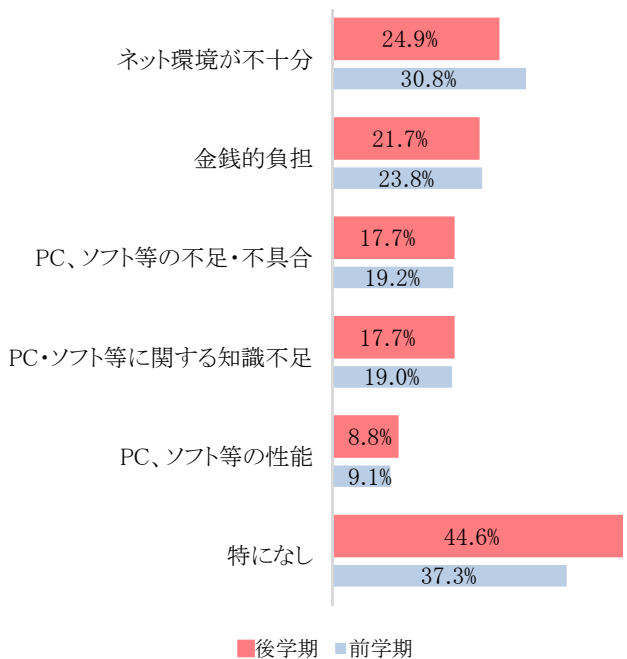
	前学期		後学期	
	人数	割合	人数	割合
授業への集中力が続かない	634名	47.8%	277名	55.2%
自宅で集中できない	492名	37.1%	182名	36.3%
一人の空間がなく声を出せない	200名	15.1%	62名	12.4%
その他	100名	7.5%	4名	0.8%
特になし	438名	33.0%	167名	33.3%
	n=1,326		n=502	

上記以外にあればお書きください(自由記述)

- 心身、生活リズムの不調(目が疲れる、視力低下、腰が痛い等)
- 近くに相談できたり、話せる人がいない
- 課題配信が3S、Google classroom、メールなど先生や授業によってプラットフォームが統一していなくて煩雑である
- 教員や履修生と連絡が取りづらい
- 他の履修生の様子が分からない

前学期と同様の回答がほとんどである

6. 通信環境等で困っていることは何ですか？(学期ごとの比較)

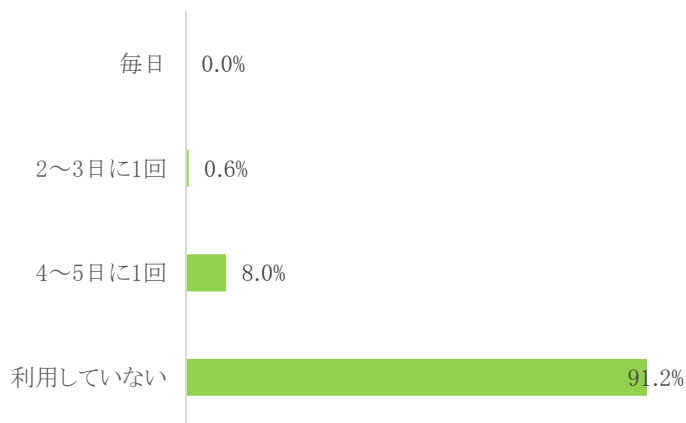


前学期		
ネット環境が不十分	408名	30.8%
金銭的負担	315名	23.8%
PC、ソフト等の不足・不具合	254名	19.2%
PC・ソフト等に関する知識不足	252名	19.0%
PC、ソフト等の性能	121名	9.1%
特になし	494名	37.3%
	n=1,326	
後学期		
ネット環境が不十分	125名	24.9%
金銭的負担	109名	21.7%
PC、ソフト等の不足・不具合	89名	17.7%
PC・ソフト等に関する知識不足	89名	17.7%
PC、ソフト等の性能	44名	8.8%
特になし	224名	44.6%
	n=502	

上記以外にあればお書きください(自由記述)

- 通信量がかかる(大学から借用しているモバイルルーターでは足りない)
- Wi-fi が不安定で途中で途切れてしまう、Zoom が途中で途切れてしまう
- 課題のファイルが増えていくため、PC、ソフトのデータ容量が不足する
- 通信費用がとてもかかる

7. 一週間に大学の自習室をどのくらいの頻度で利用していますか？

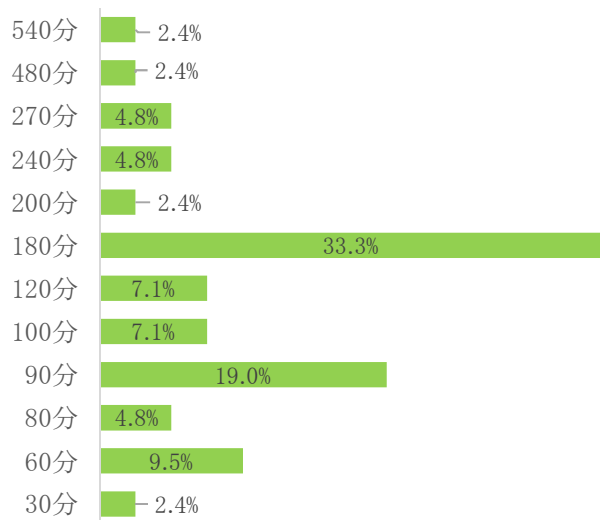


毎日	0	0.0%
2~3日に1回	3	0.6%
4~5日に1回	40	8.0%
利用していない	458	91.2%

n=502

8. 一日に自習室をどのくらいの時間利用しているか教えてください。

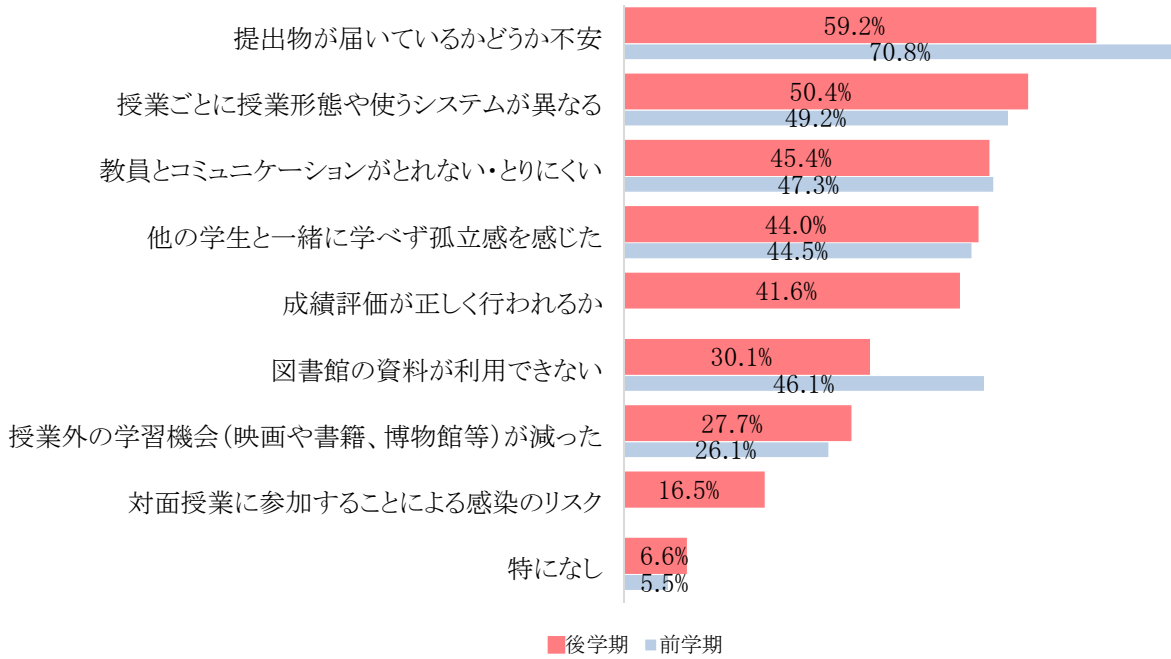
(設問7で利用していると回答した方のみ)



540分	1名	2.4%
480分	1名	2.4%
270分	2名	4.8%
240分	2名	4.8%
200分	1名	2.4%
180分	14名	33.3%
120分	3名	7.1%
100分	3名	7.1%
90分	8名	19.0%
80分	2名	4.8%
60分	4名	9.5%
30分	1名	2.4%

n=42

9. 受講する上で、困っていることや不安に思っていることは何ですか？(学期ごとの比較)



前学期

提出物が届いているかどうか不安	939 名	70.8%
授業ごとに授業形態が異なる	652 名	49.2%
教員とコミュニケーションがとれない・とりにくい	627 名	47.3%
他の学生と一緒に学べず孤立感を感じた	590 名	44.5%
<調査なし>	—	—
図書館の資料が利用できない	611 名	46.1%
授業外の学習機会(映画や書籍、博物館等)が減った	346 名	26.1%
<調査なし>	—	—
特になし	73 名	5.5%

(n=1,326)

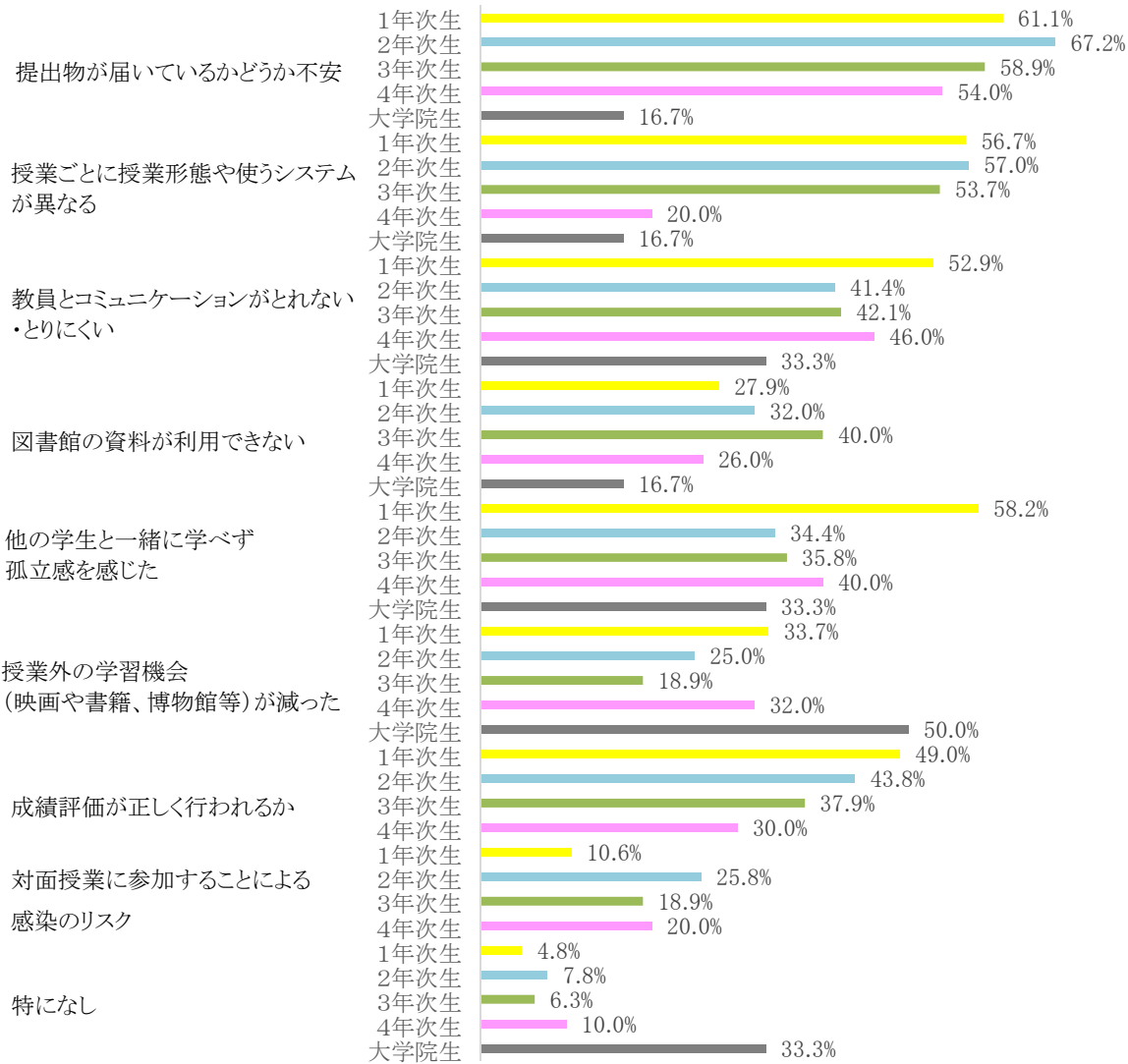
後学期

提出物が届いているかどうか不安	297 名	59.2%
授業ごとに授業形態や使うシステムが異なる	253 名	50.4%
教員とコミュニケーションがとれない・とりにくい	228 名	45.4%
他の学生と一緒に学べず孤立感を感じた	221 名	44.0%
成績評価が正しく行われるか*	209 名	41.6%
図書館の資料が利用できない	151 名	30.1%
授業外の学習機会(映画や書籍、博物館等)が減った	139 名	27.7%
対面授業に参加することによる感染のリスク*	83 名	16.5%
特になし	33 名	6.6%

*後学期のみの調査項目

(n=502)

9. 受講する上で、困っていることや不安に思っていることは何ですか？（複数回答可）



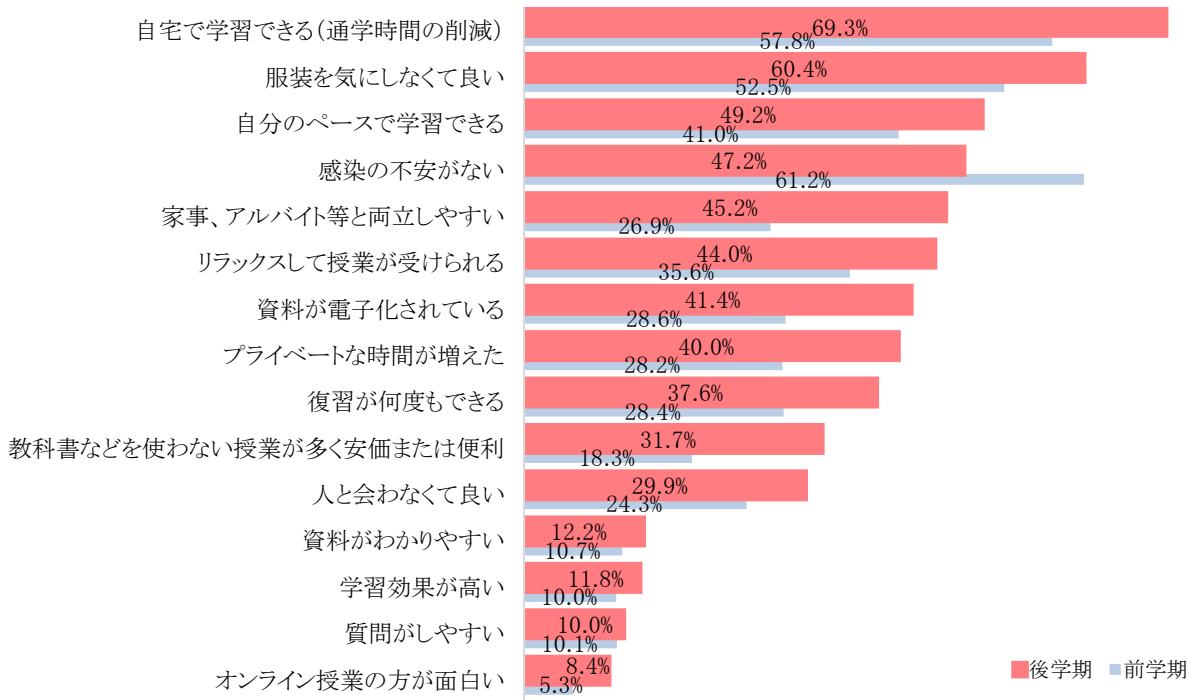
(1年次生208名・2年次生128名・3年次生95名・4年次生50名・大学院生6名)

上記以外にあればお書きください(自由記述)

- 課題の量が多い、課題についての説明・解説が十分ではない
- 課題や質問に対するコメントがない
- レジュメなどの授業資料の量が膨大で、用紙代やインク代の費用がとても負担になる
- 成績評価がどのようにされるのか(通信環境の影響で遅刻しても減点されるのか等)
- 授業の直前に資料がアップされる

前学期と同様の回答がほとんどである

10. 受講する上で、良いと感じていることは何ですか？（学期ごとの比較）



	(前学期)		(後学期)	
	人数	割合	人数	割合
自宅で学習できる(通学時間の削減)	766名	57.8%	348名	69.3%
服装を気にしなくて良い	696名	52.5%	303名	60.4%
自分のペースで学習できる	543名	41.0%	247名	49.2%
感染の不安がない	812名	61.2%	237名	47.2%
家事、アルバイト等と両立しやすい	357名	26.9%	227名	45.2%
リラックスして授業が受けられる	472名	35.6%	221名	44.0%
資料が電子化されている	379名	28.6%	208名	41.4%
プライベートな時間が増えた	374名	28.2%	201名	40.0%
復習が何度もできる	376名	28.4%	189名	37.6%
教科書などを使わない授業が多く安価または便利	243名	18.3%	159名	31.7%
人と会わなくて良い	322名	24.3%	150名	29.9%
資料がわかりやすい	142名	10.7%	61名	12.2%
学習効果が高い	133名	10.0%	59名	11.8%
質問がしやすい	134名	10.1%	50名	10.0%
オンライン授業の方が面白い	70名	5.3%	42名	8.4%

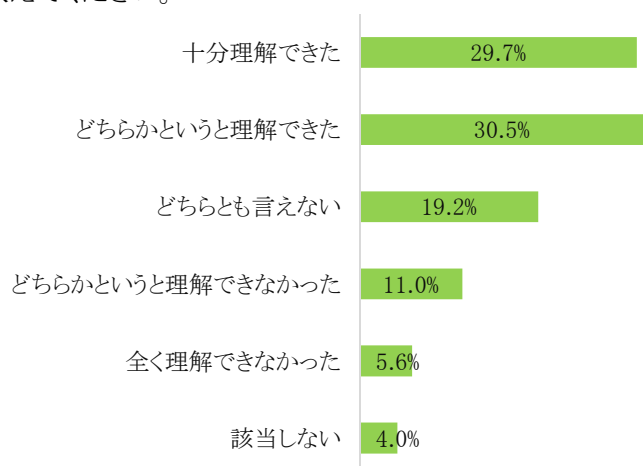
(n=1,326)

(n=502)

上記以外にあればお書きください(自由記述)

- 資料を何回も見ることができる
- 周りの学生を気にしなくて良いので集中できる
- 質問が簡単にできない分、自分で調べるようになり能動的な学習姿勢になった
- 睡眠時間が確保できる
- 私語を気にせず済んだ

11. 2020年9月10日に本学のホームページにて発表された「後学期授業の開始に向けて(学長メッセージ)」に記載されている、全ての授業を原則オンライン形式としたことに対する大学からの説明について、理解度を教えてください。

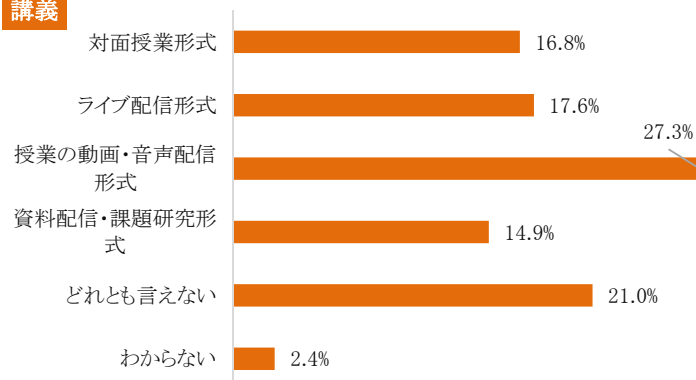


十分理解できた	149名	29.7%
どちらかという理解できた	153名	30.5%
どちらとも言えない	96名	19.2%
どちらかという理解できなかった	55名	11.0%
全く理解できなかった	28名	5.6%
該当しない	20名	4.0%

(n=501)

12. どの授業形式が合っていると思いますか？(授業形態ごとに比較)

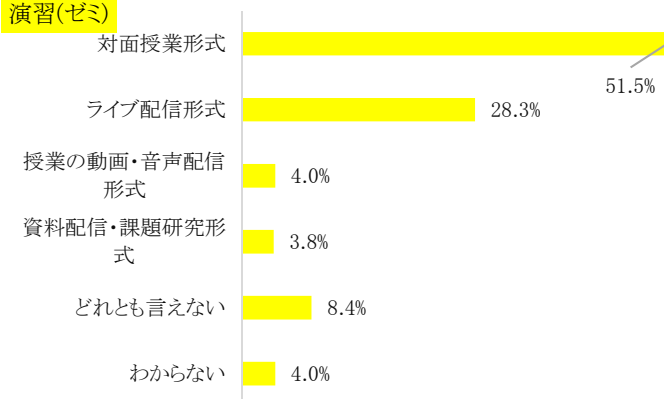
講義



対面授業形式	83名	16.8%
ライブ配信形式	87名	17.6%
授業の動画・音声配信形式	135名	27.3%
資料配信・課題研究形式	74名	14.9%
どれとも言えない	104名	21.0%
わからない	12名	2.4%

(n=495)

演習(ゼミ)

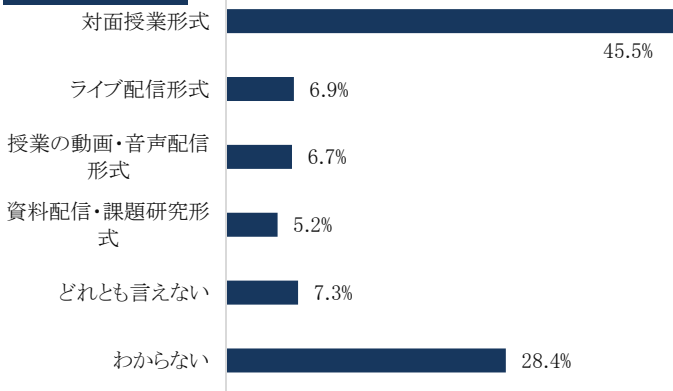


対面授業形式	257名	51.5%
ライブ配信形式	141名	28.3%
授業の動画・音声配信形式	20名	4.0%
資料配信・課題研究形式	19名	3.8%
どれとも言えない	42名	8.4%
わからない	20名	4.0%

(n=499)

対面授業形式	218名	45.5%
--------	------	-------

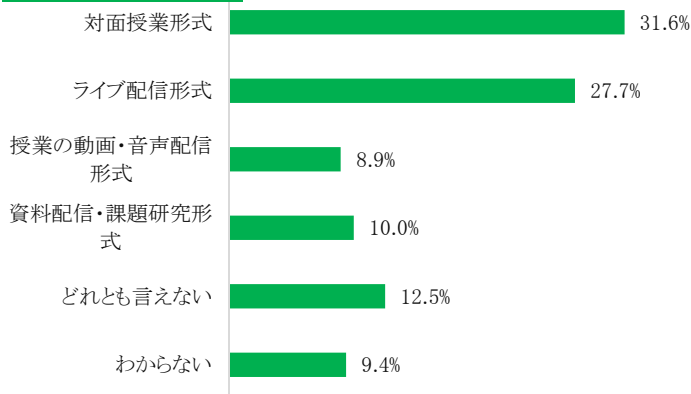
実験・実習・実技



ライブ配信形式	33名	6.9%
授業の動画・音声配信形式	32名	6.7%
資料配信・課題研究形式	25名	5.2%
どれも言えない	35名	7.3%
わからない	136名	28.4%

(n=479)

外国語 (選択外国語科目も含む)



対面授業形式	152名	31.6%
ライブ配信形式	133名	27.7%
授業の動画・音声配信形式	43名	8.9%
資料配信・課題研究形式	48名	10.0%
どれも言えない	60名	12.5%
わからない	45名	9.4%

(n=481)

13. 自由記述

(注) 共:全科目共通、講:講義、実:実技・実験・実習、演:演習・ゼミ、外:外国語

対面授業が良い理由

- ・ 教員に質問しやすい環境が整っているから(共)
- ・ 他の履修生との理解度に差があることを気づきやすいから(共)
- ・ 対面の方が活発な議論できるから(演)
- ・ 実際に体験することで知識や技能が身につくから(実)
- ・ 対面の方が集中できるし、学習する上で孤立感を感じないから(共)

ライブ配信が良い理由

- ・ 感染リスクが少ないから(共)
- ・ 対面と比べても学習効果に差を感じないから(講)
- ・ チャット機能を使えばリアルタイムで質問ができるから(演・講)
- ・ 対面と同じ雰囲気味わえるから(演)
- ・ ライブ配信の方が集中できるし、コミュニケーションがとりやすいから(共)

授業の動画・音声配信が良い理由

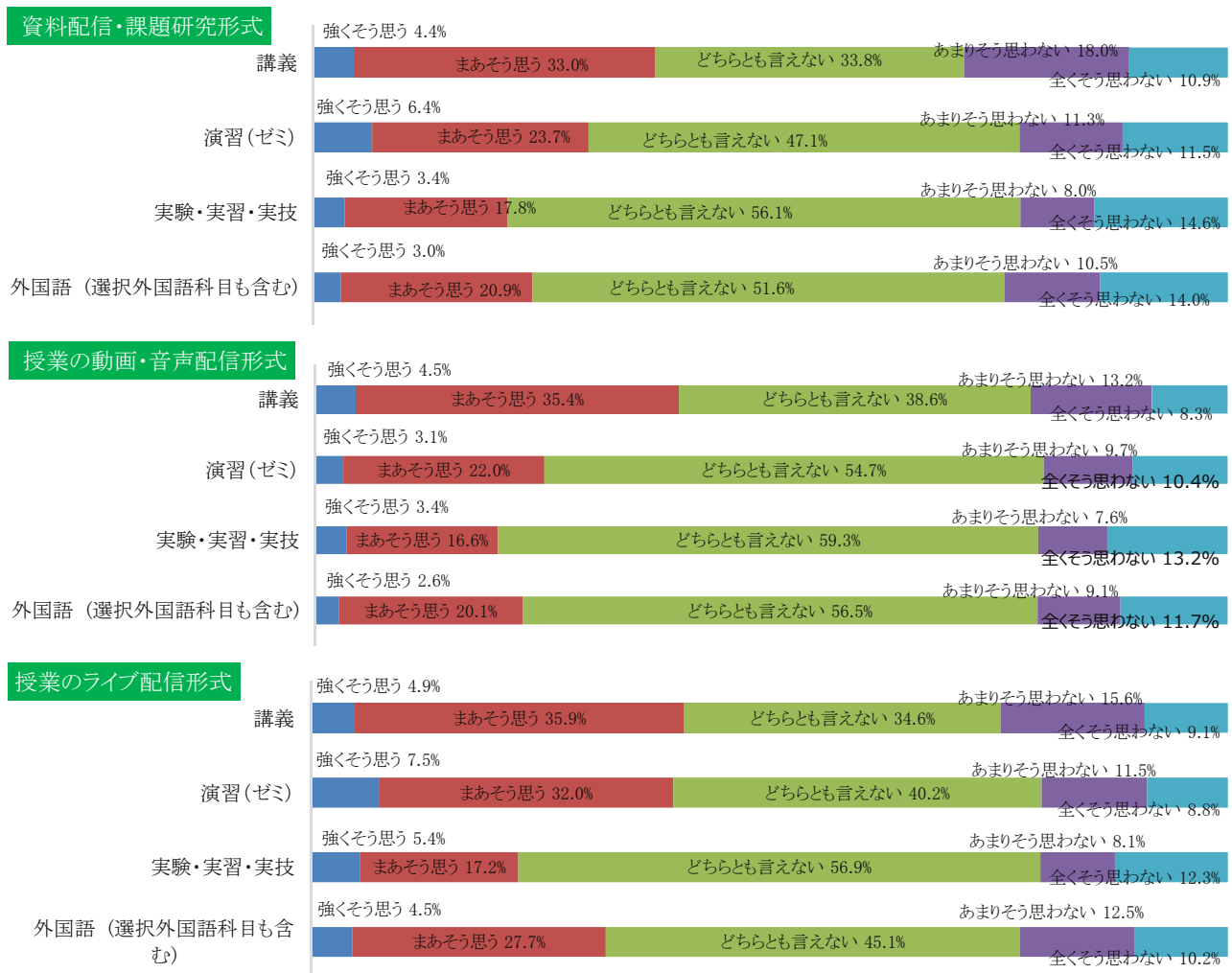
- ・ 繰り返し授業を見ることができ、知識が深められるから(共)
- ・ 自分の好きなペースで受講できるから(共)
- ・ 感染リスクを配慮した上で、一番分かりやすい授業形態だから(共)

- 講義は対面形式である必要を感じなくなった(講)
- 動画配信を受講していて、対面である必要性を感じなかったから(実)

資料配信・課題研究が良い理由

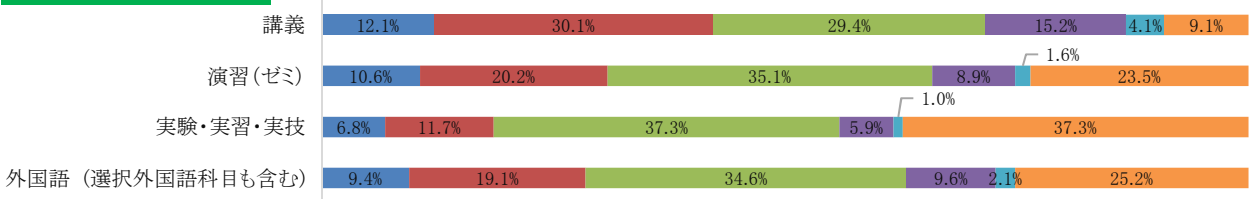
- 自分の好きなペースで課題を進められるから(共)
- 授業を90分受けなくていいことで自分の時間が作れるから(共)
- 質の高い資料であれば講義を受けなくても理解できるから(講)
- 通学時間がなくなるのと、データ通信量が他の授業形式と比べてかからないから(講)
- ZOOMによる授業であっても、質問を受け付けない科目があるから(講)

14. 前学期よりも授業内容が改善されたと思いますか？
(オンライン授業の形式ごと、かつ授業形態ごとに回答)

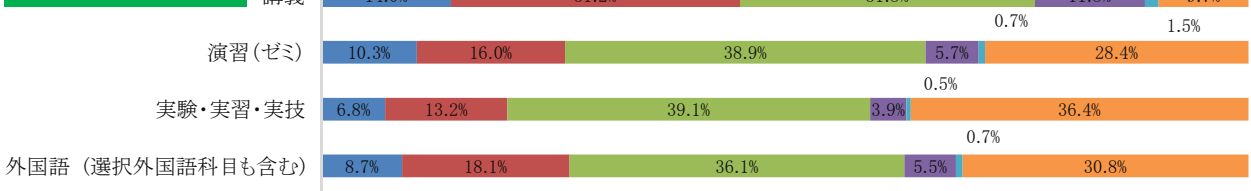


15. 前学期を振り返って、これまで受けてきた対面授業と比較して前学期
 オンライン授業の理解度について教えてください。
 (オンライン授業の形式ごと、かつ授業形態ごとに回答)

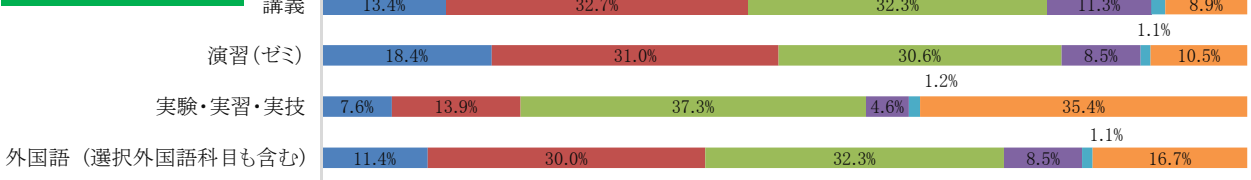
資料配信・課題研究形式



授業のライブ配信形式



授業のライブ配信形式



- 十分理解できた
- どちらかという理解できた
- どちらかという理解できなかった
- 全く理解できなかった
- わからない

16. 自由記述

[授業全般について]

- 少人数授業は対面授業を実施して欲しい
- 中途半端に対面授業を再開しないで欲しい
- 対面授業を受けたことがないので良さがわからない
- 対面授業とオンラインを併用して欲しい
- コメントシートなどの締め切りを、対面授業と同じように授業内締め切りにするか、授業当日中締め切りにするかにして欲しい

[授業以外について]

- 学費(特に施設費)を軽減して、支援金を給付して欲しい
- オンライン授業だけでは大学に在籍する意味がない
- 施設費の用途について、説明して欲しい
- 施設をもっと自由に利用させて欲しい
- 教員へコミュニケーションを取るツールをもっと増やして欲しい
- グループワーク出来る教室を貸し出して欲しい

3-4. オンライン授業アンケート結果(教員)

I.実施概要

- 実施期間:2020年10月21日(水)～11月4日(水)
- 実施方法:Google Formsにて実施
- 調査対象:全教員
- 対象者数:495名(専任教員:114名、非常勤講師:381名)
- 回収数:115名(回収率:23.2%)

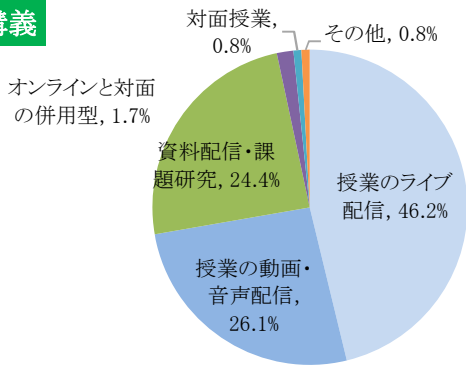
II.アンケート調査項目

- どのような形態で授業を行っていますか?(複数回答可)
- どの回線を使用して授業を実施しましたか?(複数回答可)
- 一週間に一授業あたり平均して、学生がどのくらいの時間を費やすことを想定して課題を課していますか?
- オンライン授業を行う上で、困っていることは何ですか?(複数回答可)
- オンライン授業を行う上で、良いと感じていることは何ですか?(複数回答可)
- 対面授業と比較して学生の授業理解度についてどう思いますか?
- 教育の質を確保するために工夫していることは何ですか?(複数回答可)
- 講義科目の授業において、どのような方法で成績評価をする予定ですか?(複数回答可)
- どの授業形式が適していると思いますか?(授業形態ごとに回答)

Ⅲ.調査結果

1. どのような形態で授業を行っていますか？(複数回答)

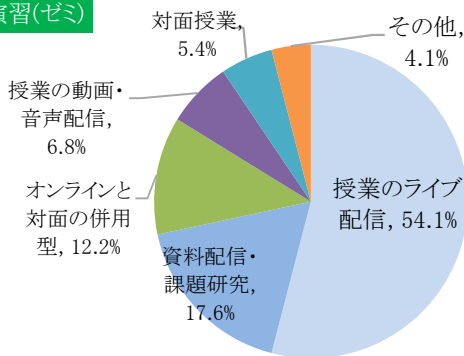
講義



授業のライブ配信	55名	46.2%
授業の動画・音声配信	31名	26.1%
資料配信・課題研究	29名	24.4%
オンラインと対面の併用型	2名	1.7%
対面授業	1名	0.8%
その他	1名	0.8%

(n=115)

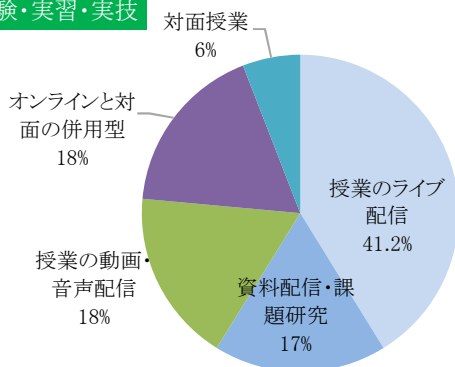
演習(ゼミ)



授業のライブ配信	40名	54.1%
資料配信・課題研究	13名	17.6%
オンラインと対面の併用型	9名	12.2%
授業の動画・音声配信	5名	6.8%
対面授業	4名	5.4%
その他	3名	4.1%

(n=115)

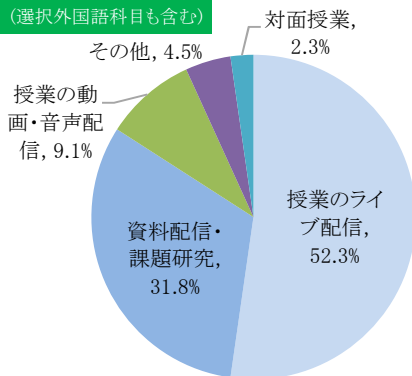
実験・実習・実技



資料配信・課題研究	3名	17.6%
授業の動画・音声配信	3名	17.6%
授業のライブ配信	7名	41.2%
対面授業	1名	5.9%
オンラインと対面の併用型	3名	17.6%
その他	0名	0.0%

(n=17)

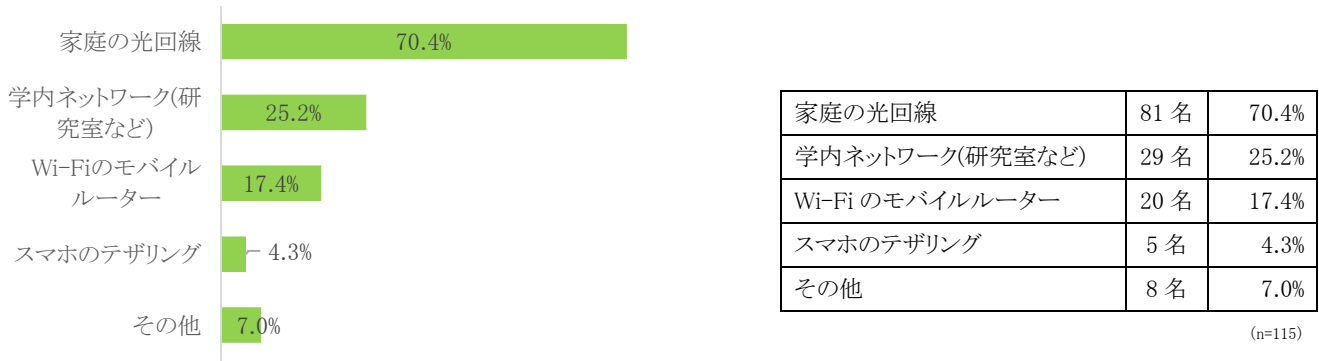
外国語 (選択外国語科目も含む)



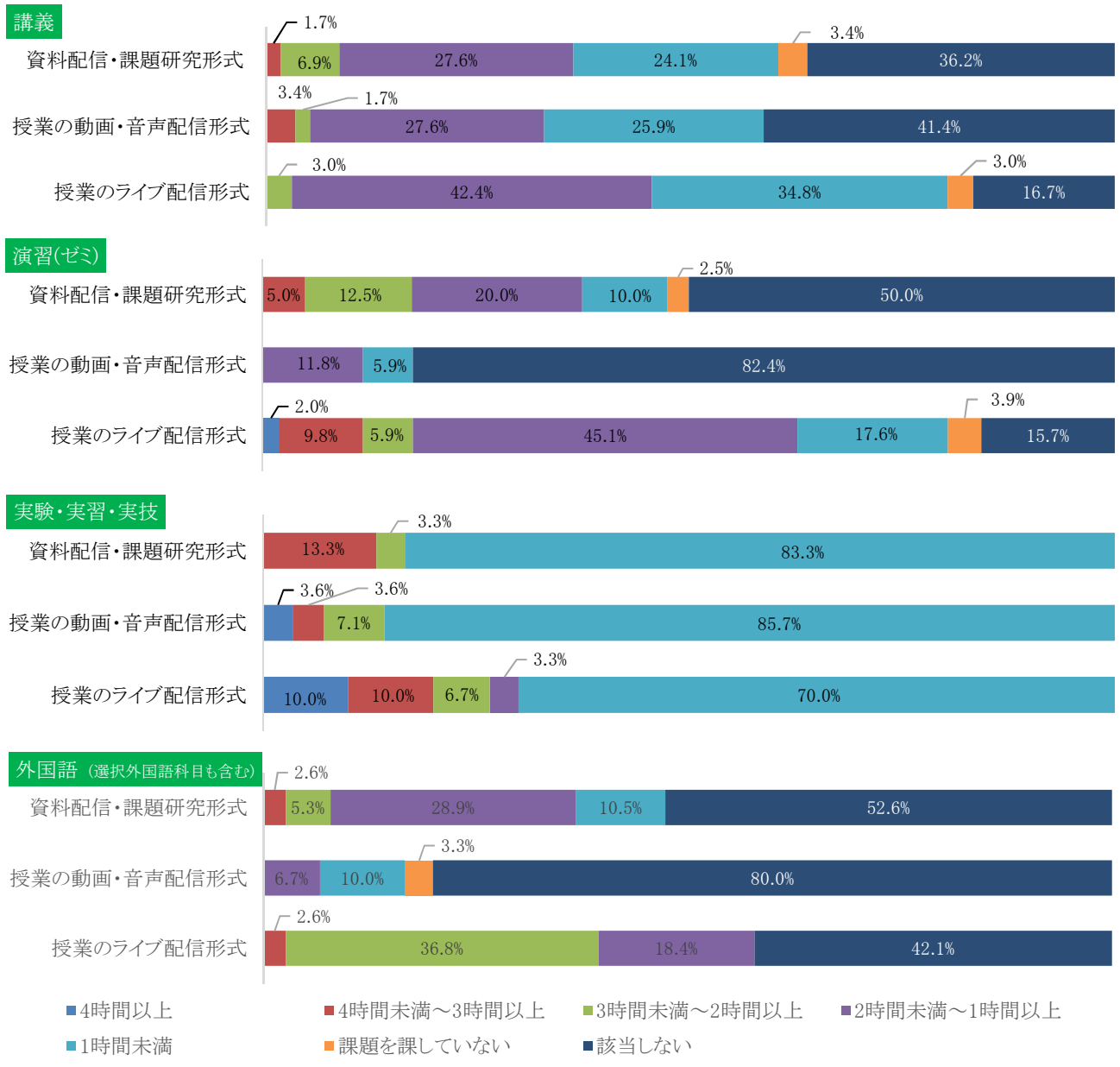
資料配信・課題研究	14名	31.8%
授業の動画・音声配信	4名	9.1%
授業のライブ配信	23名	52.3%
対面授業	1名	2.3%
オンラインと対面の併用型	0名	0%
その他	2名	4.5%

(n=44)

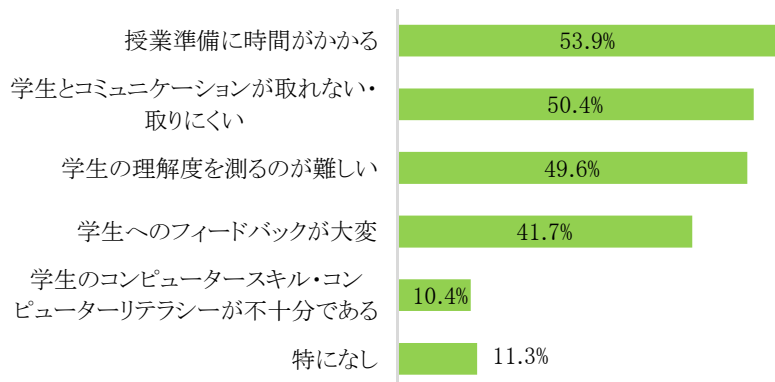
2. どの回線を使用して授業を実施しましたか？（複数回答）



3. 一週間に一授業あたり平均して、学生がどのくらいの時間を費やすことを想定して課題を課していますか？（オンライン授業の形式ごと、かつ授業形態ごとに回答）



4. オンライン授業を行う上で、困っていることは何ですか？（複数回答）



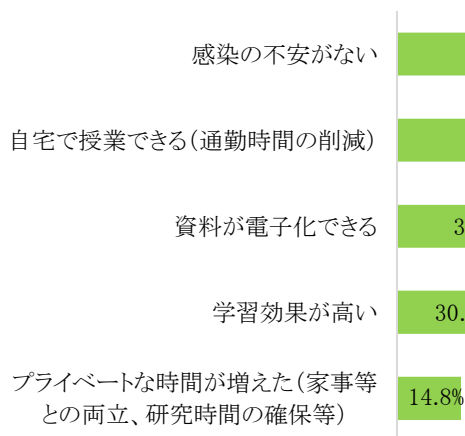
授業準備に時間がかかる	62名	53.9%
学生とコミュニケーションが取れない・取りにくい	58名	50.4%
学生の理解度を測るのが難しい	57名	49.6%
学生へのフィードバックが大変	48名	41.7%
学生のコンピュータースキル・コンピューターリテラシーが不十分である	12名	10.4%
特になし	13名	11.3%

(n=115)

上記以外にあればお書きください(自由記述)

- 学生の表情が分からず、理解度が測りづらい
- 内容の補足を行う際に、板書ができず不便
- 自分のICTスキルが不足している
- 大学のWi-Fiが不安定でZOOMの授業中に回線が切れる
- グループワークを行う際に、グループ毎にちゃんとやっているか管理するのが難しい

5. オンライン授業を行う上で、良いと感じていることは何ですか？（複数回答）



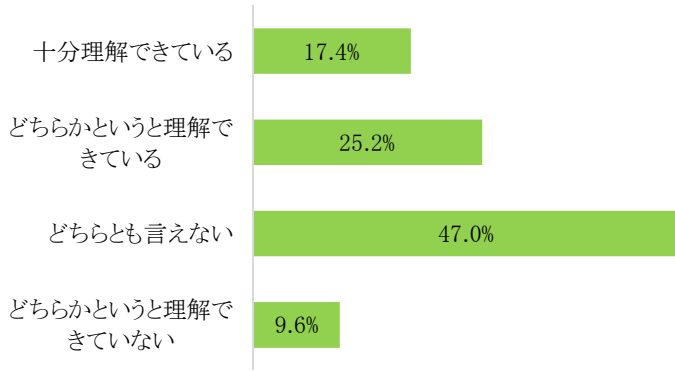
感染の不安がない	86名	74.8%
自宅で授業できる(通勤時間の削減)	72名	62.6%
資料が電子化できる	45名	39.1%
学習効果が高い	35名	30.4%
プライベートな時間が増えた(家事等との両立、研究時間の確保等)	17名	14.8%

(n=115)

上記以外にあればお書きください(自由記述)

- 資料を配付・印刷する手間が省ける
- 学生から活発なフィードバックがある
- オンデマンド配信を行うことで、欠席者等への配慮も出来る
- 質問が対面より多く、インタラクティブな授業が出来る
- 学生へのフィードバックを多く行うようになり、学生一人ひとりへの気配りが出来る

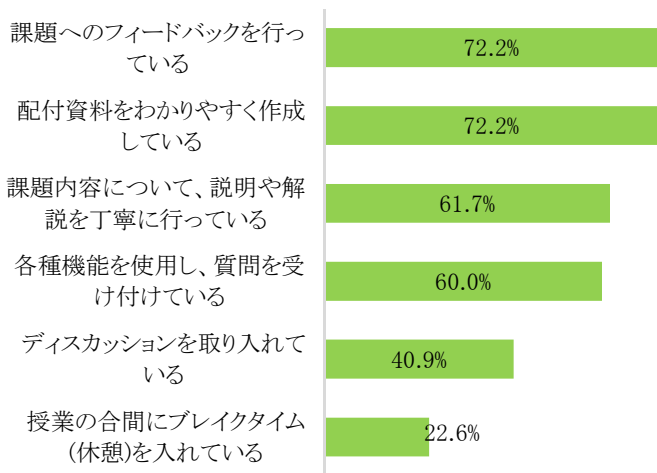
6. 対面授業と比較して学生の授業理解度についてどう思いますか？



十分理解できている	20名	17.4%
どちらかという理解できている	29名	25.2%
どちらとも言えない	54名	47.0%
どちらかという理解できていない	11名	9.6%

(n=115)

7. 教育の質を確保するために工夫していることは何ですか？(複数回答可)



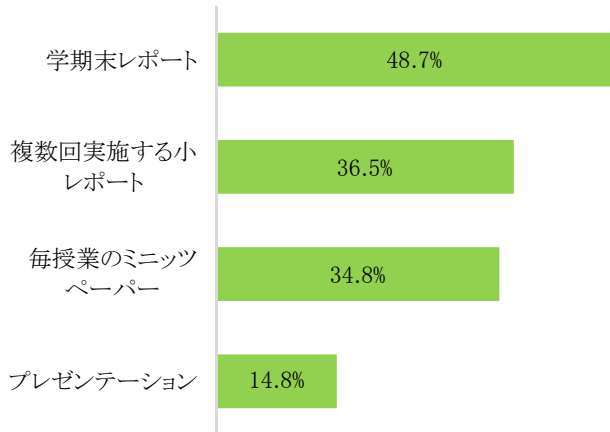
課題へのフィードバックを行っている	83名	72.2%
配信資料をわかりやすく作成している	83名	72.2%
課題内容について、説明や解説を丁寧に行っている	71名	61.7%
各種機能を使用し、質問を受け付けている	69名	60.0%
ディスカッションを取り入れている	47名	40.9%
授業の合間にブレイクタイム(休憩)を入れている	26名	22.6%

(n=115)

上記以外にあればお書きください(自由記述)

- 意見交換を行うための質問をリアクションペーパーにて奨励している
- 資料や講義動画のアップロードをスピーディーに行っている
- リアルタイム配信の授業では、履修生に必ず発言の機会を与え、緊張感を保つようにしている
- 学生からの質問・相談を次の授業で皆にシェアしている
- 少しでも対面の雰囲気近づけさせるため、オンデマンドの動画の隅に自分を映している。

8. 講義科目の授業において、どのような方法で成績評価をする予定ですか？(複数回答可)



学期末レポート	56名	48.7%
複数回実施する小レポート	42名	36.5%
毎授業のミニッツペーパー	40名	34.8%
プレゼンテーション	17名	14.8%

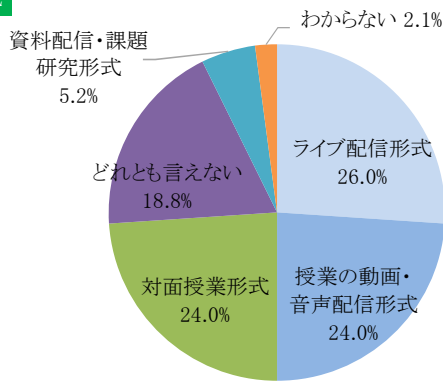
(n=115)

上記以外に成績評価において工夫していることがあればお書きください。(自由記述)

- 評価対象を複数設け、配点を出来るだけ分散させている
- グループディスカッションでの発言の質や量を加味している
- 通信環境が良くない学生のために課題提出の締切を緩やかにしている
- 採点時間を省くために、Google Forms を利用している

9. どの授業形式が適していると思いますか？(授業形態ごとに回答)

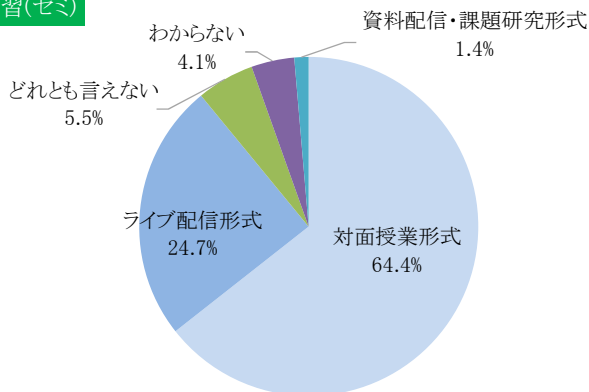
講義



ライブ配信形式	25名	26.0%
授業の動画・音声配信形式	23名	24.0%
対面授業形式	23名	24.0%
どれとも言えない	18名	18.8%
資料配信・課題研究形式	5名	5.2%
わからない	2名	2.1%

(n=96)

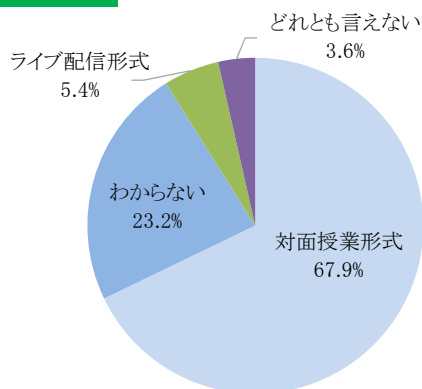
演習(ゼミ)



対面授業形式	47名	64.4%
ライブ配信形式	18名	24.7%
どれとも言えない	4名	5.5%
わからない	3名	4.1%
資料配信・課題研究形式	1名	1.4%
授業の動画・音声配信形式	0名	0.0%

(n=73)

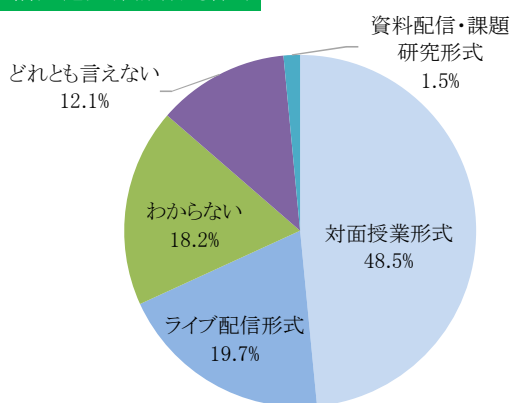
実験・実習・実技



対面授業形式	38名	67.9%
わからない	13名	23.2%
ライブ配信形式	3名	5.4%
どれも言えない	2名	3.6%
資料配信・課題研究形式	0名	0.0%
授業の動画・音声配信形式	0名	0.0%

(n=56)

外国語 (選択外国語科目も含む)



対面授業形式	32名	48.5%
ライブ配信形式	13名	19.7%
わからない	12名	18.2%
どれも言えない	8名	12.1%
資料配信・課題研究形式	1名	1.5%
授業の動画・音声配信形式	0名	0.0%

(n=66)

10. 自由記述

(注) 共:全科目共通、講:講義、実:実技・実験・実習、演:演習・ゼミ、外:外国語

対面授業が良い理由

- 学生の理解度が測りやすいため(共)
- 学生の反応に合わせて、臨機応変に対応できるため(講)
- 相互のコミュニケーションが取りやすいため(演・実・外)
- 通信環境による影響を受けずに円滑に議論が進行できるため(演)
- PCなどを使用する科目は、対面でないと操作、間違いを教えにくい(実)
- 会話練習はオンラインでは限界があるため(外)

ライブ配信が良い理由

- 学生や教職員を感染リスクから守るため(共)
- 対面授業と同等のレベルで学生とコミュニケーションがとれるため(演・外)
- 双方向型の授業が基本である(演)
- 感染のリスクを避けつつ、発表が行えるため(演)

授業の動画・音声配信が良い理由

- 講義動画や資料を繰り返し見ることで知識が深まるため(講)
- 学生が自分のペースで学習できるため(講)
- 学生に対して予習・復習の習慣づけができるため(講)
- 学生ごとに理解スピードが違うため、ライブ配信に加えて動画・音声ファイルの配信を行うことはかなり有効であるため(講)

資料配信・課題研究が良い理由

- 講義動画や資料を繰り返し見ることで知識が深まるため(講)
- 学生が自分のペースで学習できるため(講)
- データの容量が動画配信よりも抑えられるため(講)

11. その他、何か意見があれば自由にお書きください

- ZOOM のアカウントを教室ではなく、各教員へ割り当てて欲しい
- 学期末試験は対面で行わせて欲しい
- 学生へ Wi-Fi 機器やパソコン等の通信環境に関するサポートをもっと手厚くして欲しい
- 3Sの機能が充実していないため、Google Class 等を併用することになり、学生が混乱しているので3Sの機能改善を検討して欲しい